

障害者の文化芸術活動の実施状況調査

－結果の概要－

目 次

結果の概要

1. 障害児・者の属性	2
(1) 障害の種類	
(2) 本人及び同居する家族における障害児・者の有無	
(3) 代理回答の状況	
(4) 障害児・者の性別	
(5) 障害児・者の年齢	
(6) 障害児・者の障害福祉サービス利用の状況	
2. 文化芸術の直接鑑賞の実施状況	10
(1) 文化芸術を直接鑑賞した割合とそのジャンル	
(2) 文化芸術を直接鑑賞した日数	
(3) 文化芸術を直接鑑賞しなかった理由	
(4) 直接鑑賞したい文化芸術	
(5) 5年前（2017年頃）と比較した、直接鑑賞に係る環境の変化	
(6) 文化芸術を直接鑑賞以外の方法で鑑賞した割合とそのジャンル	
3. 鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況	28
(1) 鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況の概要	
(2) 2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況とその割合	
(3) 2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況とその割合	
(4) 鑑賞以外の文化芸術活動を行った日数	
(5) 2018年（コロナ前）に鑑賞以外の文化芸術活動を行わなかった理由	
(6) 鑑賞以外の文化芸術活動への参加・興味の有無	
(7) 5年前（2017年頃）と比較した、鑑賞を除く文化芸術活動に係る環境の変化	

主要統計表（障害の種類）

第1表	本人及び同居する家族における障害児・者の有無	66
第2表	障害児・者の性別	66
第3表	障害児・者の年齢	67
第4表	障害児・者の障害福祉サービス利用の状況	67
第5表	2018年（コロナ前）に文化芸術を直接鑑賞した割合とそのジャンル	68
第6表	2020年（コロナ後）に文化芸術を直接鑑賞した割合とそのジャンル	69
第7表	2018年（コロナ前）に文化芸術を直接鑑賞した日数	70
第8表	2020年（コロナ後）に文化芸術を直接鑑賞した日数	70
第9表	2018年（コロナ前）に文化芸術を鑑賞しなかった理由	71
第10表	2020年（コロナ後）に文化芸術を鑑賞しなかった理由	71
第11表	直接鑑賞したい文化芸術	72
第12表	5年前（2017年頃）と比較した、直接鑑賞に係る環境の変化	72
第13表	2018年（コロナ前）に文化芸術を直接鑑賞以外の方法で鑑賞した割合とそのジャンル	73
第14表	2020年（コロナ後）に文化芸術を直接鑑賞以外の方法で鑑賞した割合とそのジャンル	74
第15表	2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況	
	①「仕事として報酬を得る、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合	75
第16表	2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況	
	②「趣味などの個人的な活動で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合	76
第17表	2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況	
	③「福祉事業所等で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合	77
第18表	2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況	
	④「スタッフやボランティアとして参加した」方の割合	78
第19表	2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況	
	⑤「イベントやワークショップ、体験会などに参加した」方の割合	79

第 20 表	2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ⑥「学校の授業や部活動など」の割合	80
第 21 表	2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ⑦「その他の活動」の割合	81
第 22 表	2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ①「仕事として報酬を得る、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合	82
第 23 表	2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ②「趣味などの個人的な活動で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合	83
第 24 表	2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ③「福祉事業所等で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合	84
第 25 表	2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ④「スタッフやボランティアとして参加した」方の割合	85
第 26 表	2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ⑤「イベントやワークショップ、体験会などに参加した」方の割合	86
第 27 表	2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ⑥「学校の授業や部活動など」の割合	87
第 28 表	2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ⑦「その他の活動」の割合	88
第 29 表	2018年（コロナ前）に鑑賞以外の文化芸術活動を行った日数	89
第 30 表	2020年（コロナ後）に鑑賞以外の文化芸術活動を行った日数	89
第 31 表	2018年（コロナ前）に鑑賞以外の文化芸術活動を行わなかった理由	90
第 32 表	鑑賞以外の文化芸術活動への参加・興味の有無	90
第 33 表	5年前（2017年頃）と比較した、鑑賞を除く文化芸術活動に係る環境の変化	91

付 録 92

付 1 障害者の文化芸術の鑑賞活動及び創作活動実態調査の概要

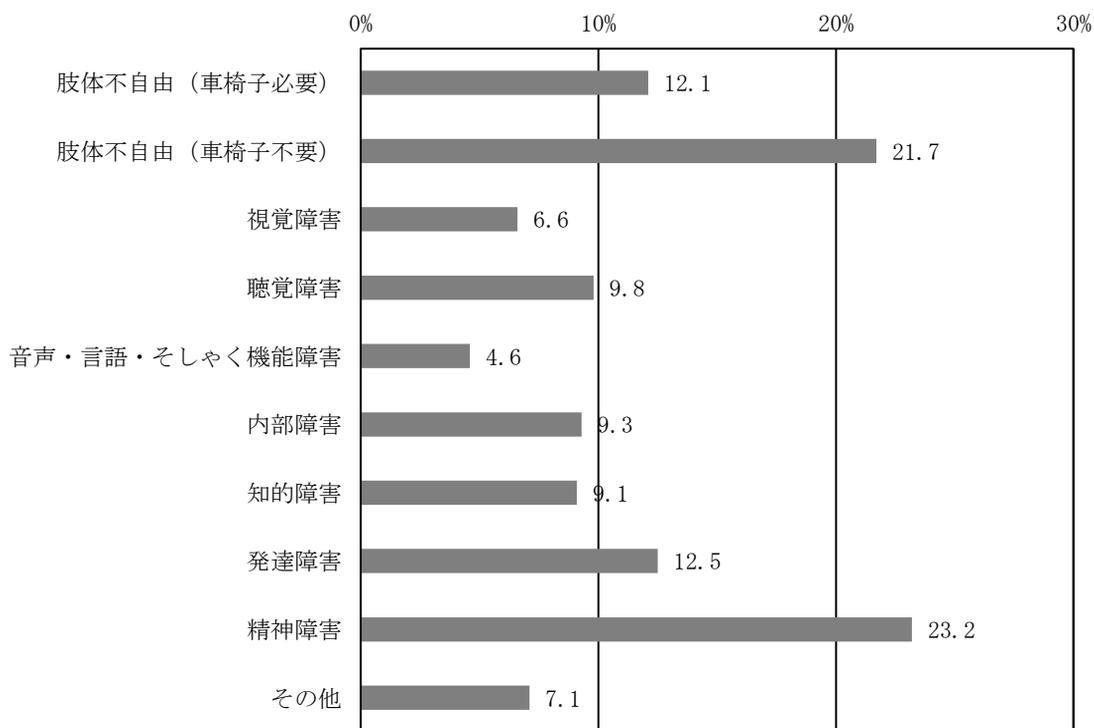
結果の概要

1. 障害児・者の属性

(1) 障害の種類

障害の種類は、「精神障害」(23.2%)の割合が最も高く、次いで「肢体不自由(車椅子不要)」(21.7%)、「発達障害」(12.5%)、「肢体不自由(車椅子必要)」(12.1%)、「聴覚障害」(9.8%)、「内部障害」(9.3%)、「知的障害」(9.1%)、「その他」(7.1%)、「視覚障害」(6.6%)、「音声・言語・そしゃく機能障害」(4.6%)の順になっている(図表 1-1)。

図表 1-1 障害の種類



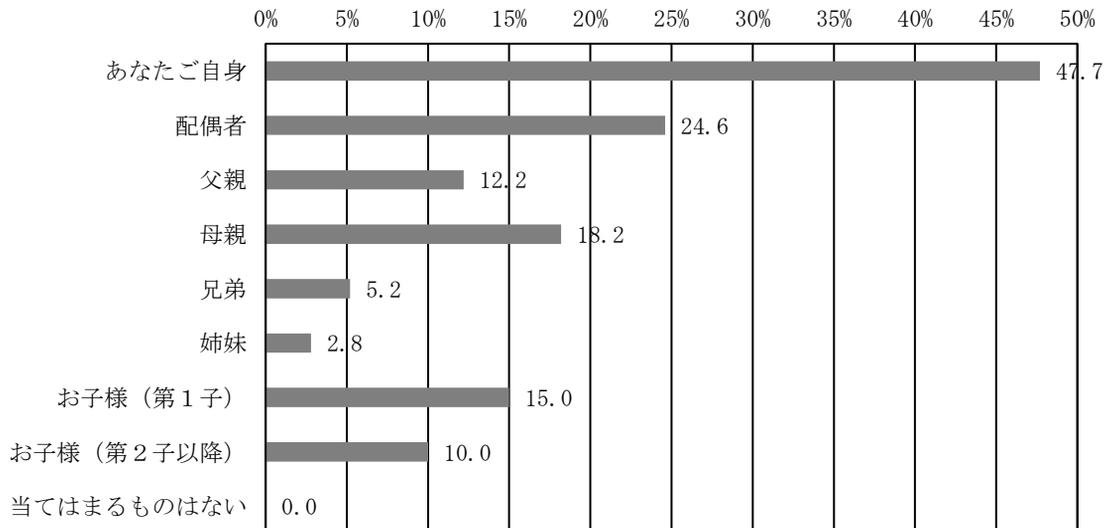
注) 「車椅子必要/不要」の内容は、「日常生活で車椅子を必要とする/必要としない」
注) 複数種の選択を含む

(2) 本人及び同居する家族における障害児・者の有無

回答者本人あるいは同居する家族において、障害児・者が「回答者自身」(47.7%)である割合が最も高く、以下「配偶者」(24.6%)、「母親」(18.2%)、「第1子」(15.0%)、「父親」(12.2%)、「第2子以降」(10.0%)であった(図表 1-2)。

障害の種類別では、「知的障害」や「発達障害」は、「お子様」の割合が高く、それ以外では「回答者自身」の割合が最も高い(図表 1-3)。

図表 1-2 本人及び同居する家族における障害児・者の有無



図表 1-3 障害の種類、本人及び同居する家族における障害児・者の有無

障害の種類	n	割合 (%)								
		あなたご自身	配偶者	父親	母親	兄弟	姉妹	お子様 (第1子)	お子様 (第2子以降)	当てはまるものはない
全体	2000	47.7	24.6	12.2	18.2	5.2	2.8	15.0	10.0	0.0
肢体不自由 (車椅子必要)	242	24.7	15.6	16.9	22.5	3.8	2.8	7.8	5.9	0.0
肢体不自由 (車椅子不要)	434	37.5	20.7	9.8	17.1	2.9	2.0	5.9	4.1	0.0
視覚障害	131	31.3	20.1	10.1	19.0	4.5	3.4	6.7	5.0	0.0
聴覚障害	195	28.8	21.8	14.0	20.0	1.4	2.1	7.4	4.6	0.0
音声・言語・そしゃく機能障害	92	25.4	19.8	14.3	19.0	4.8	1.6	9.5	5.6	0.0
内部障害	185	44.4	17.8	10.0	12.4	3.7	0.8	6.6	4.1	0.0
知的障害	181	12.1	10.0	3.8	8.4	10.5	2.9	29.7	22.6	0.0
発達障害	250	25.7	14.3	4.0	6.9	4.2	1.3	26.3	17.2	0.0
精神障害	463	50.6	14.4	5.5	7.9	5.9	2.2	9.3	4.2	0.0
その他	141	36.1	20.0	10.0	20.0	0.0	1.1	6.1	6.7	0.0

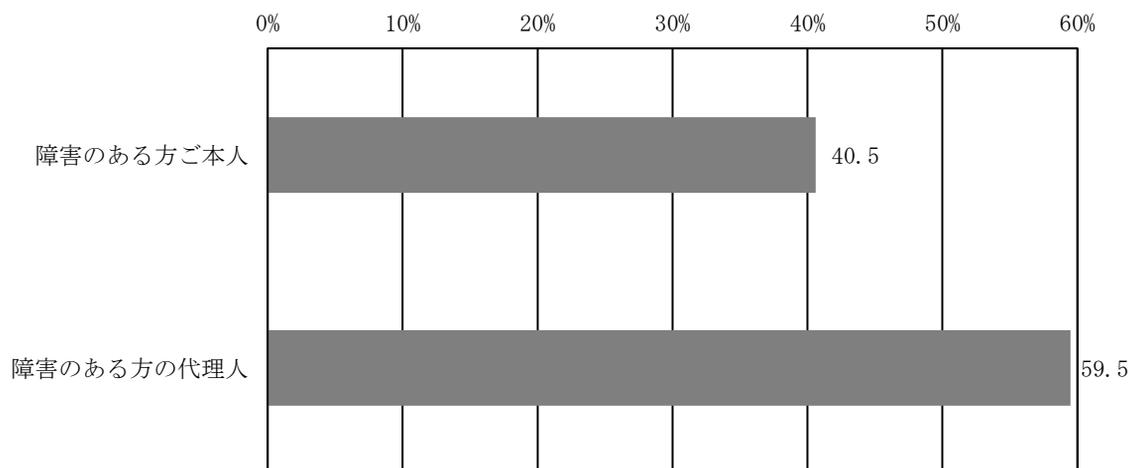
(3) 代理回答の状況

代理回答の状況は、「障害のある方ご本人」(40.5%)に対し、「障害のある方の代理人」(59.5%)で、代理回答の割合が高い(図表1-4)。

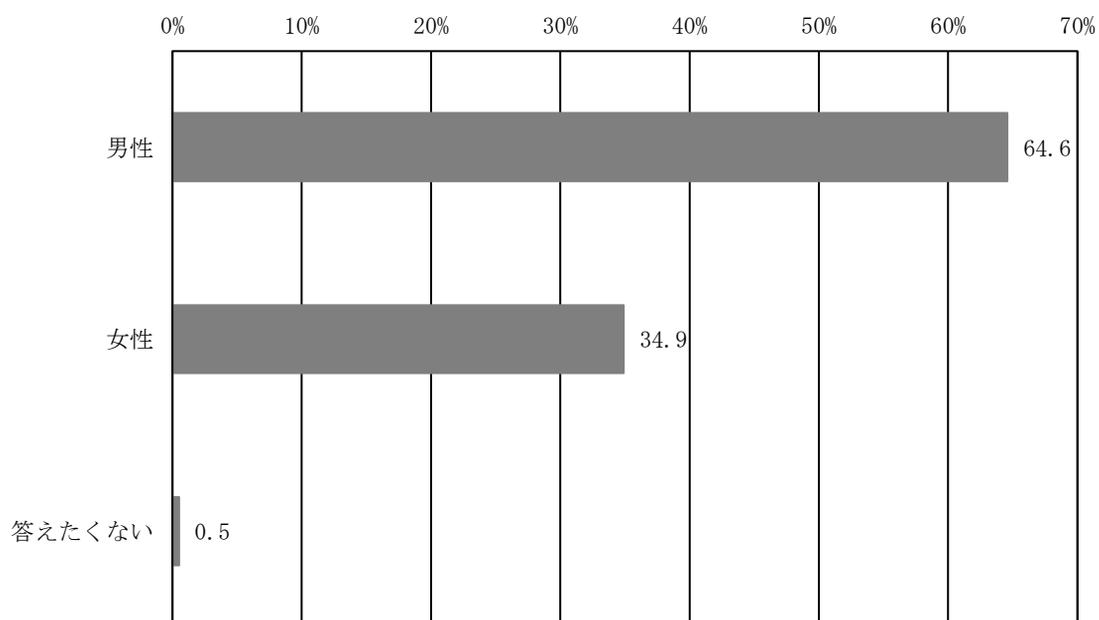
代理回答の性別は、「男性」(64.6%)、「女性」(34.9%)、「答えたくない」(0.5%)で、男性の割合が高い(図表1-5)。

代理回答の年齢別は、「50～59歳」(28.7%)が最も高く、次いで「40～49歳」(23.4%)、「60～69歳」(22.3%)、「30～39歳」(11.8%)の割合が高い(図表1-6)。

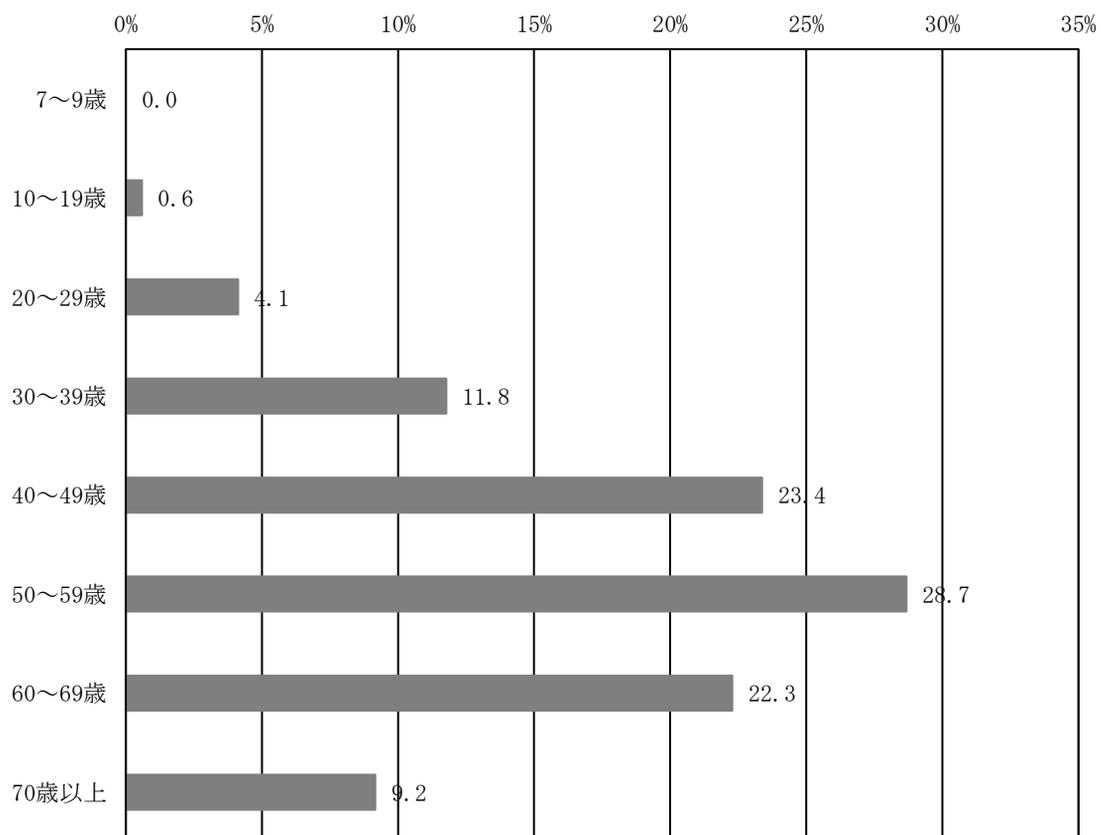
図表 1-4 代理回答の状況



図表 1-5 代理回答の性別



図表 1-6 代理回答の年齢



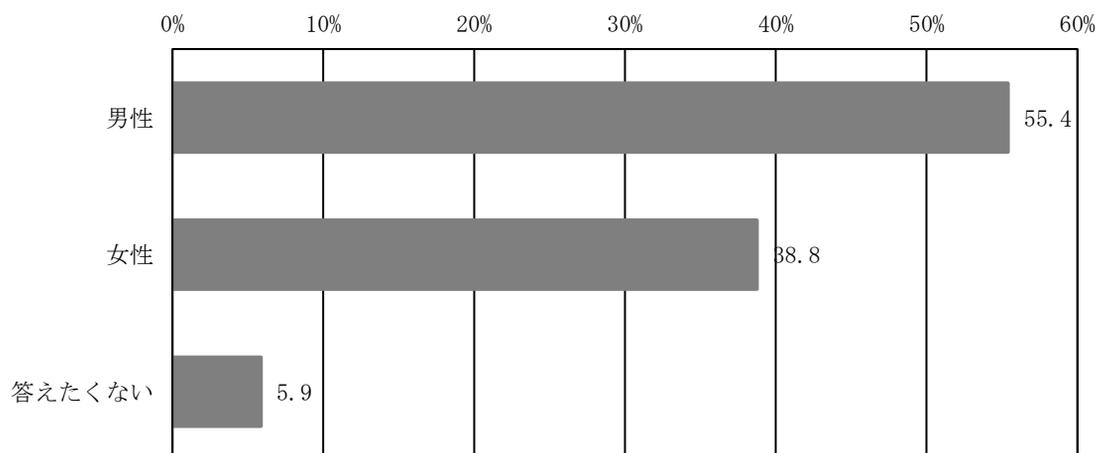
(4) 障害児・者の性別

障害児・者の性別は、「男性」(55.4%)、「女性」(38.8%)、「答えたくない」(5.9%)で、男性の割合が比較的高い(図表 1-7)。

障害の種類別では、「男性」は「肢体不自由(車椅子不要)」(56.0%)の割合が最も高く、次いで、「視覚障害」(55.7%)、「知的障害」(53.3%)、「音声・言語・そしゃく機能障害」(53.3%)などの割合が高い。

また、「女性」は「肢体不自由(車椅子必要)」(42.6%)の割合が最も高く、次いで、「聴覚障害」(42.1%)、「肢体不自由(車椅子不要)」(39.9%)、「知的障害」(37.1%)などの割合が高い(図表 1-8)。

図表 1-7 障害児・者の性別



図表 1-8 障害の種類、障害児・者の性別

障害の種類	n	性別 (%)		
		男性	女性	答えたくない
全体	2000	55.4	38.8	5.9
肢体不自由(車椅子必要)	242	40.8	42.6	16.5
肢体不自由(車椅子不要)	434	56.0	39.9	4.1
視覚障害	131	55.7	34.4	9.9
聴覚障害	195	47.7	42.1	10.3
音声・言語・そしゃく機能障害	92	53.3	32.6	14.1
内部障害	185	37.1	35.2	27.7
知的障害	181	53.3	37.1	9.6
発達障害	250	48.7	33.0	18.3
精神障害	463	36.0	36.6	27.4
その他	141	35.4	41.6	23.0

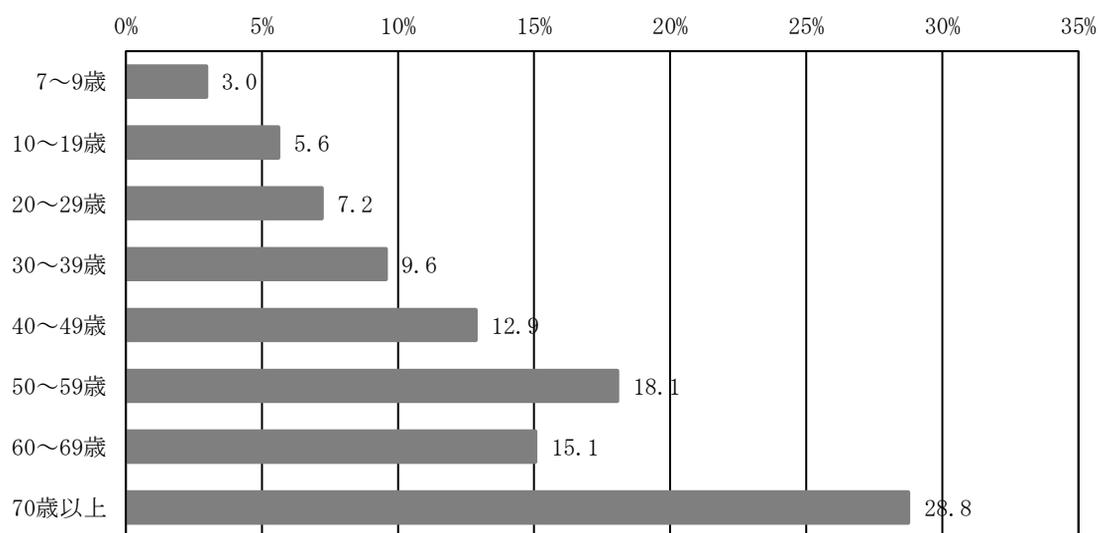
(5) 障害児・者の年齢

障害児・者の年齢構成は「70歳以上」(28.8%)の割合が最も高く、次いで、「50～59歳」(18.1%)、「60～69歳」(15.1%)の割合が高い(図表1-9)。

障害の種類別では、「知的障害」や「発達障害」は「10～19歳」や「20～29歳」の若年層が多く、「肢体不自由(車椅子必要)」や「肢体不自由(車椅子不要)」は、「60～69歳」や「70歳以上」の年配層が多い。

全体の平均年齢は54.5歳であるが、「発達障害」は29.2歳、「知的障害」は34.7歳と若い。一方、「肢体不自由(車椅子必要)」の平均年齢は65.6歳と最も高く、「肢体不自由(車椅子不要)」、「視覚障害」、「聴覚障害」、「音声・言語・そしゃく機能障害」、「内部障害」の平均年齢も全体の平均年齢を上回っている(図表1-10)。

図表 1-9 障害児・者の年齢



図表 1-10 障害の種類、障害児・者の年齢

(%)

障害の種類	n	7	1	2	3	4	5	6	7	平均値(歳)
		9歳	0歳	0歳	0歳	0歳	0歳	0歳	0歳以上	
全体	2000	59	112	144	191	257	361	301	575	54.5
	100	3.0	5.6	7.2	9.6	12.9	18.1	15.1	28.8	
肢体不自由(車椅子必要)	242	0.4	3.7	3.7	8.3	7.0	12.4	14.5	50.0	65.6
肢体不自由(車椅子不要)	434	0.7	0.9	2.3	3.7	8.8	19.1	21.7	42.9	64.5
視覚障害	131	1.5	4.6	4.6	9.9	8.4	25.2	16.0	29.8	56.9
聴覚障害	195	2.1	2.1	4.1	6.2	9.7	17.9	14.9	43.1	62.9
音声・言語・そしゃく機能障害	92	5.4	3.3	8.7	7.6	5.4	16.3	15.2	38.0	58.4
内部障害	185	1.1	2.2	3.2	3.2	9.7	23.2	20.0	37.3	61.5
知的障害	181	6.6	20.4	24.3	17.7	11.0	4.4	5.0	10.5	34.7
発達障害	250	14.4	20.4	20.8	17.2	11.6	8.4	4.0	3.2	29.2
精神障害	463	0.9	2.6	8.0	14.9	27.0	27.2	12.1	7.3	47.7
その他	141	0.7	2.1	1.4	7.1	6.4	8.5	23.4	50.4	66.2

(6) 障害児・者の障害福祉サービス利用の状況

日常的に利用されている障害福祉サービスの種類について、「障害福祉サービスは利用していない」(58.6%)の割合が最も高く、何らかの障害福祉サービスを利用している方は41.4%となる。

障害福祉サービスを利用している方では、「日中活動などのサービス：療養介護、生活介護、短期入所」(15.2%)の割合が高く、次いで「訓練・就労などのサービス：自立訓練(機能訓練)、自立訓練(生活訓練)、宿泊型自立訓練、就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型、就労定着支援」(10.9%)、「相談支援などのサービス：地域相談支援(地域移行支援)、地域相談支援(地域定着支援)、計画相談支援、障害児相談支援」(10.8%)の割合が高い(図表1-11)。

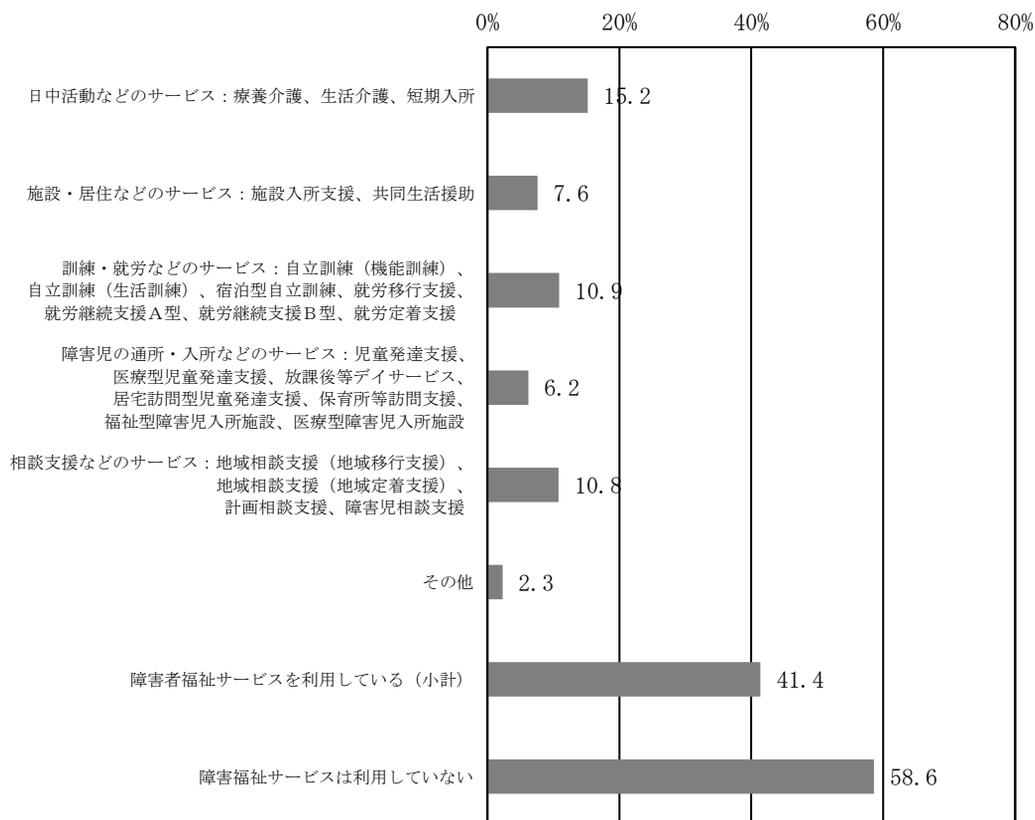
障害の種類別では、「肢体不自由(車椅子必要)」は「日中活動などのサービス：療養介護、生活介護、短期入所」や「施設・居住などのサービス：施設入所支援、共同生活援助」の割合が高く、日常的に障害福祉サービスを利用している傾向が高い。

「肢体不自由(車椅子不要)」は「日中活動などのサービス：療養介護、生活介護、短期入所」や「相談支援などのサービス：地域相談支援(地域移行支援)、地域相談支援(地域定着支援)、計画相談支援、障害児相談支援」の割合が高いが、「障害福祉サービスは利用していない」(67.1%)の割合が最も高い。

「内部障害」は、「訓練・就労などのサービス：自立訓練(機能訓練)、自立訓練(生活訓練)、宿泊型自立訓練、就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型、就労定着支援」の割合が最も高く、「知的障害」は「障害児の通所・入所などのサービス：児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、居宅訪問型児童発達支援、保育所等訪問支援、福祉型障害児入所施設、医療型障害児入所施設」の割合が最も高い。

「発達障害」は「相談支援などのサービス：地域相談支援(地域移行支援)、地域相談支援(地域定着支援)、計画相談支援、障害児相談支援」、「精神障害」は、「訓練・就労などのサービス：自立訓練(機能訓練)、自立訓練(生活訓練)、宿泊型自立訓練、就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型、就労定着支援」の割合が高いが、「障害福祉サービスは利用していない」の割合がさらに高くなっている(図表1-12)。

図表 1-11 障害児・者の障害福祉サービス利用の状況



注) 複数種の選択を含む

図表 1-12 障害の種類、障害児・者の障害福祉サービス利用の状況

(%)

障害の種類	n	日中活動などのサービス：療養介護、生活介護、短期入所	施設・居住などのサービス：施設入所支援、共同生活援助	訓練・就労などのサービス：自立訓練（機能訓練）、自立訓練（生活訓練）、宿泊型自立訓練、就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型、就労定着支援	障害児の通所・入所などのサービス：児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、居宅訪問型児童発達支援、保育所等訪問支援、福祉型障害児入所施設、医療型障害児入所施設	相談支援などのサービス：地域相談支援（地域移行支援）、地域相談支援（地域定着支援）、計画相談支援、障害児相談支援	その他	障害者福祉サービスを利用している（小計）	障害福祉サービスは利用していない
全体	2000	303	152	218	124	215	46	828	1172
	100	15.2	7.6	10.9	6.2	10.8	2.3	41.4	58.6
肢体不自由（車椅子必要）	242	37.1	16.4	11.6	7.9	12.2	1.2	81.4	18.6
肢体不自由（車椅子不要）	434	15.1	5.8	6.0	1.5	7.7	1.9	32.9	67.1
視覚障害	131	14.4	10.6	13.8	3.8	13.1	0.6	46.6	53.4
聴覚障害	195	14.6	8.8	6.2	6.2	8.4	1.8	37.4	62.6
音声・言語・そしゃく機能障害	92	27.3	9.4	7.0	7.8	18.8	1.6	60.9	39.1
内部障害	185	18.5	23.5	36.1	14.3	7.6	0.0	100.0	0.0
知的障害	181	12.8	11.6	18.2	20.7	16.9	2.1	76.2	23.8
発達障害	250	7.0	3.7	14.3	15.3	15.6	1.0	48.0	52.0
精神障害	463	7.8	4.3	13.8	3.3	10.3	2.7	35.9	64.1
その他	141	14.9	4.7	3.4	0.7	6.1	6.8	33.3	66.7

注) 複数種の選択を含む

2. 文化芸術の直接鑑賞の実施状況

(1) 文化芸術を直接鑑賞した割合とそのジャンル

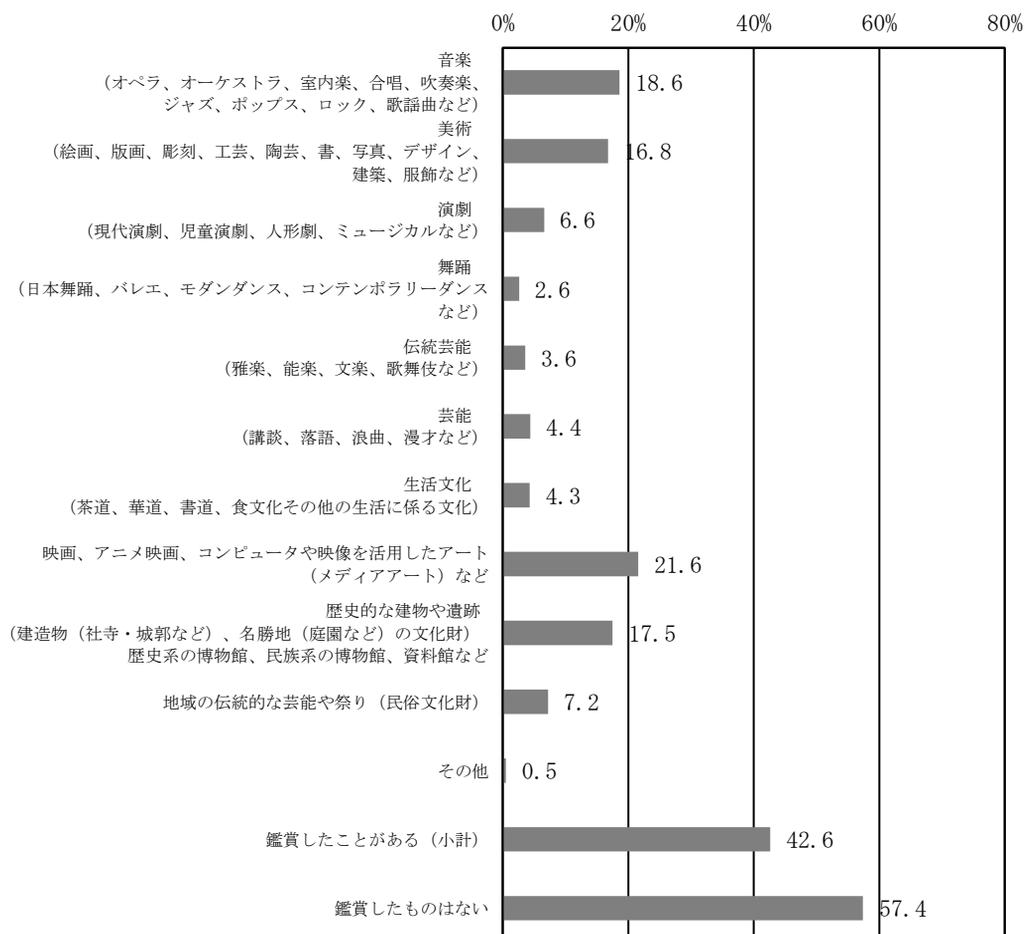
① 2018年（コロナ前）

2018年（コロナ前）の文化芸術の直接鑑賞の有無について、半数以上が「鑑賞したものはない」（57.4%）と回答しており、「直接鑑賞したことがある」方は42.6%となる。

ジャンル別では、「映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など」（21.6%）、「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」（18.6%）、「歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など」（17.5%）、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」（16.8%）を直接鑑賞した割合が高い（図表 2-1）。

障害の種類別では、「肢体不自由（車椅子必要）」や「視覚障害」、「音声・言語・そしゃく機能障害」は「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」、「肢体不自由（車椅子不要）」や「内部障害」、「知的障害」、「発達障害」、「精神障害」は「映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など」を直接鑑賞した割合が高い。（図表 2-2）。

図表 2-1 2018年（コロナ前）に文化芸術を直接鑑賞した割合とそのジャンル



注) 「鑑賞したものはない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「鑑賞したものはない」以外は、複数回答可

図表 2-2 障害の種類、2018年（コロナ前）に文化芸術を直接鑑賞した割合とそのジャンル

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	その他	鑑賞したことがある（小計）	鑑賞したものはない
全体	2000	372	336	131	51	71	88	85	431	350	144	10	852	1148
	100	18.6	16.8	6.6	2.6	3.6	4.4	4.3	21.6	17.5	7.2	0.5	42.6	57.4
肢体不自由（車椅子必要）	242	14.8	11.2	3.6	1.8	2.6	3.6	2.8	10.2	10.7	3.8	0.5	44.2	55.8
肢体不自由（車椅子不要）	434	10.7	10.9	4.7	1.1	3.1	3.0	2.6	13.7	11.9	4.9	0.3	44.2	55.8
視覚障害	131	13.2	11.4	3.5	4.8	4.4	5.3	3.5	8.3	9.2	4.8	0.9	46.6	53.4
聴覚障害	195	8.7	10.9	6.1	2.9	1.9	3.2	5.1	10.6	10.6	4.8	0.0	44.1	55.9
音声・言語・そしゃく機能障害	92	13.5	9.9	5.8	2.3	3.5	4.7	3.5	11.7	10.5	4.7	0.0	44.6	55.4
内部障害	185	12.9	11.1	3.9	2.4	3.6	3.6	1.8	13.2	11.1	5.1	0.3	44.3	55.7
知的障害	181	9.5	10.5	3.6	1.8	2.2	1.8	1.5	14.5	10.2	4.0	0.0	38.7	61.3
発達障害	250	11.8	9.8	4.0	2.0	2.2	2.4	4.0	16.9	11.1	6.2	0.0	47.2	52.8
精神障害	463	11.2	10.1	4.5	1.9	1.9	2.0	2.4	14.2	9.6	4.5	0.3	40.4	59.6
その他	141	10.6	9.6	2.4	1.0	1.4	1.9	2.4	10.1	12.0	3.8	1.4	36.2	63.8

注) 「鑑賞したものはない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「鑑賞したものはない」以外は、複数回答可

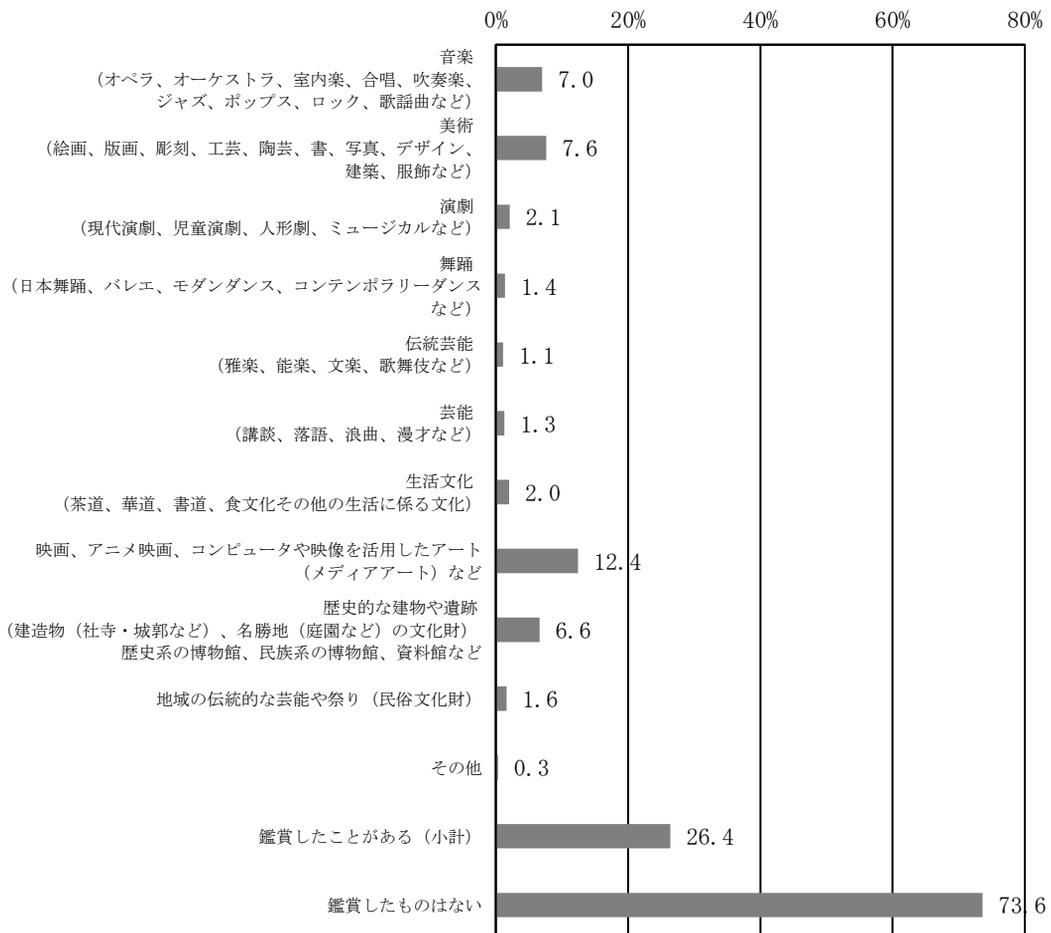
② 2020年（コロナ後）

2020年（コロナ後）の文化芸術の直接鑑賞の有無について、7割以上が「鑑賞したものはなし」（73.6%）と回答しており、「直接鑑賞したことがある」方は26.4%であった。2018年（コロナ前）と比較すると、16.2%減少しており、新型コロナウイルス感染拡大の影響が伺える。

ジャンル別では、「映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など」（12.4%）、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」（7.6%）、「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」（7.0%）、「歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など」（6.6%）を直接鑑賞した割合が高い（図表 2-3）。

障害の種類別では、「肢体不自由（車椅子必要）」、「視覚障害」は「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」、「聴覚障害」では「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」、「肢体不自由（車椅子不要）」や「音声・言語・そしゃく機能障害」、「内部障害」、「知的障害」、「発達障害」、「精神障害」は「映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など」を、直接鑑賞した割合が高い。（図表 2-4）。

図表 2-3 2020年（コロナ後）に文化芸術を直接鑑賞した割合とそのジャンル



注) 「鑑賞したものはなし」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「鑑賞したものはなし」以外は、複数回答可

図表 2-4 障害の種類、2020年（コロナ後）に文化芸術を直接鑑賞した割合とそのジャンル

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	民族的な建物や遺跡（建造物（社寺、城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	その他	鑑賞したことがある（小計）	鑑賞したものはない
全体	2000	139	152	42	27	21	26	39	247	132	31	6	529	1471
	100	7.0	7.6	2.1	1.4	1.1	1.3	2.0	12.4	6.6	1.6	0.3	26.4	73.6
肢体不自由（車椅子必要）	242	7.8	6.8	2.4	2.0	1.0	1.4	2.0	7.1	5.4	2.4	0.3	25.2	74.8
肢体不自由（車椅子不要）	434	4.6	7.5	1.2	1.2	1.2	0.6	1.0	8.9	6.3	0.6	0.4	24.0	76.0
視覚障害	131	8.5	8.0	4.5	2.3	2.3	4.0	3.4	8.0	3.4	3.4	1.1	31.3	68.7
聴覚障害	195	5.3	8.6	4.9	2.5	1.2	1.6	4.5	7.8	6.6	2.9	0.0	32.3	67.7
音声・言語・そしゃく機能障害	92	6.5	5.6	4.0	0.8	2.4	3.2	2.4	8.1	4.8	4.0	0.0	21.7	78.3
内部障害	185	6.6	7.5	2.2	1.8	1.3	0.4	0.9	8.0	4.9	3.1	0.4	23.2	76.8
知的障害	181	4.8	4.8	1.4	1.4	1.0	1.9	0.5	8.1	5.7	1.9	0.0	21.0	79.0
発達障害	250	6.0	6.9	2.7	1.8	1.8	2.7	3.0	16.3	6.6	2.1	0.0	34.0	66.0
精神障害	463	5.5	6.8	2.0	1.1	1.2	1.6	1.8	14.1	6.4	1.4	0.2	29.8	70.2
その他	141	4.7	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	8.1	4.7	0.0	0.7	18.4	81.6

注) 「鑑賞したものはない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「鑑賞したものはない」以外は、複数回答可

(2) 文化芸術を直接鑑賞した日数

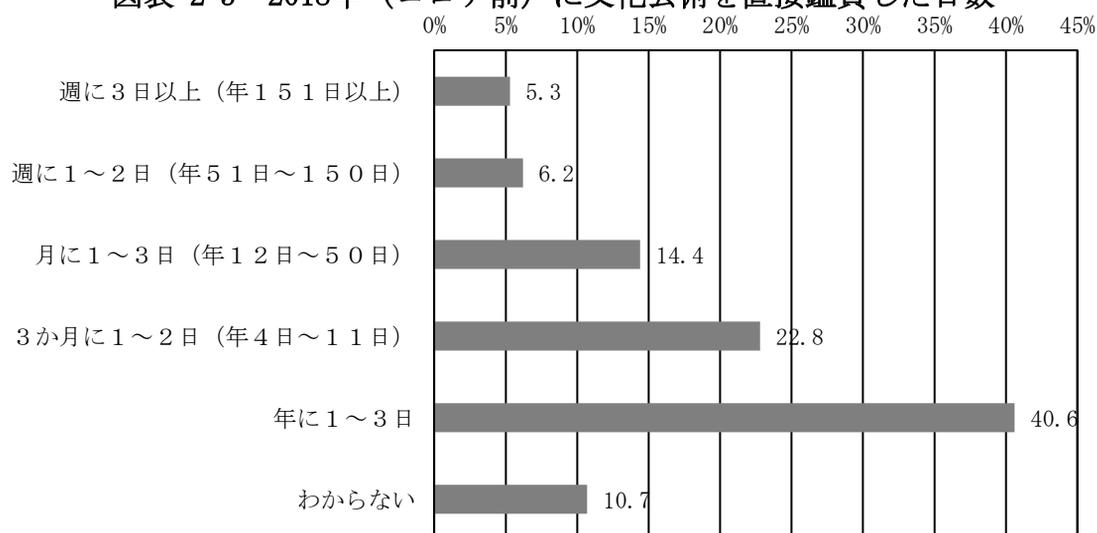
① 2018年（コロナ前）

2018年（コロナ前）に文化芸術を直接鑑賞したと回答した人が、1年間に直接鑑賞した日数は「年に1～3日」（40.6%）が最も多く、次いで「3か月に1～2日」（22.8%）であった。過半数以上は「3か月に1～2日（年4日～11日）」以下である（図表2-5）。

障害の種類別では、「視覚障害」は「週に1～2日（年51日～150日）」、「肢体不自由（車椅子必要）」や「音声・言語・そしゃく機能障害」は「月に1～3日（年12日～50日）」の割合が比較的高い。

「肢体不自由（車椅子不要）」や「聴覚障害」、「内部障害」、「知的障害」、「発達障害」「精神障害」は「3か月に1～2日（年4日～11日）」の割合が高く、他の障害よりも直接鑑賞した日数が少ない（図表2-6）。

図表 2-5 2018年（コロナ前）に文化芸術を直接鑑賞した日数



図表 2-6 障害の種類、2018年（コロナ前）に文化芸術を直接鑑賞した日数 (%)

障害の種類	n	（週に 13 5日 1日 以上 ）	（週に 51 15 日2 5日 150 日）	（月に 11 25 日3 5日 50 日）	（3 か 月 に 4 日 15 日 12 日）	年に 1 3 日	わ か ら な い
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体	852	45	53	123	194	346	91
	100.0	5.3	6.2	14.4	22.8	40.6	10.7
肢体不自由（車椅子必要）	257	14.0	6.5	15.9	15.9	32.7	15.0
肢体不自由（車椅子不要）	489	5.2	3.6	18.2	23.4	41.1	8.3
視覚障害	158	9.8	18.0	14.8	14.8	29.5	13.1
聴覚障害	202	9.2	10.3	14.9	20.7	35.6	9.2
音声・言語・そしゃく機能障害	120	7.3	9.8	24.4	14.6	29.3	14.6
内部障害	230	6.8	6.8	14.8	25.0	37.5	9.1
知的障害	164	4.3	7.1	11.4	20.0	48.6	8.6
発達障害	317	4.2	6.8	11.0	23.7	45.8	8.5
精神障害	463	4.3	5.3	15.0	23.0	41.2	11.2
その他	118	0.0	0.0	5.9	29.4	54.9	9.8

注）2018年（コロナ前）に文化芸術を直接鑑賞した人（「鑑賞したものはない」の回答者を除く）

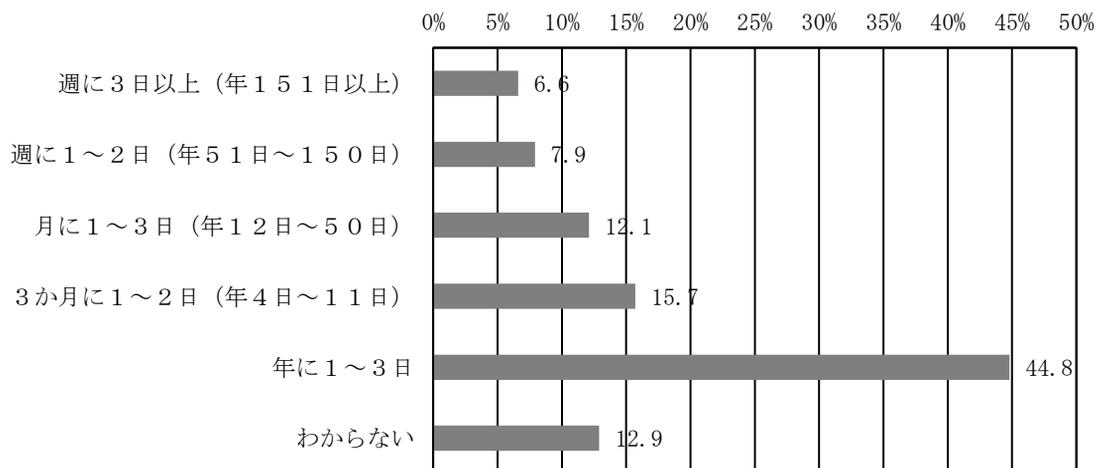
② 2020年（コロナ後）

2020年（コロナ後）に文化芸術を直接鑑賞したと回答した人が、1年間に直接鑑賞した日数は「年に1～3日」（44.8%）が最も多く、次いで「3か月に1～2日」（15.7%）であった（図表 2-7）。2018年（コロナ前）と若干の変化はみられるものの、過半数以上は2018年（コロナ前）と同じく「3か月に1～2日（年4日～11日）」以下である。

障害の種類別では、「肢体不自由（車椅子必要）」は「年に1～3日」の割合が最も高いが、次いで「週に3日以上（年151日以上）」直接鑑賞する割合が高い。

その他でも全ての障害において「年に1～3日」の割合が最も高いが、「知的障害」や「発達障害」は「月に1～3日（年12日～50日）」の割合が高く、2018年（コロナ前）と比較し直接鑑賞する割合が高くなった（図表 2-8）。

図表 2-7 2020年（コロナ後）に文化芸術を直接鑑賞した日数



図表 2-8 障害の種類、2020年（コロナ後）に文化芸術を直接鑑賞した日数

障害の種類	n	割合 (%)					
		（週に151日以上）	（週に51日～150日）	（月に11日～30日）	（3か月に4日～11日）	年に1～3日	わからない
全体	529	35	42	64	83	237	68
	100.0	6.6	7.9	12.1	15.7	44.8	12.9
肢体不自由（車椅子必要）	114	19.7	13.1	13.1	6.6	31.1	16.4
肢体不自由（車椅子不要）	166	4.8	7.7	9.6	21.2	49.0	7.7
視覚障害	86	12.2	14.6	12.2	14.6	29.3	17.1
聴覚障害	112	9.5	12.7	11.1	19.0	36.5	11.1
音声・言語・そしゃく機能障害	52	15.0	15.0	25.0	5.0	25.0	15.0
内部障害	84	11.6	2.3	7.0	18.6	44.2	16.3
知的障害	66	7.9	2.6	18.4	7.9	50.0	13.2
発達障害	166	5.9	4.7	15.3	11.8	49.4	12.9
精神障害	236	5.1	5.8	13.0	15.2	47.8	13.0
その他	33	0.0	0.0	3.8	11.5	73.1	11.5

注) 2020年（コロナ後）に文化芸術を直接鑑賞した人（「鑑賞したものはなし」の回答者を除く）

(3) 文化芸術を鑑賞しなかった理由

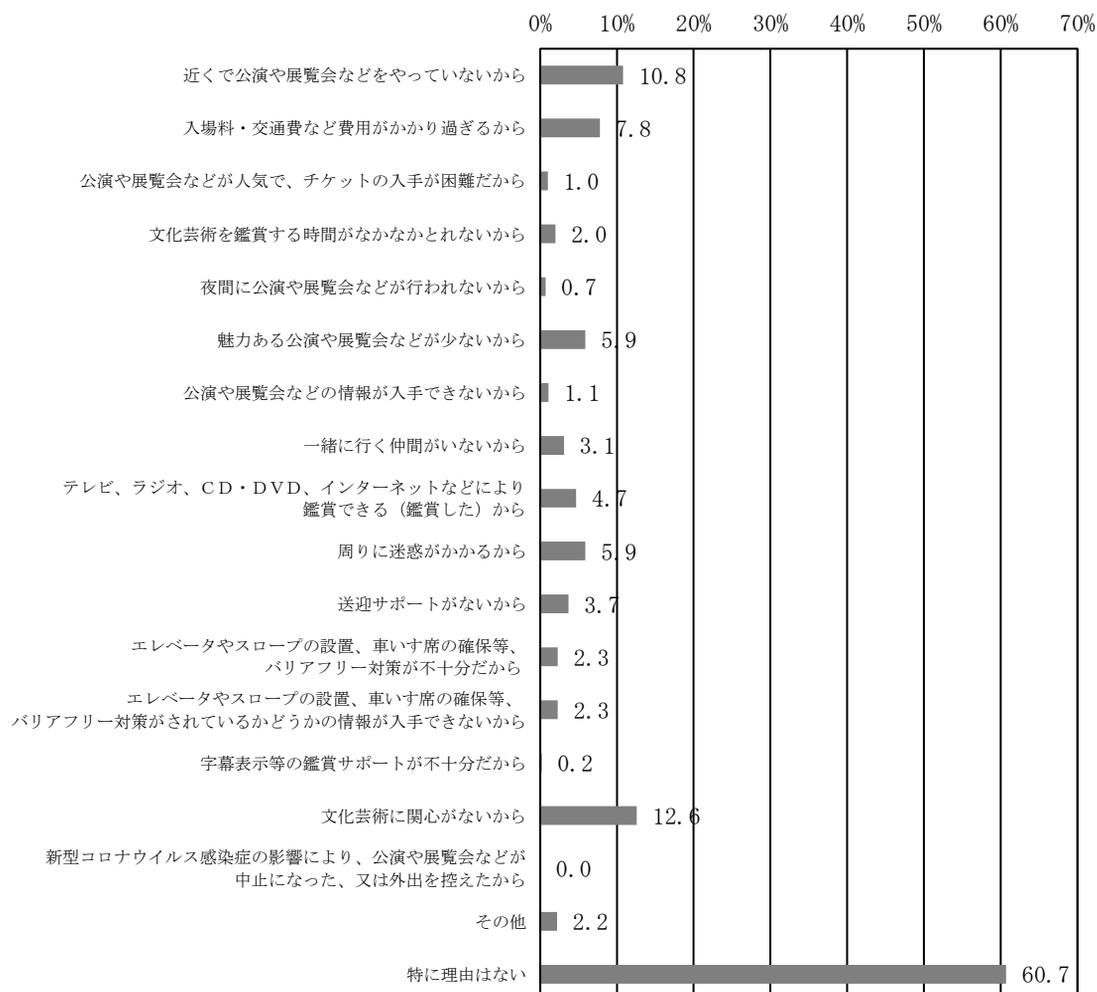
① 2018年（コロナ前）

2018年（コロナ前）の1年間に文化芸術を直接鑑賞しなかった理由として多いのは「特に理由はない」（60.7%）で過半数以上を占めるが、それ以外の直接鑑賞を阻害した理由としては、「文化芸術に関心がないから」（12.6%）、「近くで公演や展覧会などをやっていないから」（10.8%）、「入場料・交通費など費用がかかり過ぎるから」（7.8%）、「魅力ある公演や展覧会などが少ないから」（5.9%）、「周りに迷惑がかかるから」（5.9%）の割合が高く、実施場所や費用、周りへの遠慮が直接鑑賞を妨げる理由となっている（図表 2-9）。

障害の種類別では、「肢体不自由（車椅子必要）」や「肢体不自由（車椅子不要）」、「音声・言語・そしゃく機能障害」は「近くで公演や展覧会などをやっていないから」、「音声・言語・そしゃく機能障害」や「知的障害」は「周りに迷惑がかかるから」の割合が高く、周囲の環境が直接鑑賞を妨げる理由となっている。

また「視覚障害」や「聴覚障害」、「内部障害」、「発達障害」は「文化芸術に関心がないから」の割合が高く、「特に理由はない」と合わせると過半数を超える回答となっている（図表 2-10）。

図表 2-9 2018年（コロナ前）に文化芸術を鑑賞しなかった理由



注) 2018年（コロナ前）に文化芸術を直接鑑賞しなかった人（「鑑賞したものはなし」の回答者）

図表 2-10 障害の種類、2018年（コロナ前）に文化芸術を鑑賞しなかった理由

(%)

障害の種類	n	124	90	12	23	8	68	13	36	54	68	43	26	26	2	145	0	25	697
全体	1148	10.8	7.8	1.0	2.0	0.7	5.9	1.1	3.1	4.7	5.9	3.7	2.3	2.3	0.2	12.6	0.0	2.2	60.7
肢体不自由（車椅子必要）	135	9.3	2.1	0.5	2.1	0.0	3.1	1.5	2.6	3.6	6.7	7.7	7.2	6.7	0.5	6.2	0.0	2.1	54.8
肢体不自由（車椅子不要）	242	11.0	5.2	0.0	1.3	0.3	2.6	0.3	2.6	4.5	6.1	3.5	3.2	2.9	0.0	10.3	0.0	2.3	56.2
視覚障害	70	7.1	2.4	0.0	1.2	0.0	3.6	0.0	4.8	3.6	2.4	3.6	1.2	0.0	0.0	8.3	0.0	4.8	68.6
聴覚障害	109	6.8	4.5	0.8	1.5	0.8	6.0	0.0	0.8	6.8	3.8	1.5	1.5	0.8	0.0	12.0	0.0	0.8	63.3
音声・言語・そしゃく機能障害	51	8.7	4.3	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	8.7	7.2	4.3	1.4	0.0	5.8	0.0	2.9	72.5
内部障害	103	8.5	5.4	0.0	3.1	0.0	6.2	1.5	2.3	3.1	1.5	2.3	1.5	0.8	0.0	13.8	0.0	1.5	61.2
知的障害	111	9.1	5.6	0.0	2.1	0.0	4.9	0.7	2.8	2.8	11.2	2.8	0.7	0.0	0.0	9.8	0.0	1.4	59.5
発達障害	132	7.5	9.8	0.6	1.2	0.0	5.8	1.2	1.7	1.7	7.5	2.9	0.6	0.0	0.0	15.0	0.0	0.6	57.6
精神障害	276	8.1	11.2	2.3	2.9	1.8	6.3	1.8	3.7	4.2	2.3	1.8	0.5	0.5	0.3	9.7	0.0	1.6	56.9
その他	90	7.5	3.8	0.9	0.0	0.0	8.5	0.0	0.9	3.8	2.8	0.9	0.0	1.9	0.0	10.4	0.0	4.7	63.3

注) 2018年（コロナ前）に文化芸術を直接鑑賞しなかった人（「鑑賞したものはない」の回答者）

② 2020年（コロナ後）

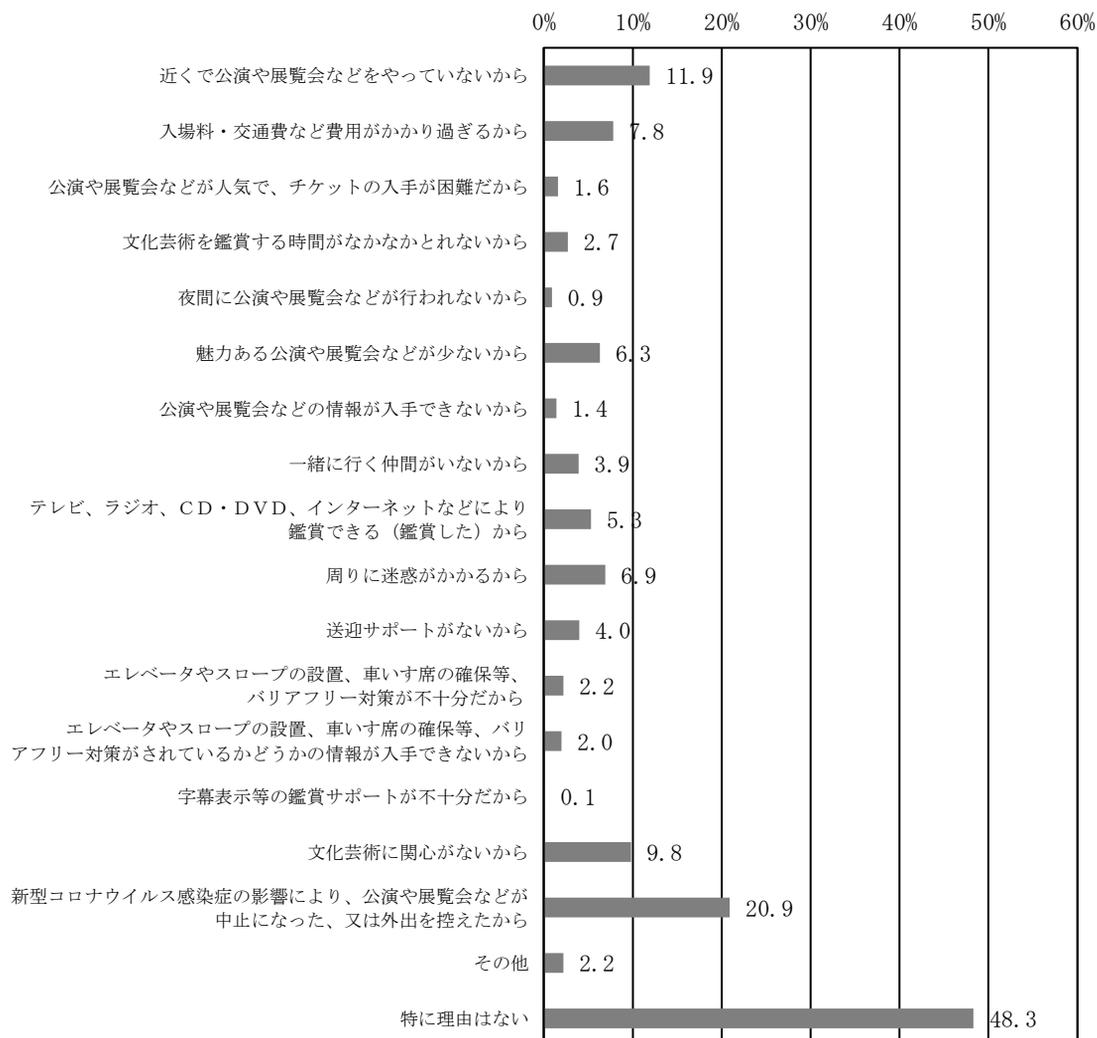
2020年（コロナ後）の1年間に文化芸術を直接鑑賞しなかった理由として多いのは「特に理由はない」（48.3%）で、2018年（コロナ前）と比較すると12.4%減少しているが、回答者の実数で見るとほぼ横ばいとなっている。

一方で、2割以上の307人が「新型コロナウイルス感染症の影響により、公演や展覧会などが中止になった、又は外出を控えたから」（20.9%）と回答しており、コロナ前後の直接鑑賞者数の減少分（△323人）に近い値となっている。このほか、「近くで公演や展覧会などをやっていないから」（11.9%）、「文化芸術に関心がないから」（9.8%）、「入場料・交通費など費用がかかり過ぎるから」（7.8%）、「周りに迷惑がかかるから」（6.9%）、「魅力ある公演や展覧会などが少ないから」（6.3%）の割合が高い（図表 2-11）。

障害の種類別では、全ての障害において「新型コロナウイルス感染症の影響により、公演や展覧会などが中止になった、又は外出を控えたから」の割合が最も高く、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きい。

その他、「肢体不自由（車椅子不要）」や「視覚障害」、「音声・言語・そしゃく機能障害」、「知的障害」は「近くで公演や展覧会などをやっていないから」、「聴覚障害」や「内部障害」、「発達障害」は「文化芸術に関心がないから」の割合が高く、文化芸術を鑑賞する機会が低いことが、直接鑑賞を妨げる理由となっている（図表 2-12）。

図表 2-11 2020年（コロナ後）に文化芸術を鑑賞しなかった理由



注) 2020年（コロナ後）に文化芸術を直接鑑賞しなかった人（「鑑賞したものはなし」の回答者）

図表 2-12 障害の種類、2020年（コロナ後）に文化芸術を鑑賞しなかった理由

(%)

障害の種類	n	近くで公演や展覧会などを行っていないから	入場料・交通費などがかり過ぎるから	公演や展覧会などが人気で、チケットの入手が困難だから	文化芸術を鑑賞する時間がなかなかとれないから	夜間に公演や展覧会などが行われないから	魅力ある公演や展覧会などが少ないから	公演や展覧会などの情報が入手できないから	一緒に行く仲間がいないから	テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネットなどにより鑑賞できる（鑑賞した）から	周りに迷惑がかかるから	送迎サポートがないから	エレベーターやスロープの設置、車いす席の確保等、バリアフリー対策が不十分だから	エレベーターやスロープの設置、車いす席の確保等、バリアフリー対策がされているかどうかの情報が入手できないから	字幕表示等の鑑賞サポートが不十分だから	文化芸術に関心がないから	新型コロナウイルス感染症の影響により、公演や展覧会などが中止になった、又は外出を控えたから	その他	特に理由はない
全体	1471	175	115	24	39	13	92	20	58	78	102	59	32	30	2	144	307	32	711
	100.0	11.9	7.8	1.6	2.7	0.9	6.3	1.4	3.9	5.3	6.9	4.0	2.2	2.0	0.1	9.8	20.9	2.2	48.3
肢体不自由（車椅子必要）	181	7.5	2.5	1.4	2.5	0.0	1.1	1.4	2.1	3.9	7.8	6.8	6.4	4.6	0.4	3.9	17.4	1.8	44.2
肢体不自由（車椅子不要）	330	11.4	5.1	0.7	0.7	0.2	2.2	0.4	2.9	4.0	5.6	3.6	2.5	2.7	0.0	6.9	16.1	2.0	44.5
視覚障害	90	8.6	4.3	2.2	2.9	0.7	4.3	0.0	5.8	5.0	3.6	5.0	2.2	0.7	0.0	5.8	10.8	3.6	53.3
聴覚障害	132	6.4	4.1	1.2	1.2	0.6	5.8	0.0	1.2	4.7	4.7	1.8	0.6	0.6	0.0	8.8	14.6	0.6	56.1
音声・言語・そしゃく機能障害	72	11.1	4.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	1.0	8.1	7.1	3.0	0.0	0.0	4.0	18.2	3.0	51.4
内部障害	142	8.8	5.7	0.5	2.1	0.0	4.6	1.0	3.1	4.1	3.6	2.1	1.5	0.5	0.0	9.8	21.1	0.5	42.3
知的障害	143	8.5	3.5	0.5	3.0	0.5	6.0	0.5	4.0	3.5	8.5	3.5	1.0	0.5	0.0	7.0	13.6	1.0	48.3
発達障害	165	8.5	9.7	0.4	2.0	0.8	7.7	1.2	1.6	3.6	6.0	2.4	0.4	0.0	0.0	11.3	13.7	0.8	44.8
精神障害	325	7.3	9.3	2.1	3.3	1.7	6.0	1.7	3.9	3.9	3.1	2.1	0.4	0.4	0.2	7.3	12.7	2.3	48.0
その他	115	7.2	3.3	1.3	1.3	0.7	6.5	2.0	2.0	3.9	3.9	1.3	0.7	1.3	0.0	7.2	15.7	3.9	50.4

注）2020年（コロナ後）に文化芸術を直接鑑賞しなかった人（「鑑賞したものはない」の回答者）

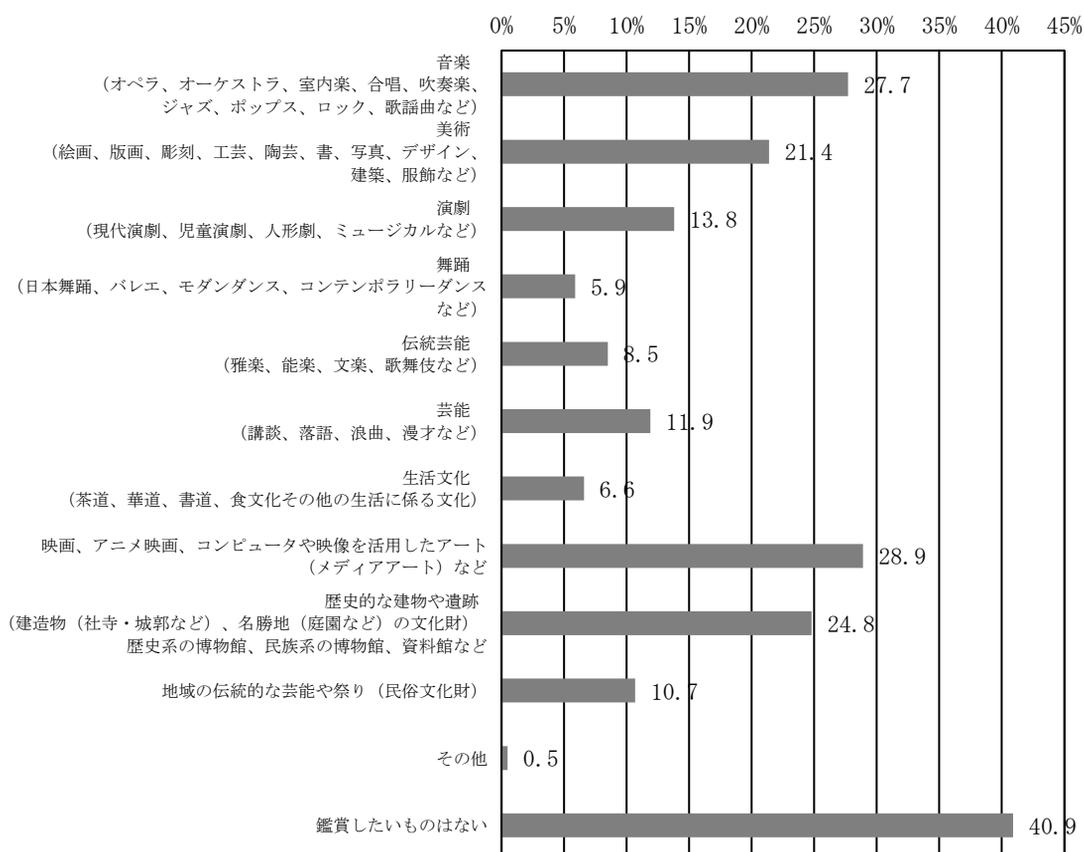
(4) 直接鑑賞したい文化芸術

今後、直接鑑賞してみたい文化芸術は、「鑑賞したいものはない」(40.9%)が約4割を占めるが、「鑑賞したいものはない」を除く59.1%では、「映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート(メディアアート)など」(28.9%)、「音楽(オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など)」(27.7%)、「歴史的な建物や遺跡(建造物(社寺・城郭など)、名勝地(庭園など)の文化財)、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など」(24.8%)、「美術(絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など)」(21.4%)の割合が高い(図表 2-13)。

障害の種類別では、全体で割合が高いジャンル「映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート(メディアアート)など」(28.9%)は「肢体不自由(車椅子不要)」や「知的障害」、「発達障害」、「精神障害」の割合が高い。

「肢体不自由(車椅子必要)」や「視覚障害」、「音声・言語・そしゃく機能障害」、「内部障害」は「音楽(オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など)」の割合が高く、映画や音楽系の関心が高い(図表 2-14)。

図表 2-13 直接鑑賞したい文化芸術



注) 複数種の選択を含む

注) 「鑑賞したいものはない」は、他の項目と重複して回答しない

図表 2-14 障害の種類、直接鑑賞したい文化芸術

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	その他	鑑賞したいものはない
全体	2000	554	428	275	118	169	237	132	578	496	214	10	817
	100	27.7	21.4	13.8	5.9	8.5	11.9	6.6	28.9	24.8	10.7	0.5	40.9
肢体不自由（車椅子必要）	242	16.0	11.9	6.7	3.5	5.2	7.3	2.6	10.8	12.3	4.5	0.2	36.4
肢体不自由（車椅子不要）	434	13.5	12.1	6.9	2.6	4.3	6.0	3.1	13.5	13.3	6.2	0.3	38.0
視覚障害	131	13.9	10.1	8.2	5.6	6.7	6.0	5.2	10.1	7.5	5.2	0.7	42.0
聴覚障害	195	10.6	11.9	7.3	3.9	6.2	4.9	4.2	11.7	11.7	6.0	0.5	41.5
音声・言語・そしゃく機能障害	92	14.0	8.6	5.9	3.2	6.5	8.6	3.8	9.7	12.9	3.2	0.0	47.8
内部障害	185	15.1	9.9	5.7	3.0	5.5	6.7	3.2	13.9	13.6	6.0	0.2	37.3
知的障害	181	14.7	6.7	7.0	1.7	2.7	3.3	3.7	18.3	9.7	4.7	0.0	45.9
発達障害	250	13.8	9.6	7.1	3.4	3.5	5.0	4.2	18.8	12.4	5.7	0.0	37.6
精神障害	463	14.2	10.3	7.4	3.5	3.8	6.0	3.6	15.3	11.4	4.6	0.2	43.0
その他	141	13.7	9.9	5.3	1.1	3.4	5.7	3.1	12.2	14.9	6.1	1.1	43.3

注) 複数種の選択を含む

注) 「鑑賞したいものはない」は、他の項目と重複して回答しない

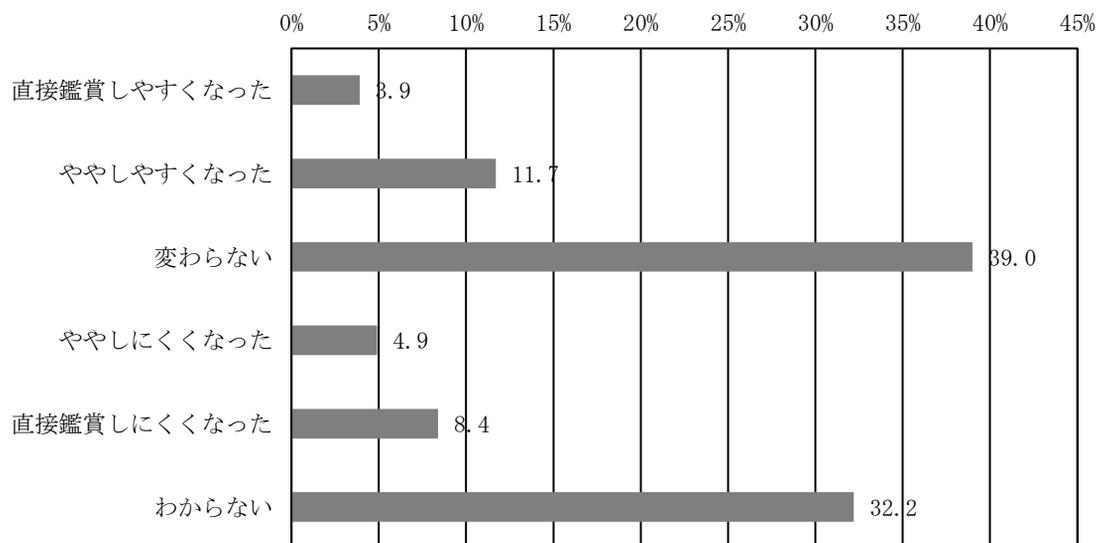
(5) 5年前(2017年頃)と比較した、直接鑑賞に係る環境の変化

新型コロナウイルスの影響を考慮に入れない場合、5年前(2017年頃)と比較して、障害のある方が文化芸術を直接鑑賞しやすい環境が整ってきたと感じるかについて、「変わらない」(39.0%)の回答が最も多く、次いで、「わからない」(32.2%)、「やややすくなった」(11.7%)、「直接鑑賞しにくくなった」(8.4%)、「ややしにくくなった」(4.9%)、「直接鑑賞しやすくなった」(3.9%)となっている(図表 2-15)。

障害の種類別では、全ての障害において「変わらない」の回答が多く、「やややすくなった」と回答した割合が高いのが「肢体不自由(車椅子必要)」や「肢体不自由(車椅子不要)」、「音声・言語・そしゃく機能障害」、「知的障害」、「精神障害」であった。

一方で「直接鑑賞しにくくなった」と回答した割合が高いのが「視覚障害」や「聴覚障害」、「内部障害」、「発達障害」で、直接鑑賞しやすい環境が整っていないと感じている回答が多い(図表 2-16)。

図表 2-15 5年前(2017年頃)と比較した、直接鑑賞に係る環境の変化



図表 2-16 障害の種類、 5年前（2017年頃）と比較した、直接鑑賞に係る環境の変化
(%)

障害の種類	n	直接鑑賞しやすくなった	ややしやすくなった	変わらない	ややしにくくなった	直接鑑賞しにくくなった	わからない
全体	2000	78	234	779	98	168	643
	100	3.9	11.7	39.0	4.9	8.4	32.2
肢体不自由（車椅子必要）	242	6.6	18.6	33.5	6.6	9.1	25.6
肢体不自由（車椅子不要）	434	4.4	13.8	40.3	3.2	8.1	30.2
視覚障害	131	4.6	9.2	36.6	6.1	16.8	26.7
聴覚障害	195	7.1	11.0	51.9	10.4	12.3	7.1
音声・言語・そしゃく機能障害	92	7.6	14.1	28.3	4.3	9.8	35.9
内部障害	185	5.1	5.1	41.7	4.0	6.9	37.1
知的障害	181	3.3	9.9	46.4	3.9	6.6	29.8
発達障害	250	2.8	8.4	43.2	5.6	10.8	29.2
精神障害	463	3.9	11.2	35.9	4.5	9.1	35.4
その他	141	0.7	7.8	33.3	5.0	6.4	46.8

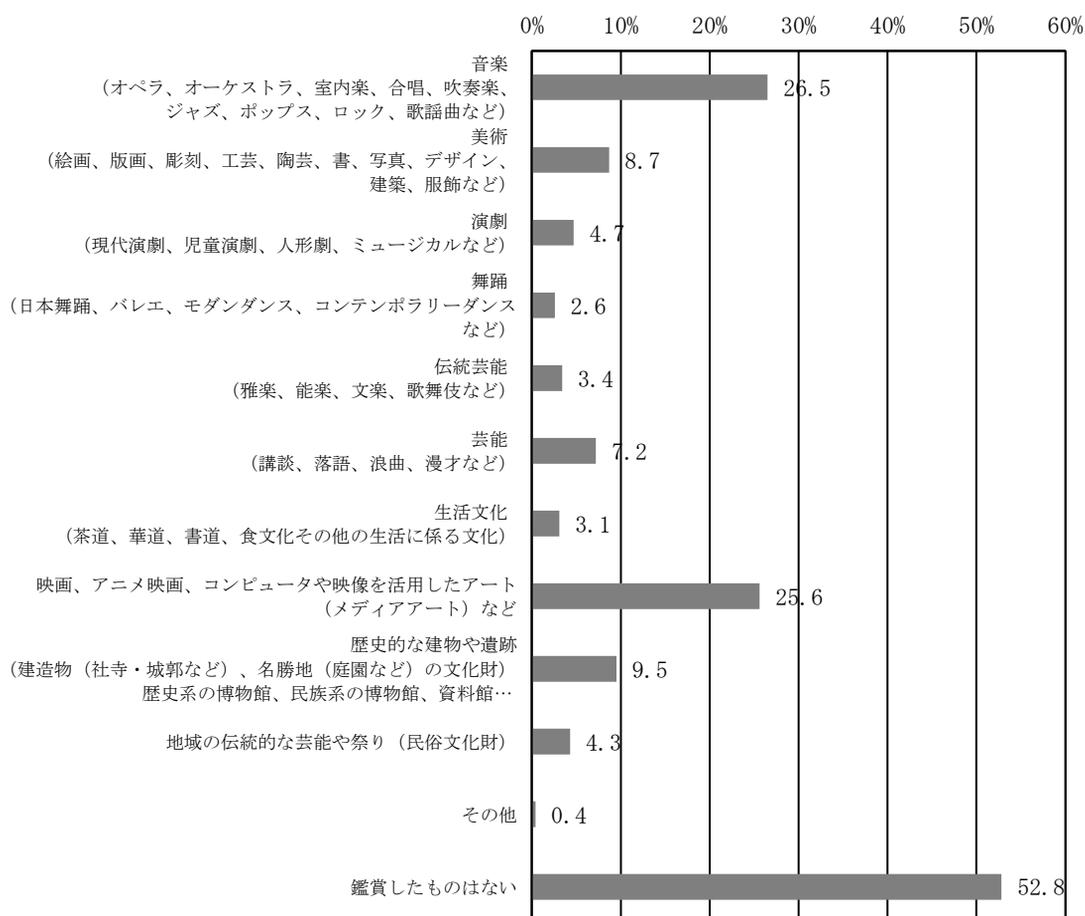
(6) 文化芸術を直接鑑賞以外の方法で鑑賞した割合とそのジャンル

① 2018年（コロナ前）

2018年（コロナ前）の1年間に文化芸術を直接鑑賞以外の方法（テレビ、ラジオ、CD、DVD、インターネット配信、ストリーミングサービス等）で鑑賞した割合として多いのは「鑑賞したものはない」（52.8%）で全体の5割強を占めるが、それ以外では、「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」（26.5%）、「映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など」（25.6%）の割合が高い（図表 2-17）。

障害の種類別では、「肢体不自由（車椅子必要）」や「視覚障害」、「聴覚障害」、「音声・言語・そしゃく機能障害」、「知的障害」、「精神障害」は「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」、「肢体不自由（車椅子不要）」や「内部障害」、「発達障害」は「映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など」の割合が高く、映画や音楽系のジャンルに偏りが見られる（図表 2-18）。

図表 2-17 2018年（コロナ前）に文化芸術を直接鑑賞以外の方法で鑑賞した割合とそのジャンル



注) 「鑑賞したものはない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「鑑賞したものはない」以外は、複数回答可

図表 2-18 障害の種類、2018年（コロナ前）に文化芸術を直接鑑賞以外の方法で鑑賞した割合とそのジャンル

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	その他	鑑賞したものはない
全体	2000	529	174	94	51	67	144	62	512	189	85	8	1056
	100	26.5	8.7	4.7	2.6	3.4	7.2	3.1	25.6	9.5	4.3	0.4	52.8
肢体不自由（車椅子必要）	242	20.4	6.9	3.3	2.5	1.9	5.5	2.2	12.9	6.6	4.7	0.3	49.2
肢体不自由（車椅子不要）	434	16.7	6.0	3.7	1.2	2.5	5.6	2.5	17.7	7.2	3.2	0.1	53.0
視覚障害	131	15.0	6.0	5.0	2.5	6.0	5.5	4.5	10.5	4.5	3.5	0.5	55.7
聴覚障害	195	13.7	7.4	4.7	3.3	4.3	5.4	3.7	13.0	6.7	2.3	1.0	52.8
音声・言語・そしゃく機能障害	92	17.2	5.1	5.7	3.2	3.2	5.1	3.2	14.6	7.0	3.8	0.6	53.3
内部障害	185	17.7	6.4	3.5	2.9	2.9	4.8	2.3	18.0	8.0	3.9	0.0	49.7
知的障害	181	17.5	5.0	2.5	1.3	0.8	2.9	1.7	16.3	4.6	2.5	0.0	59.7
発達障害	250	18.3	5.2	3.6	1.5	1.8	4.6	2.6	21.6	5.7	2.6	0.0	50.4
精神障害	463	19.7	5.4	2.6	2.6	1.9	4.1	2.0	17.2	5.7	2.9	0.3	53.8
その他	141	15.8	4.6	2.0	0.0	1.0	4.6	1.0	16.3	9.2	3.1	1.5	56.7

注) 「鑑賞したものはない」は、他の項目と重複して回答しない

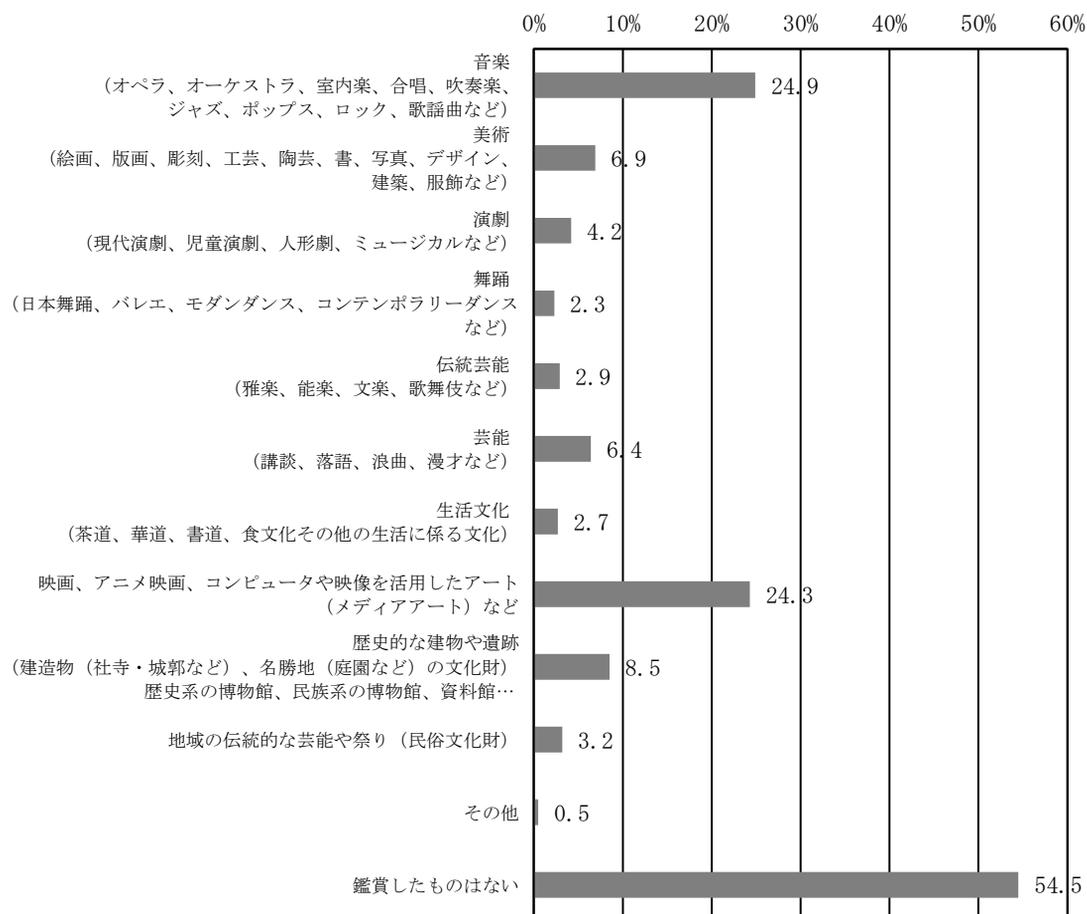
注) 「鑑賞したものはない」以外は、複数回答可

② 2020年（コロナ後）

2020年（コロナ後）の1年間に文化芸術を直接鑑賞以外の方法（テレビ、ラジオ、CD、DVD、インターネット配信、ストリーミングサービス等）で鑑賞した割合として多いのは「鑑賞したものはない」（54.5%）で、それ以外では、「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」（24.9%）、「映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など」（24.3%）の割合が高く、2018年（コロナ前）と比較しても大きな変化は見られない（図表 2-19）。

障害の種類別では、「肢体不自由（車椅子必要）」や「視覚障害」、「聴覚障害」、「音声・言語・そしゃく機能障害」、「内部障害」、「精神障害」は「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」、「肢体不自由（車椅子不要）」や「知的障害」、「発達障害」は「映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など」の割合が高く、2018年（コロナ前）と比較しても大きな変化は見られない（図表 2-20）。

図表 2-19 2020年（コロナ後）に文化芸術を直接鑑賞以外の方法で鑑賞した割合とそのジャンル



注) 「鑑賞したものはない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「鑑賞したものはない」以外は、複数回答可

図表 2-20 障害の種類、2020年（コロナ後）に文化芸術を直接鑑賞以外の方法で鑑賞した割合とそのジャンル

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	その他	鑑賞したものはない
全体	2000	498	137	84	45	57	128	54	486	169	63	9	1089
	100	24.9	6.9	4.2	2.3	2.9	6.4	2.7	24.3	8.5	3.2	0.5	54.5
肢体不自由（車椅子必要）	242	19.9	6.2	3.2	2.1	2.9	5.6	1.8	11.7	5.3	2.9	0.3	53.7
肢体不自由（車椅子不要）	434	15.9	4.9	3.3	1.1	2.2	5.7	2.0	17.6	7.2	2.4	0.3	54.8
視覚障害	131	14.8	6.3	4.2	2.1	5.3	3.7	4.2	10.6	6.3	3.2	0.5	55.7
聴覚障害	195	14.3	5.5	3.7	3.7	3.3	4.8	4.0	12.9	5.9	2.2	1.1	53.8
音声・言語・そしゃく機能障害	92	18.5	5.9	5.2	0.7	3.0	3.7	1.5	14.8	4.4	2.2	0.7	57.6
内部障害	185	17.7	6.1	3.1	3.1	2.7	4.8	1.7	17.1	7.5	3.4	0.0	51.9
知的障害	181	15.4	3.5	2.6	1.3	0.9	2.6	0.9	16.7	4.0	2.2	0.0	62.4
発達障害	250	18.3	4.8	3.7	1.9	1.9	3.2	3.2	23.1	6.1	1.6	0.0	48.8
精神障害	463	20.7	4.4	2.8	2.1	2.1	4.3	1.8	17.5	5.6	2.2	0.3	53.6
その他	141	14.5	3.8	1.6	0.0	1.1	4.3	1.1	16.1	9.1	2.7	1.6	58.2

注) 「鑑賞したものはない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「鑑賞したものはない」以外は、複数回答可

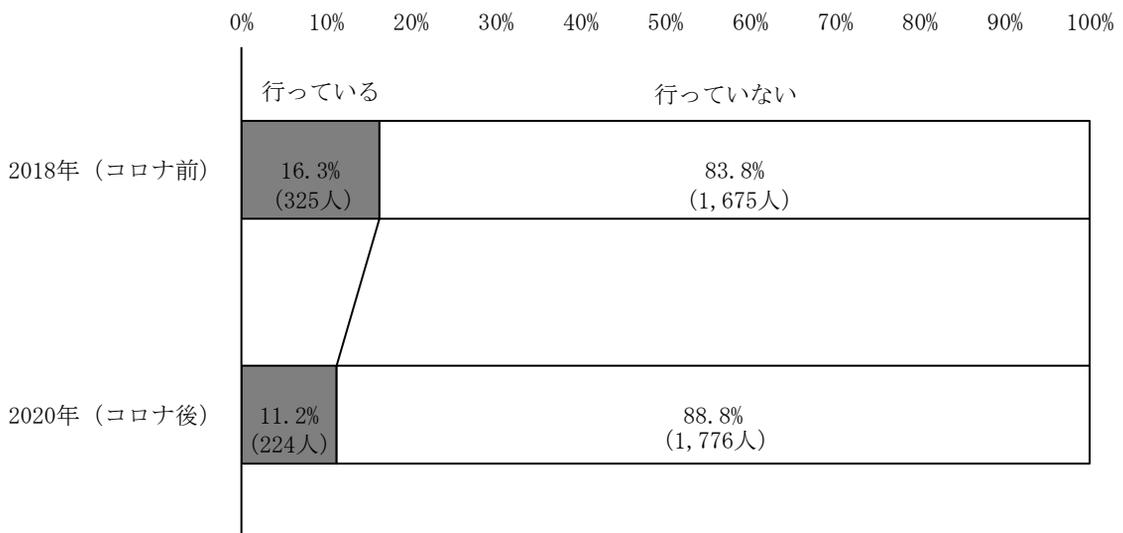
3. 鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況

(1) 鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況の概要

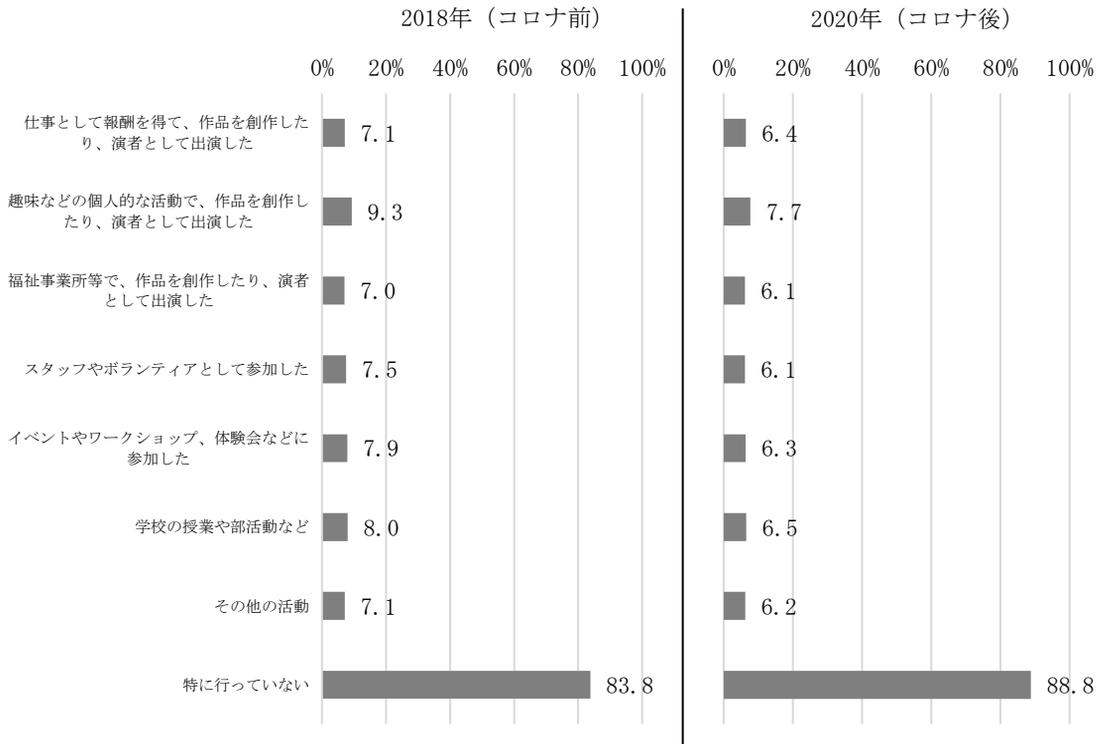
鑑賞以外の文化芸術活動について、何らかの文化芸術分野・活動形態で活動を行っている人は、2018年（コロナ前）は16.3%、2020年（コロナ後）は11.2%となっており、新型コロナウイルス感染症の影響により、鑑賞以外の文化芸術活動の実施が困難となっている可能性がある（図表3-1）。

活動形態別に見ても、全ての形態で、2020年（コロナ後）は2018年（コロナ前）よりも減少している（図表3-2）。

図表 3-1 鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況



図表 3-2 鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況・活動形態別



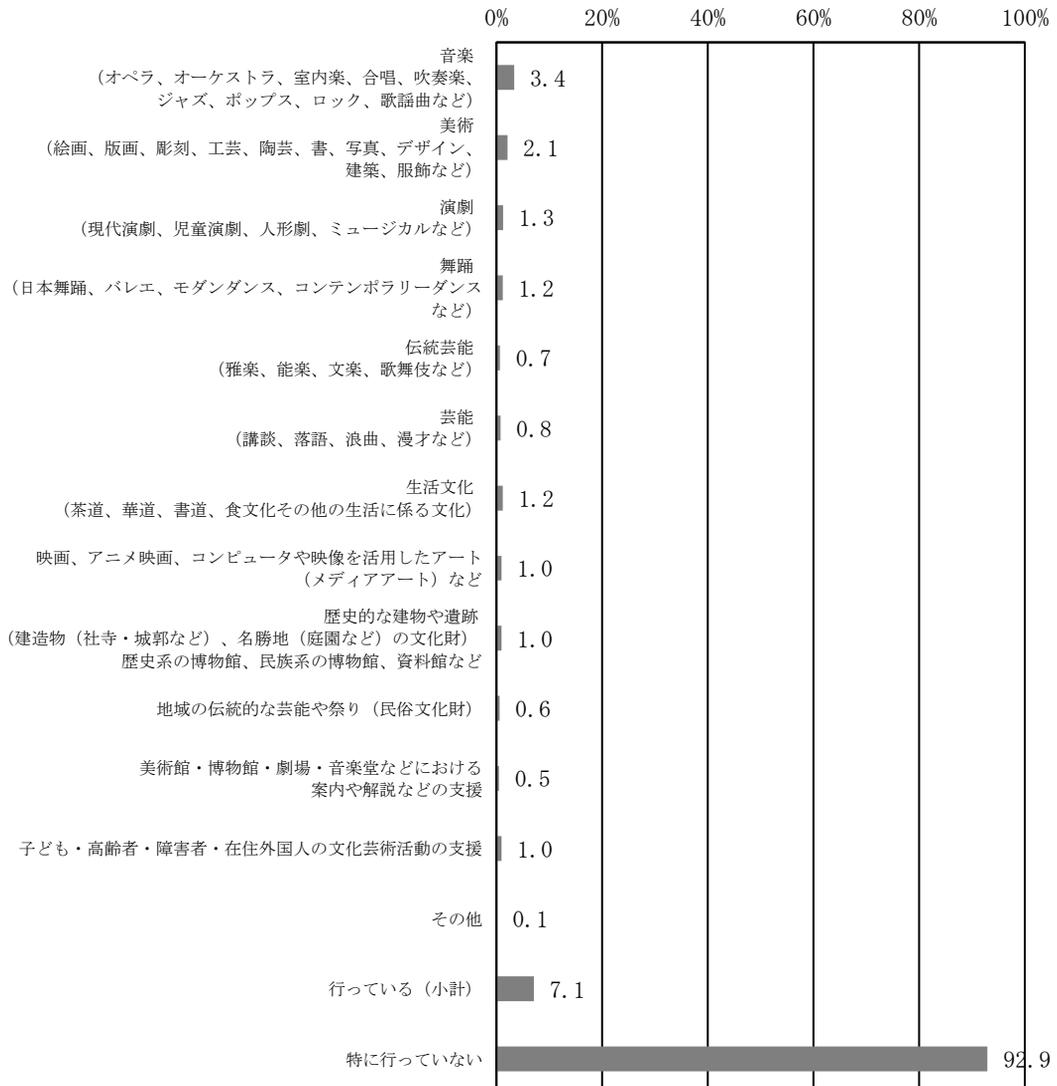
(2) 2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況

①「仕事として報酬を得る、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合

2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動のうち、何らかの文化芸術分野で「仕事として報酬を得る、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合は、7.1%となっている。分野別では、「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」（3.4%）、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」（2.1%）の割合が高い（図表3-3）。

障害の種類別では、全ての障害において「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」の割合が高く、「内部障害」や「知的障害」は「生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）」の割合が次いで高い（図表3-4）。

図表 3-3 2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況
①「仕事として報酬を得る、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合



注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

図表 3-4 障害の種類、2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ①「仕事として報酬を得る、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	67	42	26	24	13	16	24	20	19	12	10	19	2	142	1858	
	100	3.4	2.1	1.3	1.2	0.7	0.8	1.2	1.0	1.0	0.6	0.5	1.0	0.1	7.1	92.9	
肢体不自由（車椅子必要）	242	6.2	3.4	2.1	1.4	1.4	1.4	2.1	1.4	1.7	1.4	1.4	1.7	0.0	10.7	89.3	
肢体不自由（車椅子不要）	434	2.7	1.1	0.7	0.9	0.4	0.7	0.9	0.4	0.2	0.2	0.0	0.7	0.2	6.7	93.3	
視覚障害	131	4.9	3.7	2.5	2.5	1.9	2.5	3.1	1.2	1.9	1.2	1.2	3.1	0.6	13.7	86.3	
聴覚障害	195	6.3	5.4	2.7	1.8	0.9	0.4	1.3	1.3	2.2	1.3	0.4	0.9	0.0	14.4	85.6	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	4.2	4.2	2.5	2.5	0.8	1.7	2.5	3.4	1.7	1.7	1.7	1.7	0.0	7.6	92.4	
内部障害	185	2.0	1.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	0.0	5.9	94.1	
知的障害	181	2.0	1.5	0.5	1.0	1.0	1.5	2.0	1.5	1.0	0.5	0.5	1.5	0.0	5.5	94.5	
発達障害	250	3.2	2.5	1.1	1.4	1.1	1.4	1.8	2.1	0.4	0.4	0.7	1.1	0.0	7.2	92.8	
精神障害	463	2.5	1.7	1.5	1.5	1.1	0.9	1.1	1.3	1.3	1.1	1.1	1.3	0.2	5.4	94.6	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	98.6	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

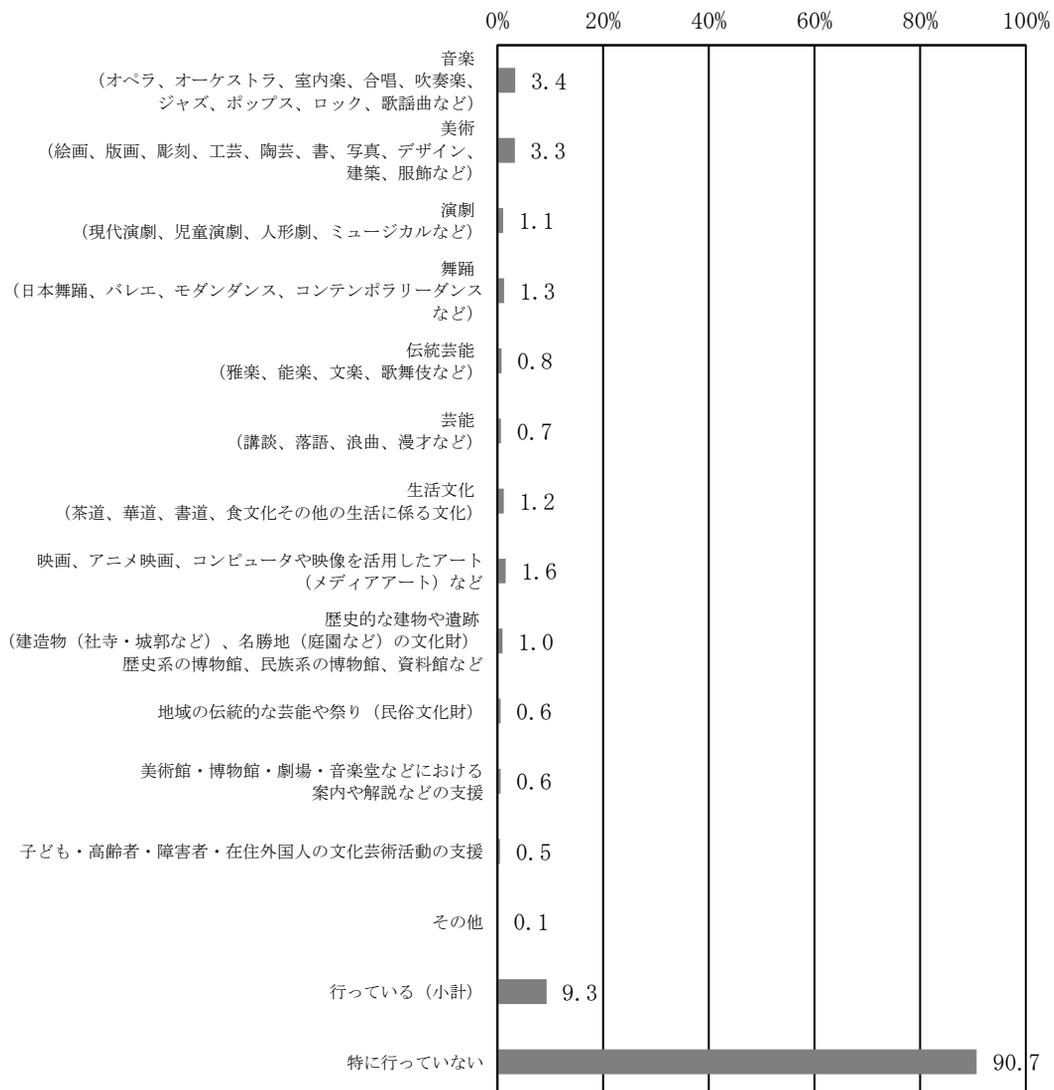
(2) 2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況

②「趣味などの個人的な活動で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合

2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動のうち、何らかの文化芸術分野で「趣味などの個人的な活動で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合は、9.3%となっている。分野別では、「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」（3.4%）、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」（3.3%）の割合が高い(図表3-5)。

障害の種類別では、「肢体不自由（車椅子必要）」や「聴覚障害」、「音声・言語・そしゃく機能障害」は「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」の割合が高く、他の障害と比較すると「特に行っていない」の回答が多くなり、「趣味などの個人的な活動で、作品を創作したり、演者として出演した」活動の割合が高い(図表3-6)。

図表 3-5 2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況
②「趣味などの個人的な活動で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合



注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

図表 3-6 障害の種類、2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況
 ②「趣味などの個人的な活動で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	67	65	21	25	16	14	24	31	19	11	11	10	2	187	1813	
	100	3.4	3.3	1.1	1.3	0.8	0.7	1.2	1.6	1.0	0.6	0.6	0.5	0.1	9.3	90.7	
肢体不自由（車椅子必要）	242	4.3	6.5	2.2	1.8	1.4	1.4	1.4	2.2	1.4	1.1	0.7	0.7	0.0	14.9	85.1	
肢体不自由（車椅子不要）	434	3.1	2.0	0.7	0.4	0.7	0.2	0.9	0.9	0.4	0.0	0.2	0.4	0.0	7.1	92.9	
視覚障害	131	5.5	3.0	3.0	2.4	1.8	2.4	3.7	3.7	3.0	1.8	1.8	1.8	0.0	17.6	82.4	
聴覚障害	195	4.3	7.4	2.6	2.2	1.7	0.9	2.6	2.6	2.6	0.9	1.3	1.3	0.0	17.4	82.6	
音声・言語・そしやく機能障害	92	1.8	6.4	1.8	1.8	0.9	1.8	1.8	3.7	0.9	0.9	1.8	0.9	0.0	10.9	89.1	
内部障害	185	2.0	2.0	1.0	1.5	3.0	0.5	0.5	2.0	0.5	1.0	0.5	1.0	0.0	7.6	92.4	
知的障害	181	3.0	2.0	0.5	2.5	0.5	1.0	1.5	1.5	1.5	2.0	0.5	1.0	0.0	9.4	90.6	
発達障害	250	3.9	3.2	1.1	2.1	1.4	1.1	1.8	2.1	1.1	0.4	1.1	0.7	0.0	9.2	90.8	
精神障害	463	3.2	2.8	0.8	0.8	0.6	0.8	1.2	1.6	0.6	0.4	0.6	0.2	0.2	7.6	92.4	
その他	141	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	2.8	97.2	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

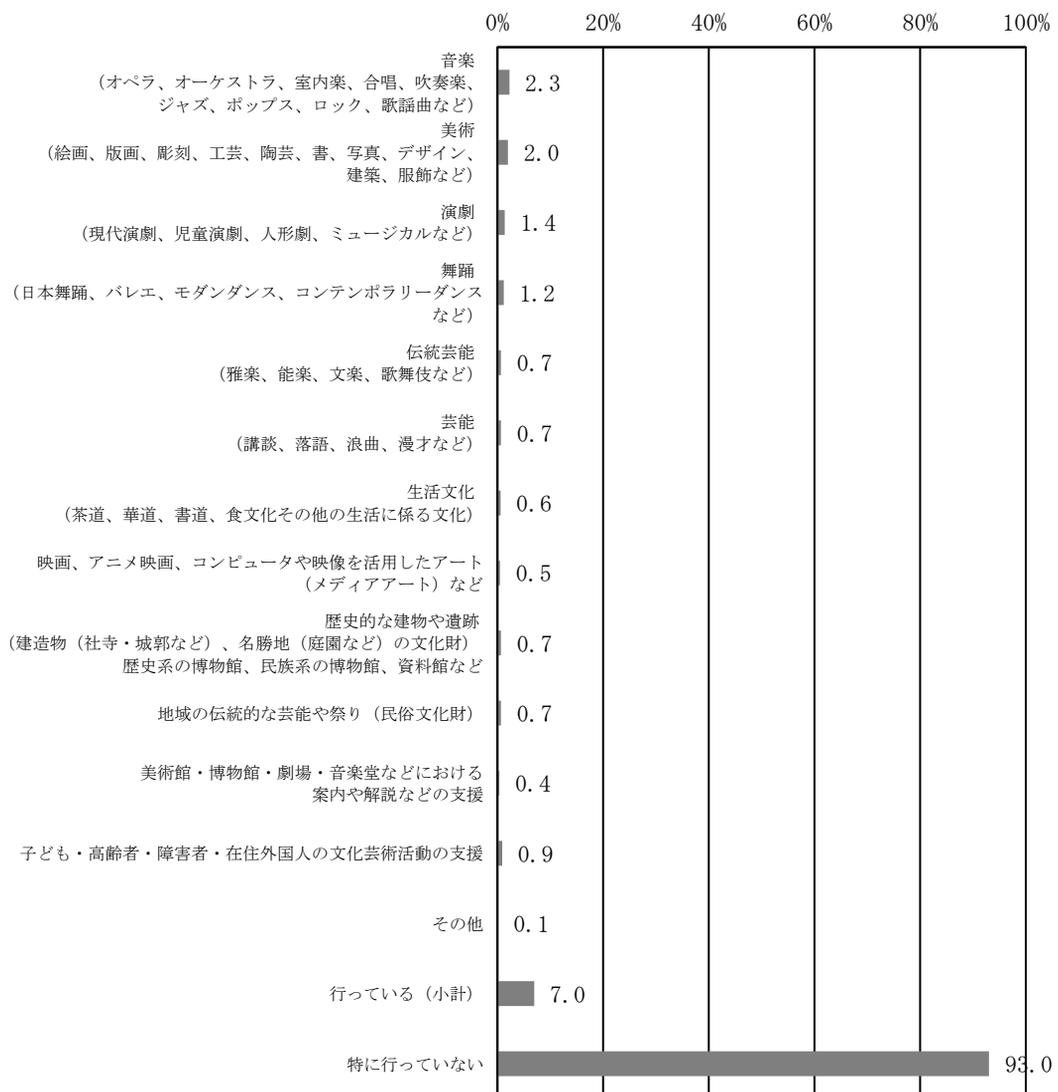
注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

(2) 2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況
 ③「福祉事業所等で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合

2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動のうち、何らかの文化芸術分野で「福祉事業所等で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合は、7.0%となっている。分野別では、「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」（2.3%）、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」（2.0%）の割合が高い(図表3-7)。

障害の種類別では、「肢体不自由（車椅子必要）」や「聴覚障害」は「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」や「演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）」の割合が高い。また「視覚障害」や「音声・言語・そしゃく機能障害」、「知的障害」、「精神障害」は「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」の割合が高い(図表3-8)。

図表 3-7 2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況
 ③「福祉事業所等で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合



注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

図表 3-8 障害の種類、2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ③「福祉事業所等で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	46	39	28	24	14	13	12	10	13	13	8	17	1	140	1860	
	100	2.3	2.0	1.4	1.2	0.7	0.7	0.6	0.5	0.7	0.7	0.4	0.9	0.1	7.0	93.0	
肢体不自由（車椅子必要）	242	3.9	2.3	3.9	1.5	1.2	1.5	0.8	0.4	1.2	0.4	0.8	0.4	0.0	12.4	87.6	
肢体不自由（車椅子不要）	434	2.0	1.8	0.9	0.7	0.2	0.7	0.0	0.4	0.2	0.2	0.0	0.9	0.0	5.5	94.5	
視覚障害	131	4.3	4.3	2.5	1.9	1.2	2.5	3.1	1.2	1.9	1.9	1.9	3.1	0.0	13.0	87.0	
聴覚障害	195	3.6	3.1	3.6	3.1	1.8	0.4	1.3	1.3	1.8	1.8	0.4	2.7	0.0	13.3	86.7	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	1.0	4.9	3.9	1.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	9.8	90.2	
内部障害	185	1.5	1.0	1.0	1.5	2.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	0.0	5.9	94.1	
知的障害	181	2.5	4.0	1.5	2.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	2.0	0.0	8.8	91.2	
発達障害	250	2.9	1.8	1.4	1.4	1.1	0.7	1.8	1.1	0.4	1.4	0.7	1.1	0.4	7.6	92.4	
精神障害	463	1.8	2.0	0.6	1.0	0.6	0.6	0.8	0.8	0.8	0.6	0.6	0.4	0.0	4.8	95.2	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	99.3	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

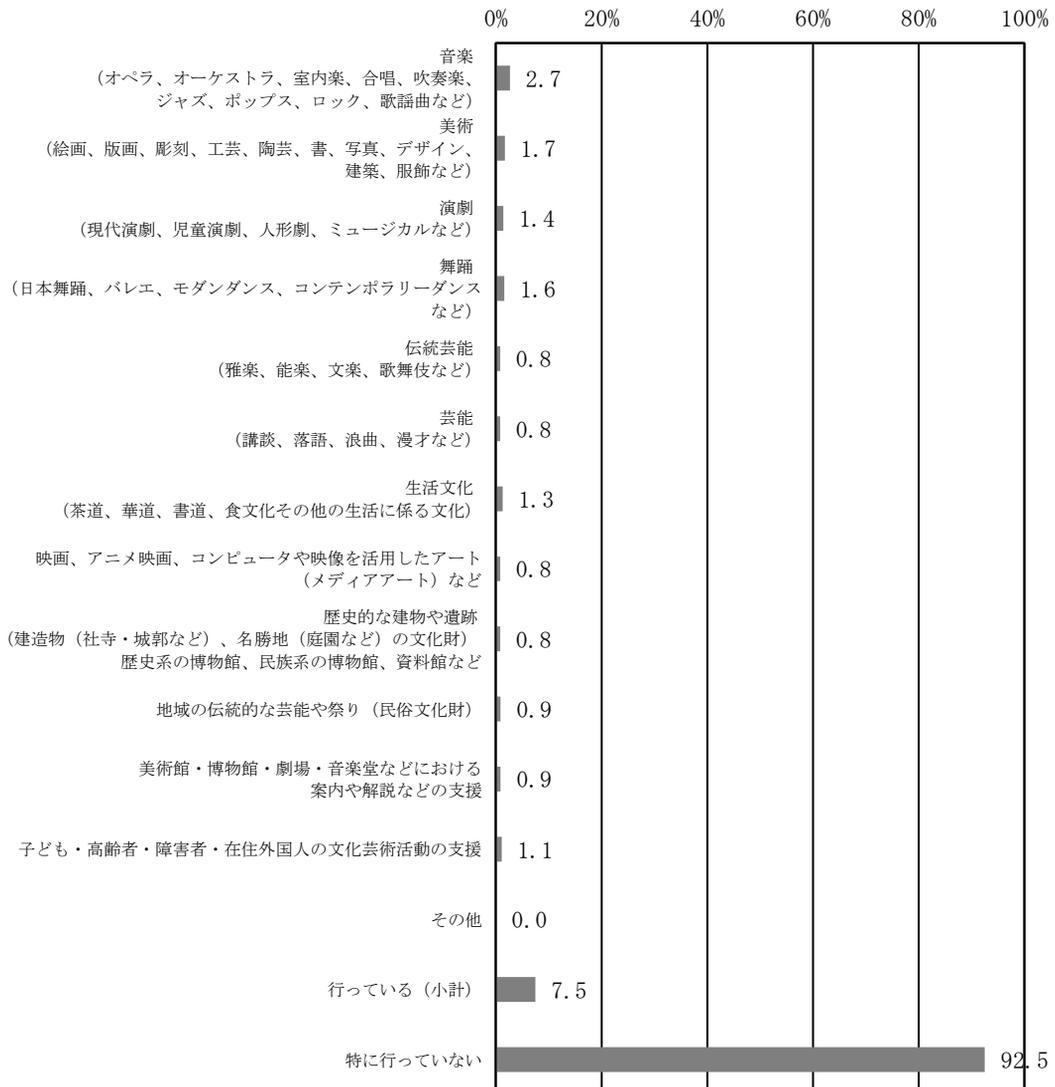
(2) 2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況

④「スタッフやボランティアとして参加した」方の割合

2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動のうち、何らかの文化芸術分野で「スタッフやボランティアとして参加した」方の割合は、7.5%となっている。分野別では、「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」（2.7%）、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」（1.7%）、「舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）」（1.6%）、「演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）」（1.4%）、「生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）」（1.3%）の割合が高い(図表3-9)。

障害の種類別では、「視覚障害」や「聴覚障害」は「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」の割合が高く、他の障害と比較すると「特に行っていない」の回答が多くなく、「スタッフやボランティアとして参加した」活動の割合が高い(図表3-10)。

図表 3-9 2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況
④「スタッフやボランティアとして参加した」方の割合



注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

図表 3-10 障害の種類、2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ④「スタッフやボランティアとして参加した」方の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	53	34	27	31	16	16	25	15	15	17	18	21	0	150	1850	
	100	2.7	1.7	1.4	1.6	0.8	0.8	1.3	0.8	0.8	0.9	0.9	1.1	0.0	7.5	92.5	
肢体不自由（車椅子必要）	242	3.1	1.5	1.9	4.2	0.8	0.8	1.1	1.1	0.4	0.8	1.5	0.8	0.0	11.2	88.8	
肢体不自由（車椅子不要）	434	3.3	2.2	0.9	0.7	0.7	0.0	1.3	0.0	0.4	0.9	0.7	0.9	0.0	7.8	92.2	
視覚障害	131	4.1	2.9	4.1	2.3	2.9	2.9	3.5	1.8	1.8	2.9	1.8	2.9	0.0	13.7	86.3	
聴覚障害	195	5.2	2.8	3.6	4.0	1.2	2.8	1.6	2.4	2.4	2.4	2.4	2.0	0.0	14.4	85.6	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	1.0	3.9	1.9	2.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.9	1.9	1.0	0.0	9.8	90.2	
内部障害	185	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.5	2.5	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5	0.0	4.9	95.1	
知的障害	181	2.1	1.5	0.5	1.0	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	0.5	1.0	1.5	0.0	5.0	95.0	
発達障害	250	3.0	1.5	0.7	2.2	1.1	0.4	1.5	1.5	0.4	0.7	0.7	1.1	0.0	8.8	91.2	
精神障害	463	1.8	1.6	1.0	1.0	0.8	0.8	1.0	0.8	1.0	0.6	0.6	1.0	0.0	5.2	94.8	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	99.3	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

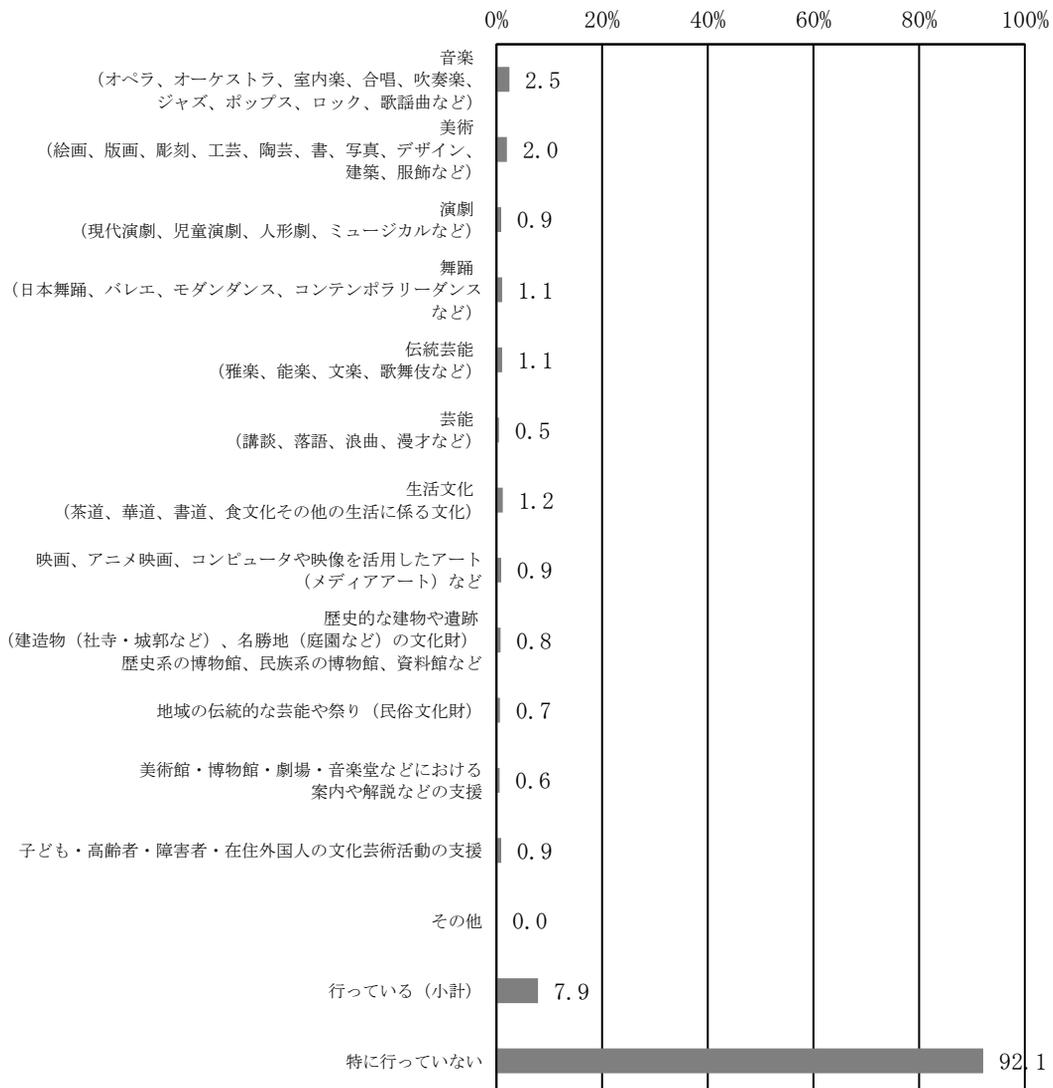
注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

(2) 2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況
 ⑤「イベントやワークショップ、体験会などに参加した」方の割合

2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動のうち、何らかの文化芸術分野で「イベントやワークショップ、体験会などに参加した」方の割合は、7.9%となっている。分野別では、「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」（2.5%）、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」（2.0%）の割合が高い(図表3-11)。

障害の種類別で、「視覚障害」や「聴覚障害」は「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」の割合が高く、他の障害と比較すると「特に行っていない」の回答が多くなく、「イベントやワークショップ、体験会などに参加した」活動の割合が高い(図表3-12)。

図表 3-11 2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況
 ⑤「イベントやワークショップ、体験会などに参加した」方の割合



注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

図表 3-12 障害の種類、2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ⑤「イベントやワークショップ、体験会などに参加した」方の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	49	40	17	22	21	9	24	17	16	14	11	17	0	158	1842	
	100	2.5	2.0	0.9	1.1	1.1	0.5	1.2	0.9	0.8	0.7	0.6	0.9	0.0	7.9	92.1	
肢体不自由（車椅子必要）	242	3.8	2.3	1.5	1.5	3.1	0.4	1.5	0.8	1.2	1.9	0.4	0.4	0.0	12.8	87.2	
肢体不自由（車椅子不要）	434	2.0	1.1	0.9	0.9	0.7	0.2	0.2	0.7	0.4	0.2	0.4	0.4	0.0	5.8	94.2	
視覚障害	131	3.8	5.7	1.9	1.9	1.9	1.9	2.5	3.1	1.3	1.3	1.9	3.1	0.0	15.3	84.7	
聴覚障害	195	3.0	3.0	2.2	2.2	3.0	1.3	3.0	0.4	2.6	2.6	2.2	2.6	0.0	14.9	85.1	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	1.0	4.9	1.9	1.0	2.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	8.7	91.3	
内部障害	185	1.5	0.5	1.5	1.5	0.5	0.5	1.5	1.5	0.5	1.0	0.5	0.5	0.0	5.9	94.1	
知的障害	181	2.8	2.8	1.4	2.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.9	1.4	1.4	3.2	0.0	7.7	92.3	
発達障害	250	2.5	2.2	1.1	2.2	1.4	1.1	2.2	2.2	0.7	0.7	0.7	0.4	0.0	8.0	92.0	
精神障害	463	2.5	2.3	0.4	0.6	0.4	0.4	1.0	1.0	0.8	0.2	0.2	0.2	0.0	6.7	93.3	
その他	141	1.4	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	96.5	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

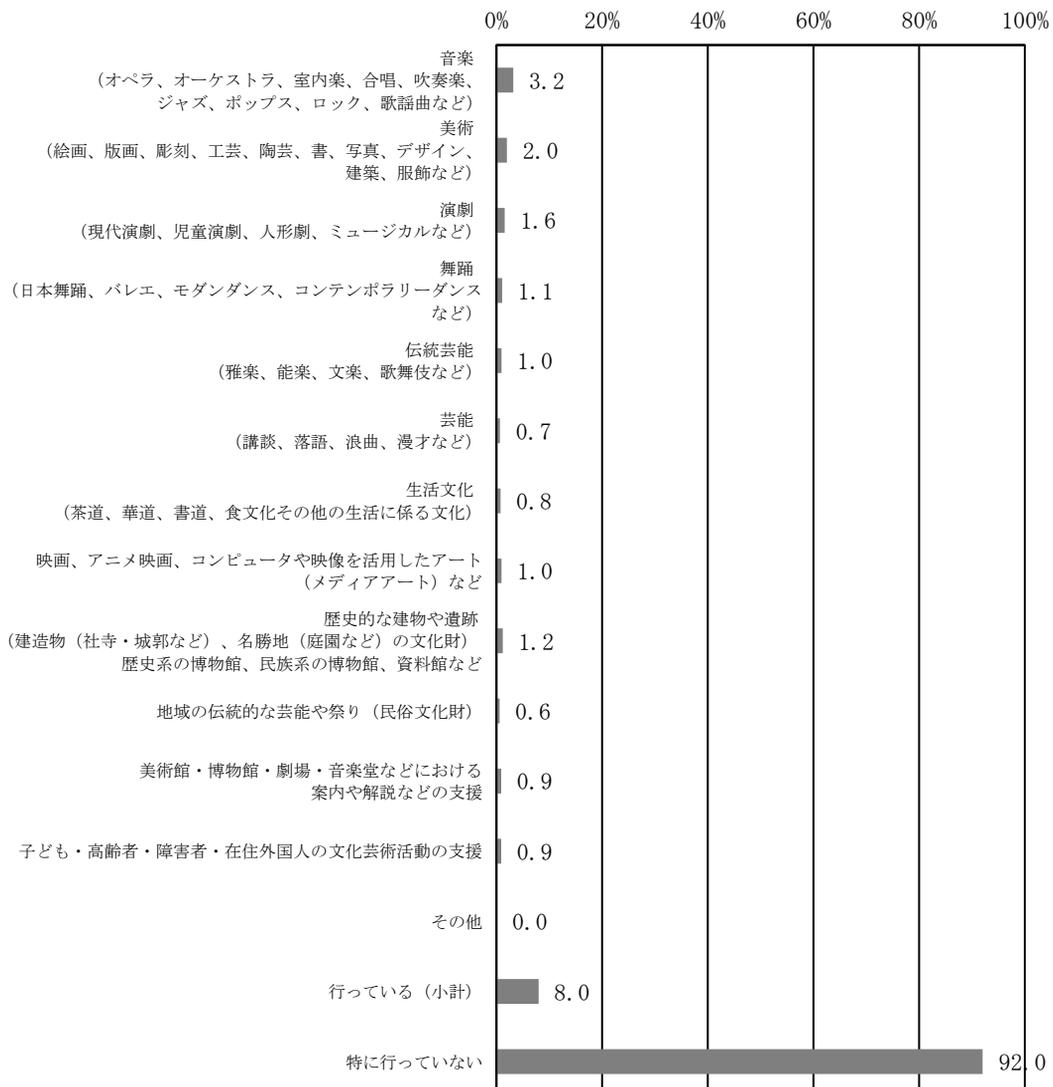
(7) 2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況

⑥「学校の授業や部活動など」の割合

2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動のうち、何らかの文化芸術分野で「学校の授業や部活動など」の割合は、8.0%となっている。分野別では、「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」（3.2%）、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」（2.0%）、「演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）」（1.6%）、「歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など」（1.2%）の割合が高い(図表3-13)。

障害の種類別では、「視覚障害」や「知的障害」は「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」の割合が高く、他の障害と比較すると「特に行っていない」の回答が多くなく、「学校の授業や部活動など」活動の割合が高い(図表3-14)。

図表 3-13 2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況
⑥「学校の授業や部活動など」の割合



注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

図表 3-14 障害の種類、2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ⑥「学校の授業や部活動など」の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	64	40	31	21	20	14	16	20	23	12	17	17	0	161	1839	
	100	3.2	2.0	1.6	1.1	1.0	0.7	0.8	1.0	1.2	0.6	0.9	0.9	0.0	8.0	92.0	
肢体不自由（車椅子必要）	242	3.0	1.1	2.3	1.1	0.8	2.7	1.1	1.5	1.1	0.8	1.5	0.8	0.0	10.7	89.3	
肢体不自由（車椅子不要）	434	3.1	1.1	1.5	1.5	0.7	0.2	0.2	0.2	0.9	0.2	0.2	0.4	0.0	6.5	93.5	
視覚障害	131	3.7	3.1	3.1	1.2	2.5	1.8	2.5	3.1	2.5	1.8	2.5	2.5	0.0	13.0	87.0	
聴覚障害	195	3.7	1.8	2.3	2.3	1.8	1.4	1.4	1.4	1.8	0.9	1.8	2.3	0.0	13.8	86.2	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	1.8	2.8	1.8	0.9	0.9	2.8	2.8	1.8	1.8	1.8	1.8	0.9	0.0	7.6	92.4	
内部障害	185	2.5	1.0	0.5	1.5	1.5	0.5	0.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	0.0	5.9	94.1	
知的障害	181	5.1	5.1	4.3	1.3	2.6	1.7	1.7	2.6	2.6	2.1	2.1	2.1	0.0	13.3	86.7	
発達障害	250	5.1	5.1	3.1	2.0	2.0	1.0	1.7	1.7	2.0	1.0	1.0	0.3	0.0	13.6	86.4	
精神障害	463	2.6	2.2	0.8	0.4	0.8	0.4	0.8	0.6	1.2	0.6	0.6	0.4	0.0	5.4	94.6	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	1.4	98.6	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

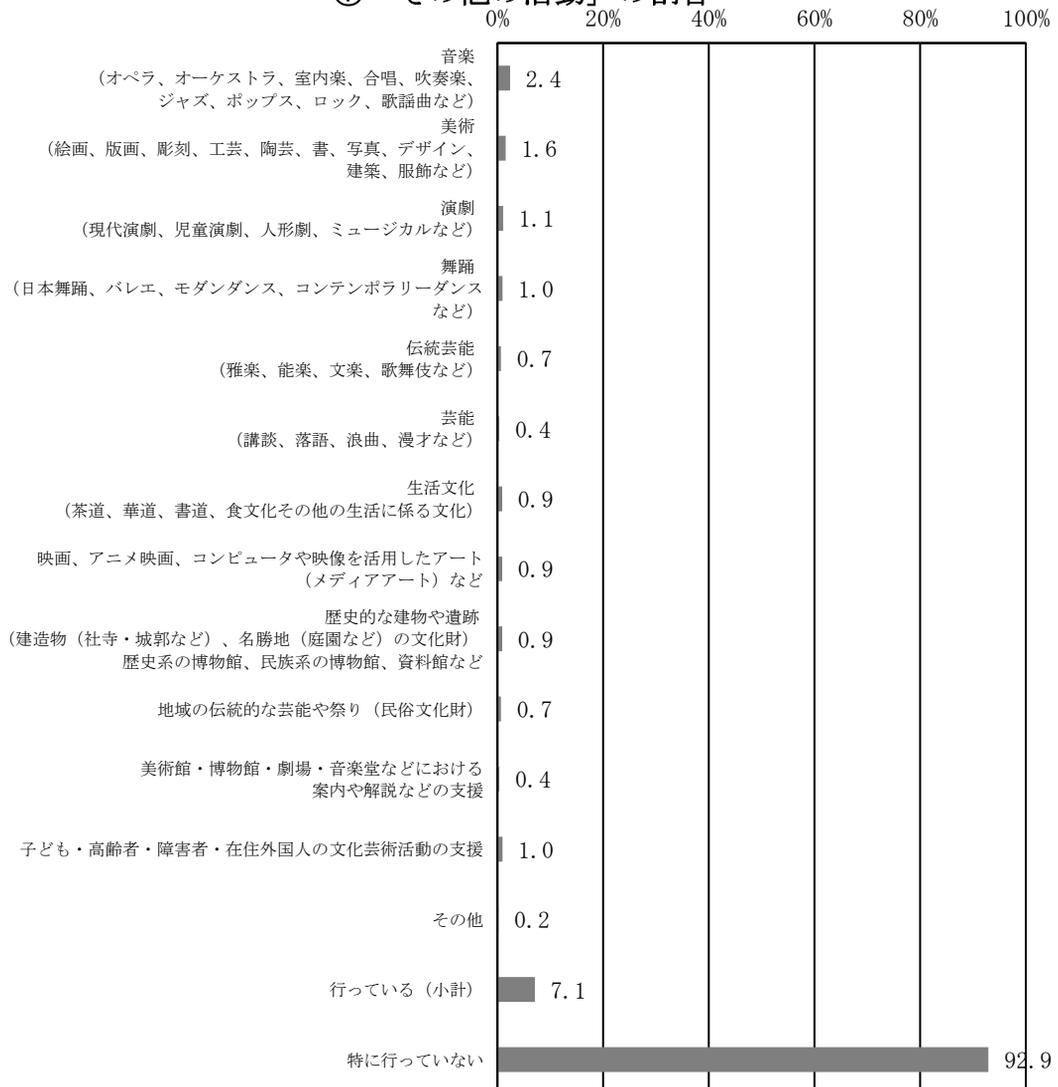
(2) 2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況

⑦「その他の活動」の割合

2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動のうち、何らかの文化芸術分野で「その他の活動」の割合は、7.1%となっている。分野別では、「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」（2.4%）、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」（1.6%）、「演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）」（1.1%）、「舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）」（1.0%）、「子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援」（1.0%）の割合が高い（図表3-15）。

障害の種類別では、「肢体不自由（車椅子必要）」や「肢体不自由（車椅子不要）」、「聴覚障害」、「精神障害」は「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」、「音声・言語・そしゃく機能障害」や「内部障害」、「知的障害」、「発達障害」は「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」の割合が高い（図表3-16）。

図表 3-15 2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況
⑦「その他の活動」の割合



注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

図表 3-16 障害の種類、2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ⑦「その他の活動」の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
		全体	2000	48	31	21	19	13	8	18	17	18	13	7	20	4	142
	100	2.4	1.6	1.1	1.0	0.7	0.4	0.9	0.9	0.9	0.7	0.4	1.0	0.2	7.1	92.9	
肢体不自由（車椅子必要）	242	2.9	1.2	0.8	0.8	0.0	0.0	2.1	0.4	0.4	0.0	0.0	1.2	0.0	9.5	90.5	
肢体不自由（車椅子不要）	434	3.0	1.7	1.3	1.5	1.1	0.6	0.6	1.3	0.6	0.9	0.9	0.9	0.2	7.6	92.4	
視覚障害	131	2.5	1.9	3.2	3.2	1.3	1.3	3.2	1.9	2.5	1.3	1.3	2.5	0.6	11.5	88.5	
聴覚障害	195	3.9	1.5	1.9	1.5	0.5	1.0	1.0	1.0	2.4	1.0	0.5	1.5	0.5	13.3	86.7	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	5.4	94.6	
内部障害	185	0.5	1.6	0.0	1.1	0.5	0.0	0.0	0.0	1.1	1.1	0.0	0.5	0.0	5.4	94.6	
知的障害	181	1.6	2.1	1.6	1.1	0.0	0.5	0.0	0.5	0.5	0.5	0.0	1.6	0.0	6.1	93.9	
発達障害	250	3.0	3.3	1.1	1.5	1.1	0.4	1.5	1.1	0.4	0.7	0.4	0.4	0.0	8.0	92.0	
精神障害	463	2.7	1.4	1.0	0.6	0.4	0.0	0.8	0.8	0.8	0.6	0.0	0.4	0.0	5.4	94.6	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	97.9	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

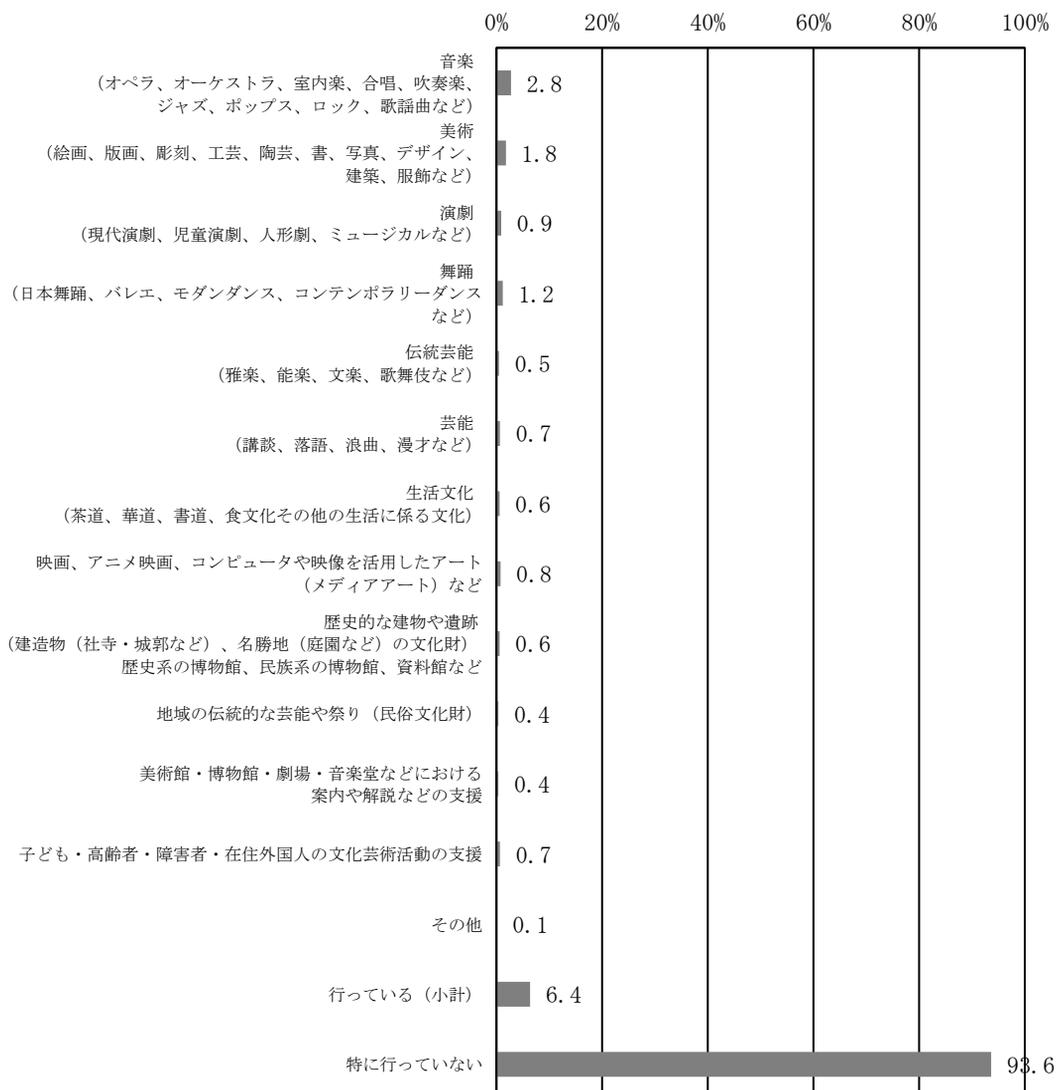
(3) 2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況

①「仕事として報酬を得る、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合

2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動のうち、何らかの文化芸術分野で「仕事として報酬を得る、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合は、6.4%となっている。分野別では、「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」（2.8%）、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」（1.8%）、「舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）」（1.2%）の割合が高く、2018年（コロナ前）と比較し大きな変化は見られない(図表3-17)。

障害の種類別で、「肢体不自由（車椅子必要）」や「肢体不自由（車椅子不要）」、「内部障害」、「発達障害」は「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」、「視覚障害」や「聴覚障害」、「音声・言語・そしゃく機能障害」、「知的障害」、「精神障害」は「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」の割合が高い(図表3-18)。

図表 3-17 2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況
①「仕事として報酬を得る、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合



注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

図表 3-18 障害の種類、2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ①「仕事として報酬を得る、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	55	35	18	23	10	13	12	15	11	8	8	14	1	129	1871	
	100	2.8	1.8	0.9	1.2	0.5	0.7	0.6	0.8	0.6	0.4	0.4	0.7	0.1	6.4	93.6	
肢体不自由（車椅子必要）	242	5.7	1.8	2.1	2.5	1.1	1.4	1.1	1.4	1.4	1.4	1.8	1.8	0.0	10.3	89.7	
肢体不自由（車椅子不要）	434	2.2	1.1	0.7	1.3	0.4	0.4	0.7	0.2	0.0	0.4	0.0	0.4	0.2	6.0	94.0	
視覚障害	131	3.8	4.4	1.9	2.5	1.9	2.5	1.9	2.5	1.9	1.3	1.3	2.5	0.6	13.0	87.0	
聴覚障害	195	4.2	4.6	1.9	2.3	0.9	0.9	0.9	1.4	1.9	0.9	0.9	1.4	0.0	13.8	86.2	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	3.8	4.7	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	2.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.0	7.6	92.4	
内部障害	185	2.5	0.5	1.5	1.0	2.0	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	0.5	1.0	0.0	5.9	94.1	
知的障害	181	1.5	2.1	0.5	1.5	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0	3.9	96.1	
発達障害	250	3.0	2.6	0.7	1.1	0.4	1.1	1.1	0.7	0.4	0.4	0.4	0.7	0.0	6.4	93.6	
精神障害	463	2.0	2.2	1.0	1.0	0.6	0.6	1.0	1.0	0.8	0.4	0.6	1.0	0.0	5.0	95.0	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	99.3	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

(3) 2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況

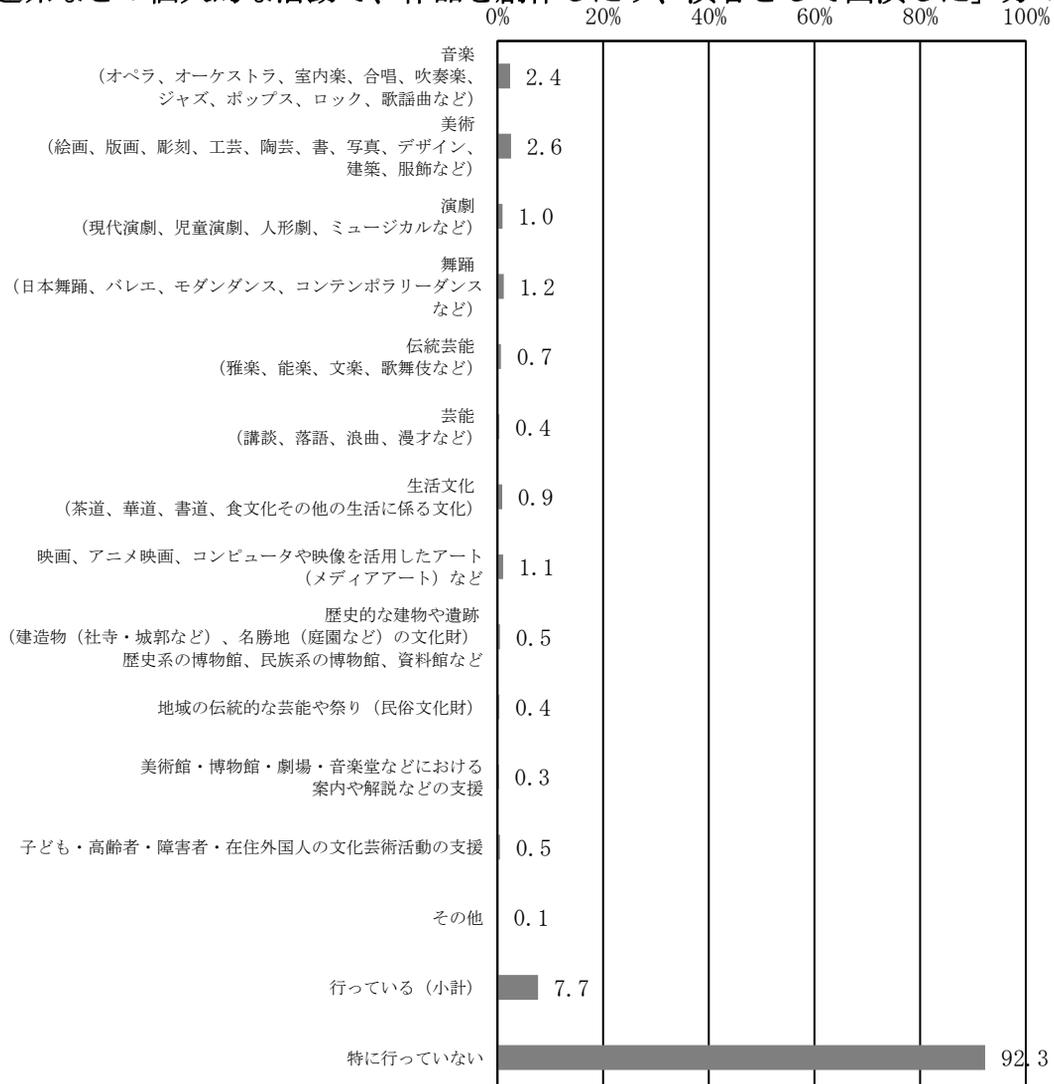
②「趣味などの個人的な活動で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合

2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動のうち、何らかの文化芸術分野で「趣味などの個人的な活動で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合は、7.7%となっている。分野別では、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」（2.6%）、「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」（2.4%）、「舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）」（1.2%）、「映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など」（1.1%）の割合が高く、2018年（コロナ前）と比較し若干の変化が見られるが、大きくは変化していない(図表3-19)。

障害の種類別では、「視覚障害」は「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」、「聴覚障害」は「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」の割合が高く、他の障害と比較すると「特に行っていない」の回答が多くなく、「趣味などの個人的な活動で、作品を創作したり、演者として出演した」活動の割合が高い(図表3-20)。

図表 3-19 2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況

②「趣味などの個人的な活動で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合



注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

図表 3-20 障害の種類、2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ②「趣味などの個人的な活動で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	47	51	19	23	14	8	18	22	10	8	6	9	2	154	1846	
	100	2.4	2.6	1.0	1.2	0.7	0.4	0.9	1.1	0.5	0.4	0.3	0.5	0.1	7.7	92.3	
肢体不自由（車椅子必要）	242	3.7	4.9	2.6	1.1	2.2	1.1	1.1	0.7	0.4	0.4	0.7	0.7	0.0	11.6	88.4	
肢体不自由（車椅子不要）	434	2.2	2.0	0.9	0.7	0.4	0.2	0.9	0.7	0.2	0.4	0.2	0.2	0.0	6.9	93.1	
視覚障害	131	4.3	3.1	2.5	3.1	1.2	1.9	3.7	3.1	1.9	1.2	1.2	2.5	0.0	13.7	86.3	
聴覚障害	195	4.1	4.6	2.3	3.2	1.8	0.9	0.9	2.7	1.4	0.9	0.9	0.9	0.0	15.4	84.6	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	3.8	3.8	2.8	0.9	0.9	0.9	0.9	3.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.0	9.8	90.2	
内部障害	185	2.0	1.0	0.5	2.0	2.0	0.5	0.5	1.5	0.5	1.0	0.5	1.0	0.0	7.0	93.0	
知的障害	181	1.5	2.6	0.5	1.5	0.5	0.5	1.5	1.5	0.5	0.5	0.5	1.0	0.0	5.5	94.5	
発達障害	250	4.0	2.5	1.1	1.5	0.7	0.7	2.2	1.1	1.1	0.7	0.4	0.4	0.0	8.0	92.0	
精神障害	463	1.9	2.3	0.6	0.6	0.4	0.2	0.6	1.4	0.6	0.4	0.4	0.4	0.2	6.3	93.7	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	99.3	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

(3) 2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況

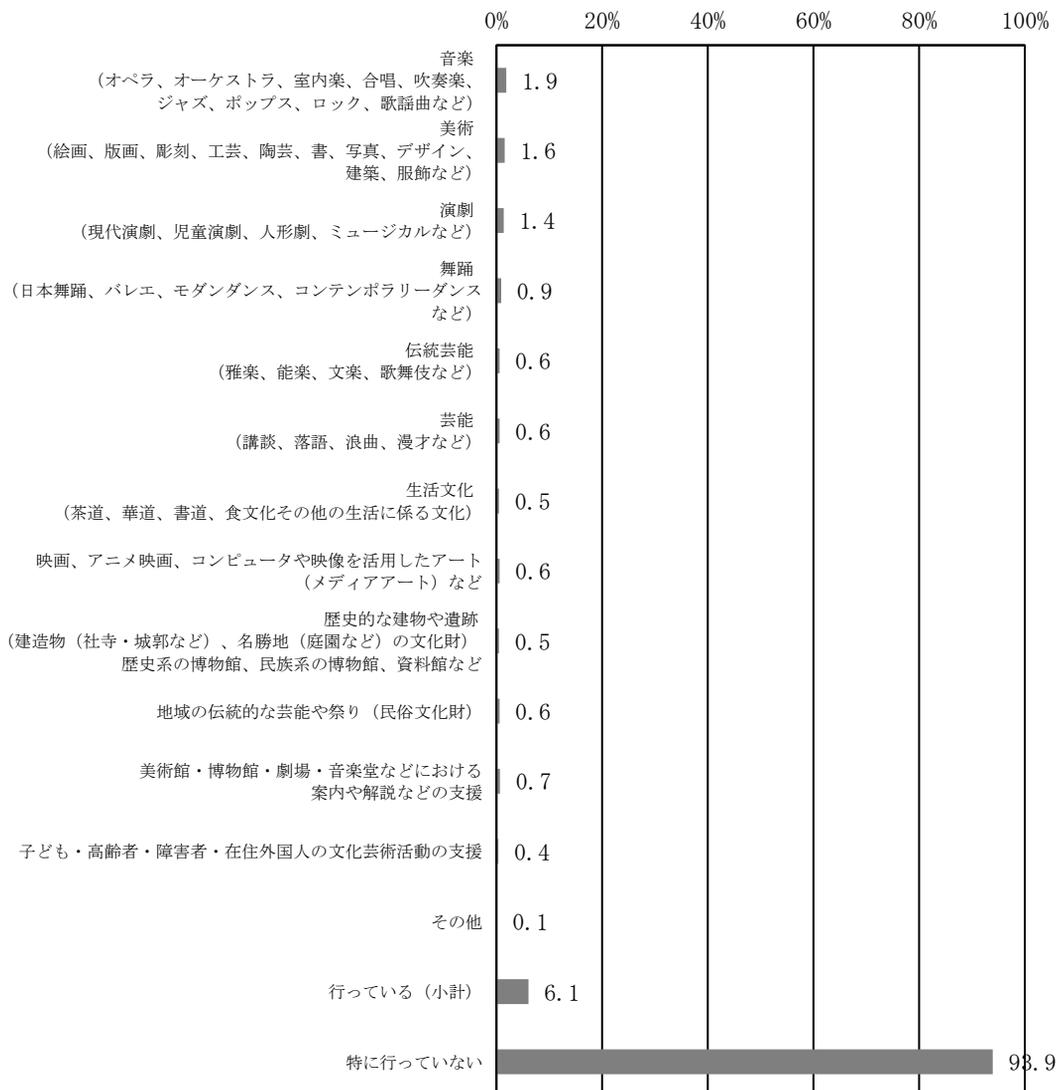
③「福祉事業所等で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合

2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動のうち、何らかの文化芸術分野で「福祉事業所等で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合は、6.1%となっている。分野別では、「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」（1.9%）、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」（1.6%）、「演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）」（1.4%）の割合が高く、2018年（コロナ前）と比較し大きな変化は見られない(図表3-21)。

障害の種類別では、「視覚障害」や「聴覚障害」は「演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）」の割合が高く、他の障害と比較すると「特に行っていない」の回答が多くなく、「福祉事業所等で、作品を創作したり、演者として出演した」活動の割合が高い(図表3-22)。

図表 3-21 2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況

③「福祉事業所等で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合



注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

図表 3-22 障害の種類、2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ③「福祉事業所等で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	38	32	27	18	12	11	10	12	9	11	14	8	1	122	1878	
	100	1.9	1.6	1.4	0.9	0.6	0.6	0.5	0.6	0.5	0.6	0.7	0.4	0.1	6.1	93.9	
肢体不自由（車椅子必要）	242	3.9	1.2	3.1	1.9	1.2	1.2	0.4	0.8	0.4	0.8	0.4	0.4	0.0	10.3	89.7	
肢体不自由（車椅子不要）	434	1.6	1.3	1.1	0.9	0.4	0.4	0.2	0.4	0.0	0.4	0.2	0.2	0.0	4.8	95.2	
視覚障害	131	3.1	1.9	3.1	2.5	3.1	1.9	1.9	2.5	1.9	1.9	1.9	1.9	0.0	12.2	87.8	
聴覚障害	195	3.6	2.3	4.1	3.2	1.4	0.9	1.4	1.4	1.4	0.9	1.8	0.5	0.0	12.8	87.2	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	1.9	2.9	2.9	2.9	1.0	1.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	7.6	92.4	
内部障害	185	2.0	1.5	0.5	0.5	1.5	0.5	1.0	1.0	1.0	0.5	1.0	0.5	0.0	4.9	95.1	
知的障害	181	1.0	4.2	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	0.0	5.5	94.5	
発達障害	250	2.2	2.2	1.5	0.4	1.1	1.1	1.1	0.7	0.4	0.4	0.7	0.7	0.0	6.4	93.6	
精神障害	463	1.4	2.4	0.4	0.6	0.2	0.2	0.8	0.4	0.8	1.0	1.2	0.6	0.2	4.8	95.2	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

(3) 2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況

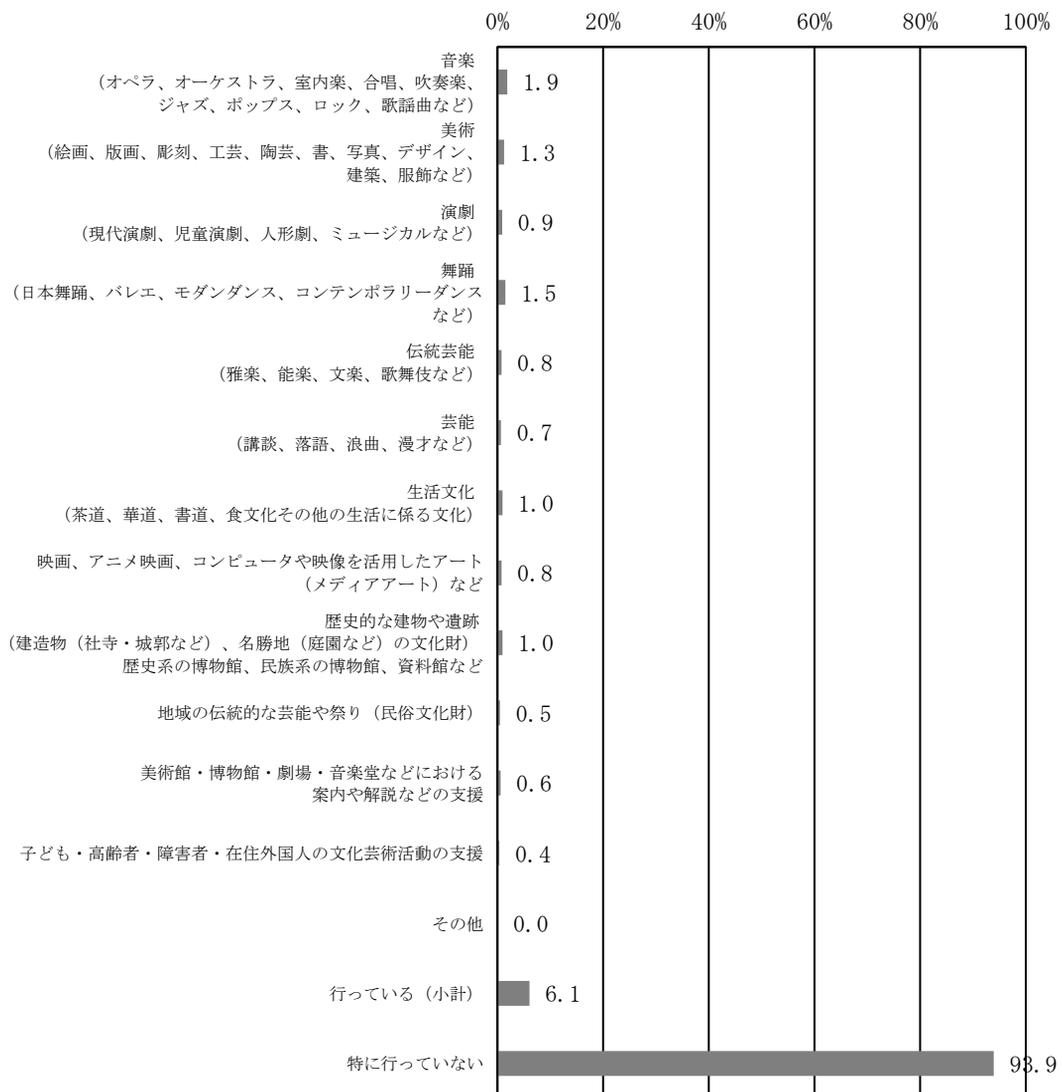
④「スタッフやボランティアとして参加した」方の割合

2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動のうち、何らかの文化芸術分野で「スタッフやボランティアとして参加した」方の割合は、6.1%となっている。分野別では、「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」（1.9%）、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」（1.3%）、「舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）」（1.5%）、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」（1.3%）の割合が高く、2018年（コロナ前）と比較し大きな変化は見られない(図表3-23)。

障害の種類別では、「視覚障害」は「映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など」の割合が高く、他の障害と比較すると「特に行っていない」の回答が多くなく、「スタッフやボランティアとして参加した」活動の割合が高い(図表3-24)。

図表 3-23 2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況

④「スタッフやボランティアとして参加した」方の割合



注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

図表 3-24 障害の種類、2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ④「スタッフやボランティアとして参加した」方の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
		全体	2000	38	25	17	30	16	13	19	15	20	9	12	7	0	122
	100	1.9	1.3	0.9	1.5	0.8	0.7	1.0	0.8	1.0	0.5	0.6	0.4	0.0	6.1	93.9	
肢体不自由（車椅子必要）	242	3.5	1.2	1.2	2.3	2.0	1.2	0.8	0.4	0.8	0.4	0.8	0.4	0.0	9.9	90.1	
肢体不自由（車椅子不要）	434	1.8	1.6	0.7	1.1	0.2	0.4	1.1	0.0	0.7	0.2	0.2	0.2	0.0	5.5	94.5	
視覚障害	131	3.5	2.9	1.8	3.5	2.9	1.8	2.9	4.1	3.5	2.3	1.8	2.9	0.0	13.7	86.3	
聴覚障害	195	3.1	2.2	2.7	4.4	1.8	0.9	2.2	1.3	2.2	0.9	2.2	0.9	0.0	12.8	87.2	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	1.9	1.0	1.0	1.9	1.9	1.9	1.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	6.5	93.5	
内部障害	185	1.5	2.0	1.0	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0	4.9	95.1	
知的障害	181	1.5	1.5	0.5	1.0	1.5	0.5	0.5	1.0	1.5	1.0	1.5	0.5	0.0	3.9	96.1	
発達障害	250	2.6	1.1	0.7	2.2	1.5	1.5	1.1	1.1	1.1	0.7	0.7	0.4	0.0	6.8	93.2	
精神障害	463	1.4	1.6	0.8	0.8	0.4	0.6	0.8	0.6	0.8	0.8	0.4	0.2	0.0	4.1	95.9	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	99.3	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

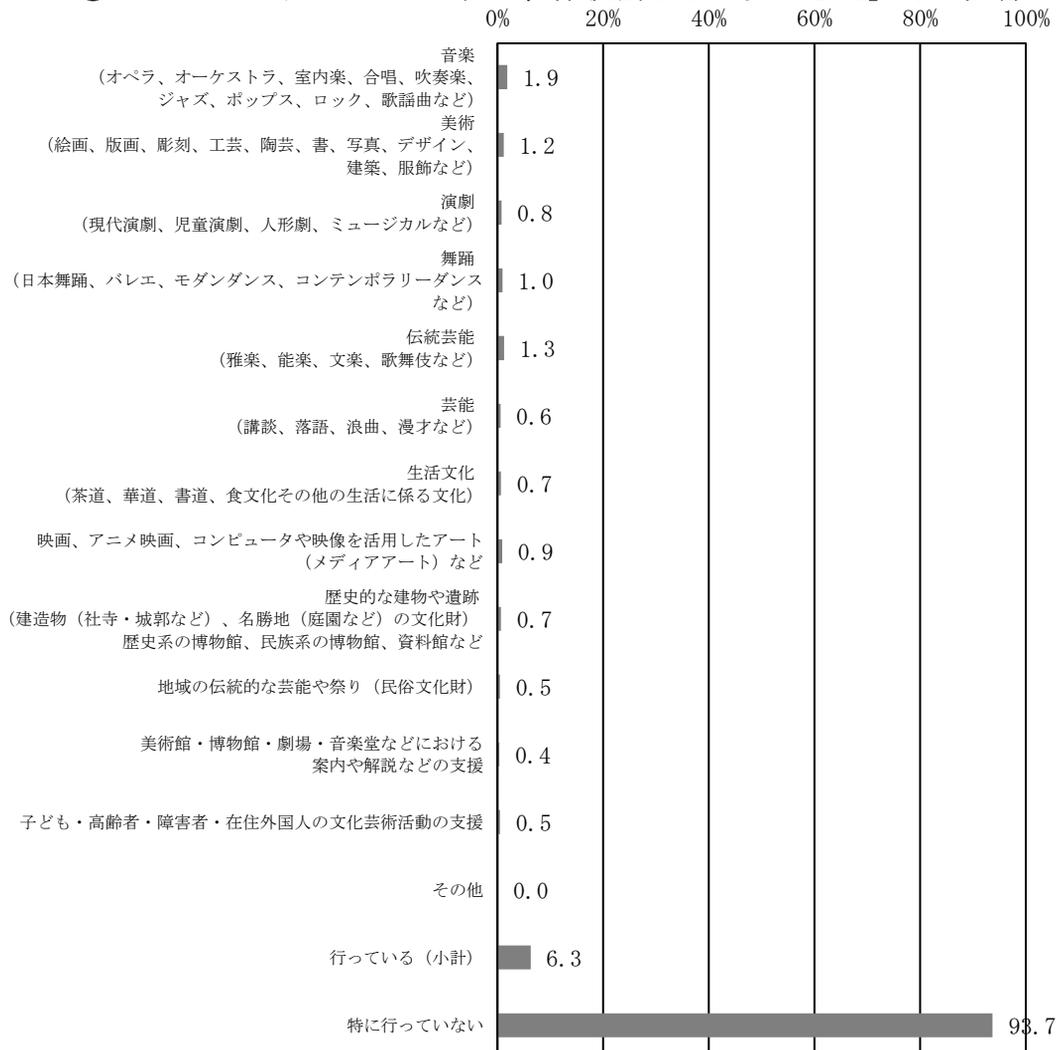
注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

(3) 2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況
 ⑤「イベントやワークショップ、体験会などに参加した」方の割合

2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動のうち、何らかの文化芸術分野で「イベントやワークショップ、体験会などに参加した」方の割合は、6.3%となっている。分野別では、「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」（1.9%）、「伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）」（1.3%）、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」（1.2%）、「舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）」（1.0%）の割合が高く、2018年（コロナ前）と比較し大きな変化は見られない（図表3-25）。

障害の種類別では、「肢体不自由（車椅子必要）」や「肢体不自由（車椅子不要）」、「視覚障害」、「内部障害」、「発達障害」、「精神障害」の6つの障害で「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」の割合が高いほか、「視覚障害」は他の障害と比較すると「特に行っていない」の回答が多くなく、「イベントやワークショップ、体験会などに参加した」活動の割合が高い（図表3-26）。

図表 3-25 2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況
 ⑤「イベントやワークショップ、体験会などに参加した」方の割合



注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない
 注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

図表 3-26 障害の種類、2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ⑤「イベントやワークショップ、体験会などに参加した」方の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	37	23	16	20	25	12	13	17	14	9	7	9	0	126	1874
	100	1.9	1.2	0.8	1.0	1.3	0.6	0.7	0.9	0.7	0.5	0.4	0.5	0.0	6.3	93.7
肢体不自由（車椅子必要）	242	3.9	1.5	1.5	1.2	2.3	1.2	1.2	1.2	0.8	0.8	0.8	0.4	0.0	10.7	89.3
肢体不自由（車椅子不要）	434	1.3	1.3	0.9	0.7	1.1	0.2	0.7	0.7	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	5.1	94.9
視覚障害	131	3.8	2.5	1.9	3.1	2.5	3.1	1.9	1.3	3.8	1.9	1.9	1.9	0.0	13.7	86.3
聴覚障害	195	2.7	1.4	1.8	2.7	3.2	1.4	1.4	2.7	1.4	1.4	0.9	1.4	0.0	12.3	87.7
音声・言語・そしゃく機能障害	92	1.9	1.0	1.0	1.0	2.9	2.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	6.5	93.5
内部障害	185	2.0	1.0	1.5	0.5	1.5	0.5	1.5	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	0.0	5.9	94.1
知的障害	181	1.0	2.5	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0	2.0	0.0	5.0	95.0
発達障害	250	2.6	1.5	1.1	1.1	1.1	1.1	1.5	0.7	0.4	0.4	0.4	0.7	0.0	6.4	93.6
精神障害	463	1.5	1.3	0.4	0.6	0.4	0.4	0.4	0.6	0.8	0.2	0.2	0.2	0.0	4.5	95.5
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	99.3

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

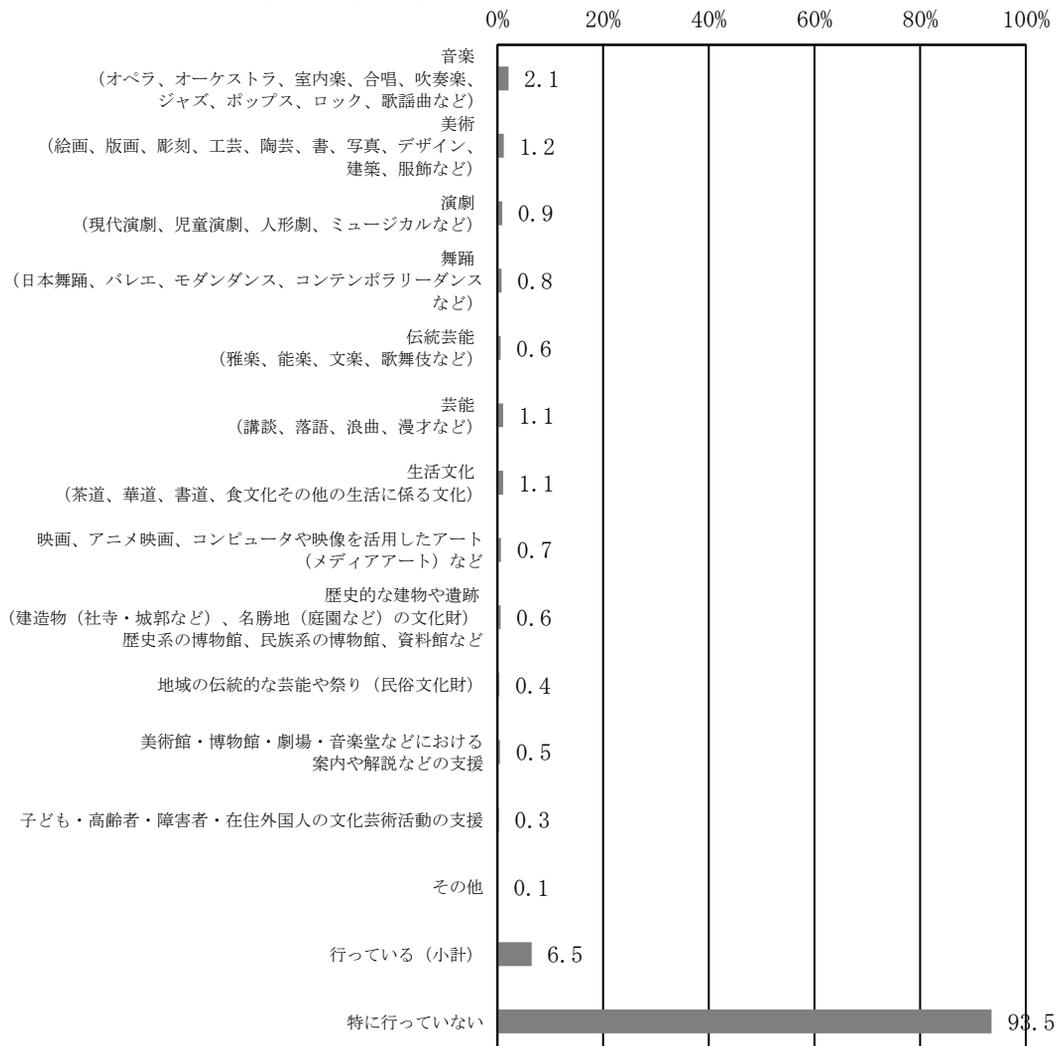
(3) 2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況

⑥「学校の授業や部活動など」の割合

2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動のうち、何らかの文化芸術分野で「学校の授業や部活動など」の割合は、6.5%となっている。分野別では、「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」（2.1%）、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」（1.2%）、「芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）」（1.1%）、「生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）」（1.1%）の割合が高く、2018年（コロナ前）と比較し大きな変化は見られない(図表3-27)。

障害の種類別では、「肢体不自由（車椅子必要）」や「肢体不自由（車椅子不要）」、「聴覚障害」、「内部障害」、「発達障害」、「精神障害」の6つの障害で「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」の割合が高いほか、「聴覚障害」は「芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）」や「生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）」の割合が高く、どのジャンルにも分布しており偏り少ない(図表3-28)。

図表 3-27 2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況
⑥「学校の授業や部活動など」の割合



注) 「特に行ってない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行ってない」以外は、複数回答可

図表 3-28 障害の種類、2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ⑥「学校の授業や部活動など」の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
		全体	2000	42	23	18	16	12	21	21	14	12	8	9	6	1	130
	100	2.1	1.2	0.9	0.8	0.6	1.1	1.1	0.7	0.6	0.4	0.5	0.3	0.1	6.5	93.5	
肢体不自由（車椅子必要）	242	3.5	1.6	1.6	0.8	1.2	2.0	1.2	0.8	0.8	0.4	0.4	0.8	0.0	10.3	89.7	
肢体不自由（車椅子不要）	434	1.8	1.1	0.9	0.5	0.5	0.7	1.1	0.2	0.5	0.0	0.2	0.0	0.0	5.3	94.7	
視覚障害	131	3.2	1.9	1.9	2.6	1.3	1.3	2.6	3.8	1.3	1.9	1.9	1.9	0.0	11.5	88.5	
聴覚障害	195	2.8	1.4	1.8	2.3	0.9	2.8	2.8	1.4	1.8	1.4	1.4	0.5	0.0	12.3	87.7	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	1.9	1.0	1.0	1.0	1.9	2.9	3.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	7.6	92.4	
内部障害	185	1.5	1.0	1.5	0.5	1.0	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	1.0	0.5	0.0	4.9	95.1	
知的障害	181	2.9	3.4	2.4	1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.5	0.0	8.8	91.2	
発達障害	250	4.1	3.3	1.8	1.5	0.4	1.8	1.5	1.1	0.4	0.4	0.4	0.7	0.4	10.8	89.2	
精神障害	463	1.8	1.2	0.2	0.6	0.8	0.8	0.8	0.4	0.8	0.6	0.4	0.2	0.0	4.1	95.9	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

(3) 2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況

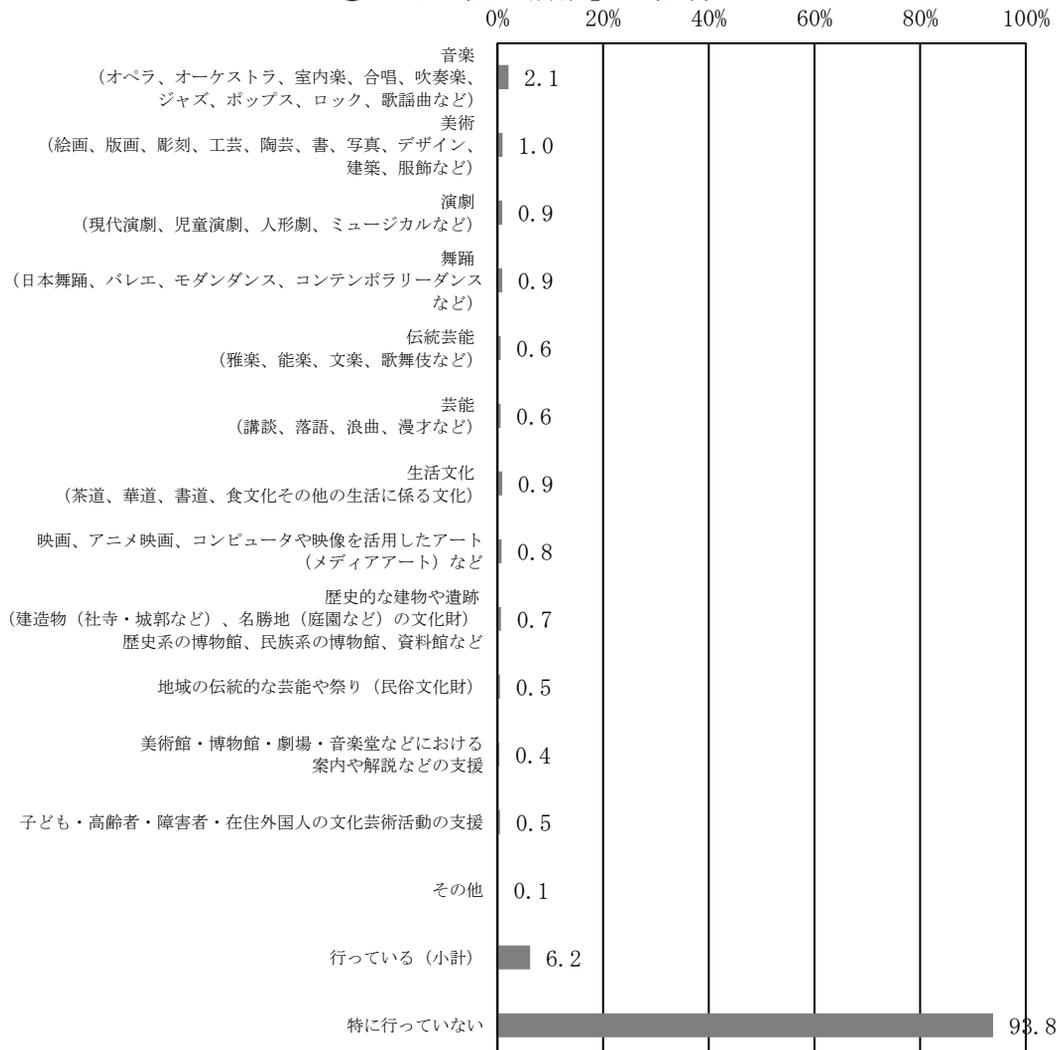
⑦「その他の活動」の割合

2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動のうち、何らかの文化芸術分野で「その他の活動」の割合は、6.2%となっている。分野別では、「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」（2.1%）、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）」（1.0%）の割合が高く、2018年（コロナ前）と比較し大きな変化は見られない(図表3-29)。

障害の種類別では、「肢体不自由（車椅子必要）」や「肢体不自由（車椅子不要）」、「聴覚障害」、「発達障害」、「精神障害」の5つの障害で「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」の割合が高いほか、「聴覚障害」は「演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）」の割合も同率で高い。

また「視覚障害」は「生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）」の割合が高く、他の障害と比較すると「特に行っていない」の回答が多くなく、「その他の活動」の割合が高い(図表3-30)。

図表 3-29 2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況
⑦「その他の活動」の割合



注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

図表 3-30 障害の種類、2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ⑦「その他の活動」の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	42	19	17	18	11	11	18	16	13	10	7	10	2	124	1876	
	100	2.1	1.0	0.9	0.9	0.6	0.6	0.9	0.8	0.7	0.5	0.4	0.5	0.1	6.2	93.8	
肢体不自由（車椅子必要）	242	3.3	0.4	1.2	1.2	0.4	0.0	0.8	0.8	0.4	1.2	0.0	0.0	0.0	9.1	90.9	
肢体不自由（車椅子不要）	434	2.4	1.7	0.9	1.3	0.7	0.9	0.7	1.3	0.7	0.4	0.7	0.4	0.0	6.7	93.3	
視覚障害	131	3.2	1.9	2.5	1.9	1.3	1.3	3.8	3.2	1.9	1.3	1.3	3.2	0.6	13.0	87.0	
聴覚障害	195	2.5	2.0	2.5	1.0	0.0	1.0	2.0	1.0	1.0	0.0	0.5	0.5	0.0	11.3	88.7	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	1.1	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	1.1	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	5.4	94.6	
内部障害	185	1.1	0.5	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	95.7	
知的障害	181	1.1	1.6	1.1	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.5	0.5	0.0	3.9	96.1	
発達障害	250	2.2	1.5	1.5	1.1	1.1	1.5	1.1	1.1	0.7	0.7	0.7	0.4	0.0	6.4	93.6	
精神障害	463	2.3	0.9	0.2	0.6	0.4	0.0	0.4	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	95.7	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	99.3	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

(4) 鑑賞以外の文化芸術活動を行った日数

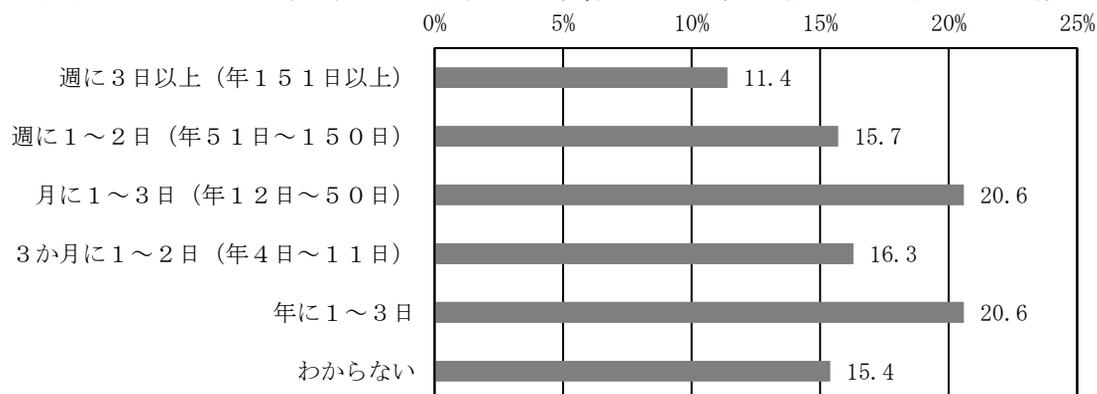
① 2018年（コロナ前）

2018年（コロナ前）に鑑賞以外の文化芸術活動を行ったと回答した人が、1年間に文化芸術を行った日数は「月に1～3日（年12日～50日）」（20.6%）や「年に1～3日」（20.6%）が最も多く、次いで「3か月に1～2日（年4日～11日）」（16.3%）、「週に1～2日（年51日～150日）」（15.7%）であった。2割程度は「週に1～2日」以上活動している（図表3-31）。

障害の種類別では、「肢体不自由（車椅子必要）」は「週に3日以上（年151日以上）」、「視覚障害」は「週に1～2日（年51日～150日）」の割合が高く、活動日数が多い。

一方、「知的障害」や「発達障害」、「精神障害」は「週に3日以上（年151日以上）」の割合が低く、比較的活動日数が少ない（図表3-32）。

図表 3-31 2018年（コロナ前）に鑑賞以外の文化芸術活動を行った日数



図表 3-32 障害の種類、2018年（コロナ前）に鑑賞以外の文化芸術活動を行った日数 (%)

障害の種類	n	（週に13日以上） （年51日以上）	（週に51日～150日） （年151日以上）	（月に11日～30日） （年11日～50日）	（3か月に4日～11日） （年4日～11日）	年に1～3日	わからない
全体	325	37	51	67	53	67	50
	100.0	11.4	15.7	20.6	16.3	20.6	15.4
肢体不自由（車椅子必要）	47	34.0	10.6	21.3	8.5	14.9	10.6
肢体不自由（車椅子不要）	63	12.7	12.7	17.5	17.5	25.4	14.3
視覚障害	29	20.7	24.1	17.2	10.3	17.2	10.3
聴覚障害	45	13.3	17.8	22.2	17.8	20.0	8.9
音声・言語・そしゃく機能障害	15	20.0	13.3	26.7	6.7	13.3	20.0
内部障害	20	20.0	15.0	5.0	15.0	30.0	15.0
知的障害	42	4.8	14.3	26.2	16.7	23.8	14.3
発達障害	54	7.4	18.5	16.7	18.5	27.8	11.1
精神障害	69	5.8	13.0	27.5	17.4	15.9	20.3
その他	11	0.0	9.1	18.2	18.2	27.3	27.3

注）2018年（コロナ前）に鑑賞以外の文化芸術活動を行った人（「特に行っていない」の回答者を除く）

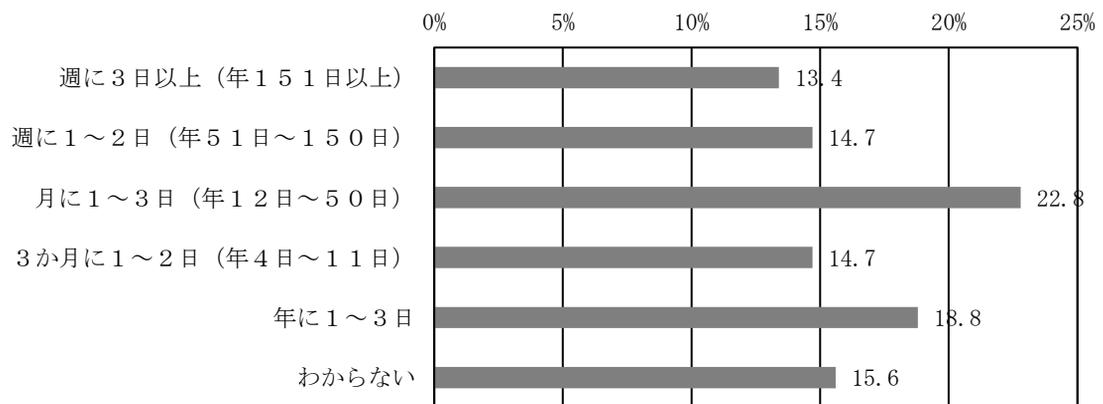
② 2020年（コロナ後）

2020年（コロナ後）に鑑賞以外の文化芸術活動を行ったと回答した人が、過去1年間に文化芸術を行った日数は「月に1～3日（年12日～50日）」（22.8%）が最も多く、次いで「年に1～3日」（18.8%）、「週に1～2日（年51日～150日）」（14.7%）、「3か月に1～2日（年4日～11日）」（14.7%）であった。2割程度は「週に1～2日」以上活動している（図表3-33）。

障害の種類別では、「肢体不自由（車椅子必要）」や「視覚障害」は「週に3日以上（年151日以上）」の割合が高く、活動日数が多い。

一方、「発達障害」、「精神障害」は「週に3日以上（年151日以上）」の割合が低く、比較的活動日数が少ない（図表3-34）。

図表 3-33 2020年（コロナ後）に鑑賞以外の文化芸術活動を行った日数



図表 3-34 障害の種類、2020年（コロナ後）に鑑賞以外の文化芸術活動を行った日数 (%)

障害の種類	n	(週に13日以上)	(週に51日～150日)	(月に11日～23日)	(3か月に4日～12日)	(年に13日)	わからない
全体	224	30	33	51	33	42	35
	100.0	13.4	14.7	22.8	14.7	18.8	15.6
肢体不自由（車椅子必要）	33	33.3	24.2	9.1	9.1	15.2	9.1
肢体不自由（車椅子不要）	44	15.9	9.1	22.7	13.6	20.5	18.2
視覚障害	25	24.0	12.0	12.0	20.0	16.0	16.0
聴覚障害	33	15.2	15.2	30.3	24.2	12.1	3.0
音声・言語・そしゃく機能障害	11	18.2	9.1	27.3	0.0	9.1	36.4
内部障害	16	12.5	25.0	6.3	25.0	18.8	12.5
知的障害	25	12.0	8.0	32.0	12.0	20.0	16.0
発達障害	38	5.3	10.5	34.2	5.3	28.9	15.8
精神障害	45	8.9	15.6	24.4	15.6	17.8	17.8
その他	3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3

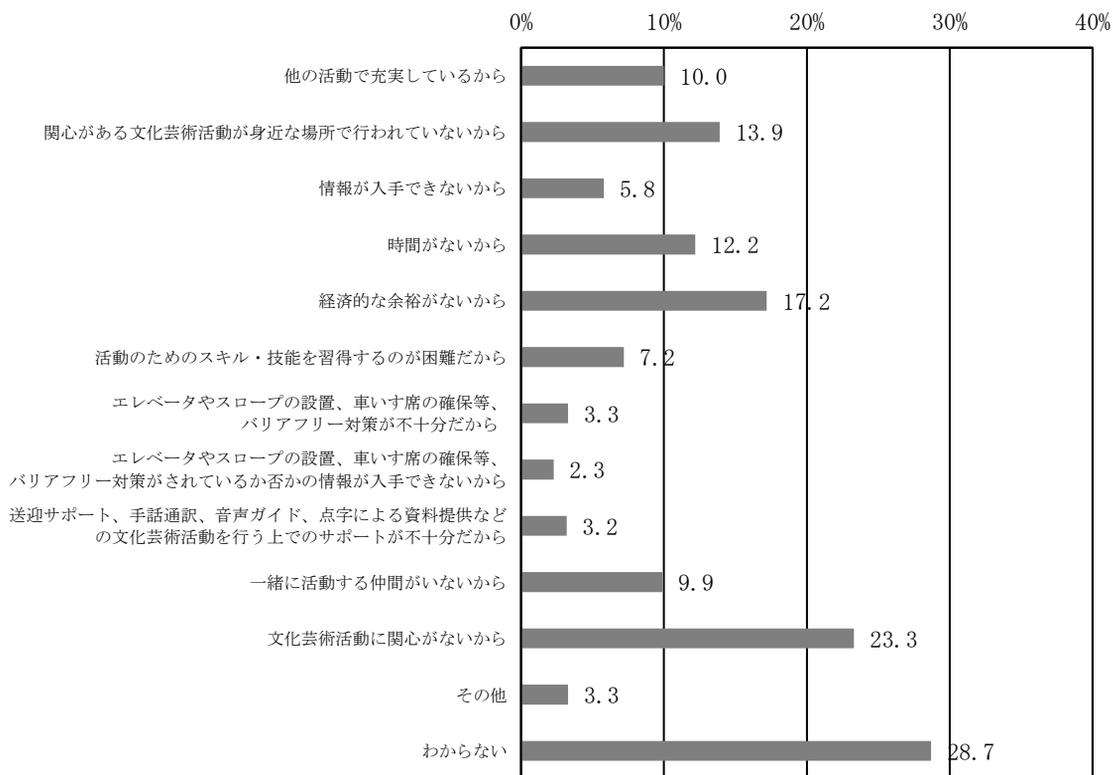
注) 2020年（コロナ後）に鑑賞以外の文化芸術活動を行った人（「特に行っていない」の回答者を除く）

(5) 2018年（コロナ前）に鑑賞以外の文化芸術活動を行わなかった理由

2018年（コロナ前）に鑑賞以外の文化芸術活動を行わなかった理由について、「わからない」を除き最も多いのが、「文化芸術活動に関心がないから」（23.3%）であった。それ以外の理由としては、「経済的な余裕がないから」（17.2%）、「関心がある文化芸術活動が身近な場所で行われていないから」（13.9%）、「時間がないから」（12.2%）、「他の活動で充実しているから」（10.0%）などである（図表3-35）。

障害の種類別では、「わからない」を除くその他で、「音声・言語・そしゃく機能障害」は「他の活動で充実しているから」の割合が高い。また、「肢体不自由（車椅子不要）」や「視覚障害」、「聴覚障害」、「内部障害」、「知的障害」、「発達障害」、「精神障害」の7つの障害で割合が高く、そのほか全ての障害で「文化芸術活動に関心がないから」を理由にあげる割合が高い（図表3-36）。

図表 3-35 2018年（コロナ前）に鑑賞以外の文化芸術活動を行わなかった理由



注) 2018年（コロナ前）に鑑賞以外の文化芸術活動を行わなかった人（「特に行っていない」の回答者）

図表 3-36 障害の種類、2018年（コロナ前）に鑑賞以外の文化芸術活動を行わなかった理由

(%)

障害の種類	n	他の活動で充実しているから	関心がある文化芸術活動が身近な場所で行われていないから	情報が入りできないから	時間がないから	経済的な余裕がないから	活動のためのスキル・技能を習得するのが困難だから	エレベーターやスロープの設置、車いす席の確保等、バリアフリー対策が不十分だから	エレベーターやスロープの設置、車いす席の確保等の情報が入手できないから	送迎サポート、手話通訳、音声ガイド、点字などの資料提供などが不十分だから	一緒に活動する仲間がないから	文化芸術活動に関心がないから	その他	わからない
全体	1675	168	233	97	205	288	121	56	39	53	166	390	55	480
	100.0	10.0	13.9	5.8	12.2	17.2	7.2	3.3	2.3	3.2	9.9	23.3	3.3	28.7
肢体不自由（車椅子必要）	195	4.4	11.9	4.4	7.5	9.4	6.9	8.8	6.6	5.3	5.7	10.7	2.5	25.6
肢体不自由（車椅子不要）	371	7.1	9.7	4.0	9.0	10.7	4.8	3.2	2.3	1.9	8.8	19.1	2.5	24.0
視覚障害	102	8.2	10.2	6.1	8.8	10.2	3.4	5.4	2.0	3.4	3.4	11.6	6.1	30.4
聴覚障害	150	7.0	7.0	6.0	8.5	10.9	4.5	2.5	1.5	4.5	6.5	18.9	1.5	28.0
音声・言語・そしゃく機能障害	77	8.8	7.8	1.0	6.9	5.9	8.8	6.9	2.9	3.9	4.9	12.7	1.0	37.7
内部障害	165	8.0	11.5	3.1	12.8	12.8	3.5	0.9	0.4	0.9	5.3	17.3	2.7	28.5
知的障害	139	4.6	8.2	3.6	7.2	9.3	7.2	0.5	0.0	3.1	6.2	21.1	3.6	35.3
発達障害	196	9.9	8.0	4.0	9.9	13.9	7.3	0.4	0.4	1.5	6.9	17.5	0.7	27.6
精神障害	394	6.9	8.5	4.1	7.4	17.8	5.8	0.2	0.5	1.2	9.0	14.3	2.7	31.0
その他	130	4.8	15.1	2.4	5.4	13.3	2.4	1.8	1.2	1.8	4.8	22.9	2.4	27.7

注) 2018年（コロナ前）に鑑賞以外の文化芸術活動を行わなかった人（「特に行っていない」の回答者）

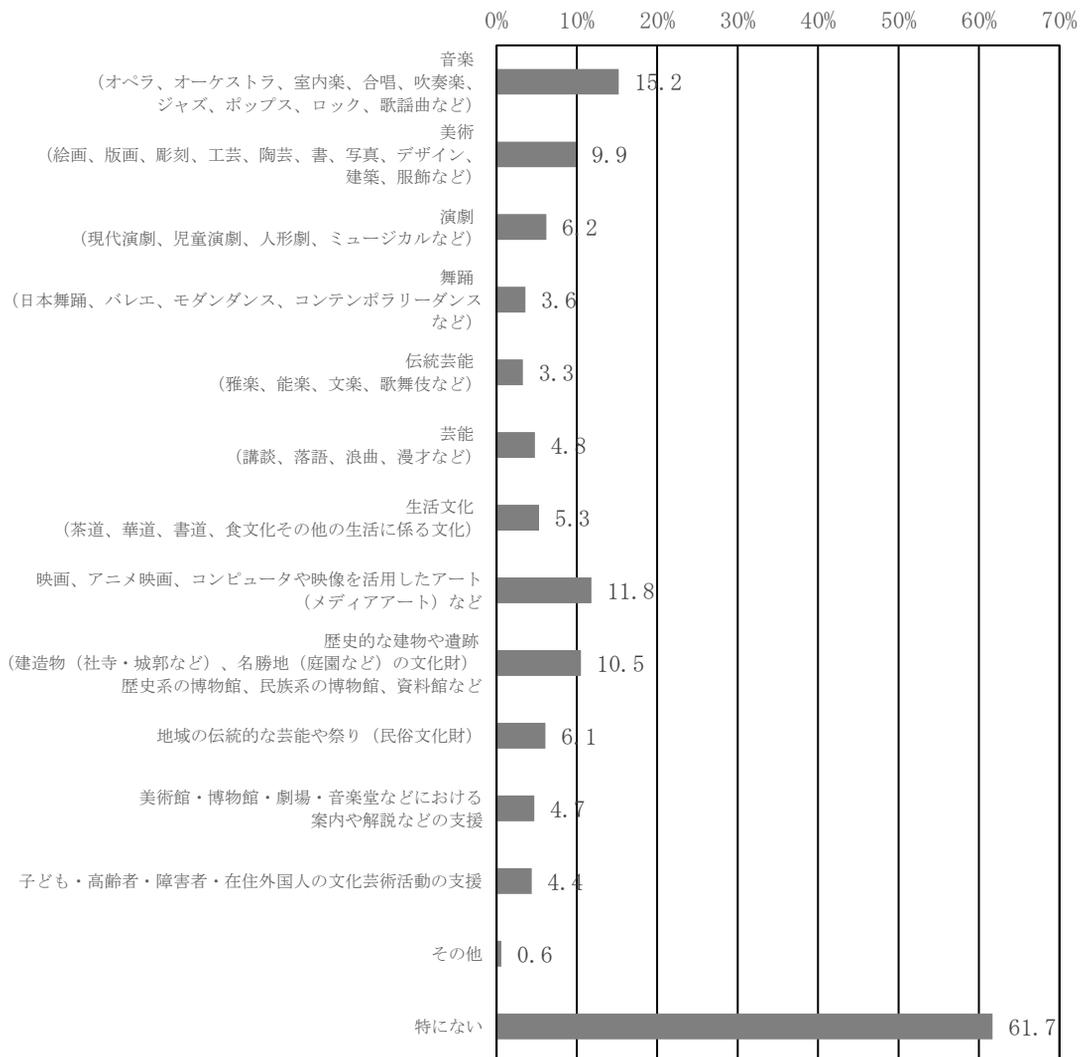
(6) 鑑賞以外の文化芸術活動への参加・興味の有無

鑑賞以外の文化芸術活動に今後、実践したり参加したいかについて、最も多い回答は「特にない」(61.7%)だが、それ以外では、「音楽(オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など)」(15.2%)、「映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート(メディアアート)など」(11.8%)、「歴史的な建物や遺跡(建造物(社寺・城郭など)、名勝地(庭園など)の文化財)、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など」(10.5%)、「美術(絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など)」(9.9%)の割合が高い(図表3-37)。

障害の種類別では、「特にない」を除くその他で、「発達障害」を除く8つの障害が「音楽(オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など)」の割合が高いが、「発達障害」は「映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート(メディアアート)など」の割合が上回っている。

また、「音声・言語・そしゃく機能障害」や「内部障害」は「歴史的な建物や遺跡(建造物(社寺・城郭など)、名勝地(庭園など)の文化財)、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など」への参加・興味の割合も高い(図表3-38)。

図表 3-37 鑑賞以外の文化芸術活動への参加・興味の有無



注) 「特にない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特にない」以外は、複数回答可

図表 3-38 障害の種類、鑑賞以外の文化芸術活動への参加・興味の有無

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	歴史的名建物や遺跡（建造物（社寺、城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	特にない
全体	2000	304	197	124	71	66	96	106	235	209	121	94	88	11	1233
	100	15.2	9.9	6.2	3.6	3.3	4.8	5.3	11.8	10.5	6.1	4.7	4.4	0.6	61.7
肢体不自由（車椅子必要）	242	12.2	8.7	4.9	3.8	3.0	4.3	4.3	5.2	6.0	4.9	3.5	2.4	0.0	55.8
肢体不自由（車椅子不要）	434	10.8	5.2	3.2	1.5	1.9	2.0	3.5	7.3	6.7	3.7	3.2	2.9	0.5	65.0
視覚障害	131	11.9	4.3	7.6	3.3	2.9	4.3	4.8	7.6	5.7	3.3	4.3	5.2	1.4	53.4
聴覚障害	195	8.6	7.3	5.1	3.8	4.8	3.5	4.4	7.9	7.6	4.1	3.8	2.9	0.3	57.9
音声・言語・そしゃく機能障害	92	10.1	6.3	4.4	4.4	3.8	5.1	3.2	5.1	7.0	5.1	4.4	3.2	0.0	65.2
内部障害	185	10.4	5.2	3.8	3.5	2.1	3.1	3.5	7.6	7.6	5.9	2.4	2.1	0.3	66.5
知的障害	181	13.8	7.6	6.5	3.6	1.8	3.3	1.8	9.1	3.6	4.0	2.9	4.3	0.4	56.9
発達障害	250	9.4	7.4	5.3	4.0	2.1	3.8	4.9	11.3	7.7	5.1	4.0	4.0	0.2	57.6
精神障害	463	10.7	8.3	4.1	2.6	2.3	3.5	3.5	8.7	7.7	3.4	3.4	3.0	0.4	61.6
その他	141	6.8	4.5	3.4	0.6	1.7	4.0	2.8	5.6	7.9	1.7	2.8	1.7	0.6	70.2

注) 「特にない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特にない」以外は、複数回答可

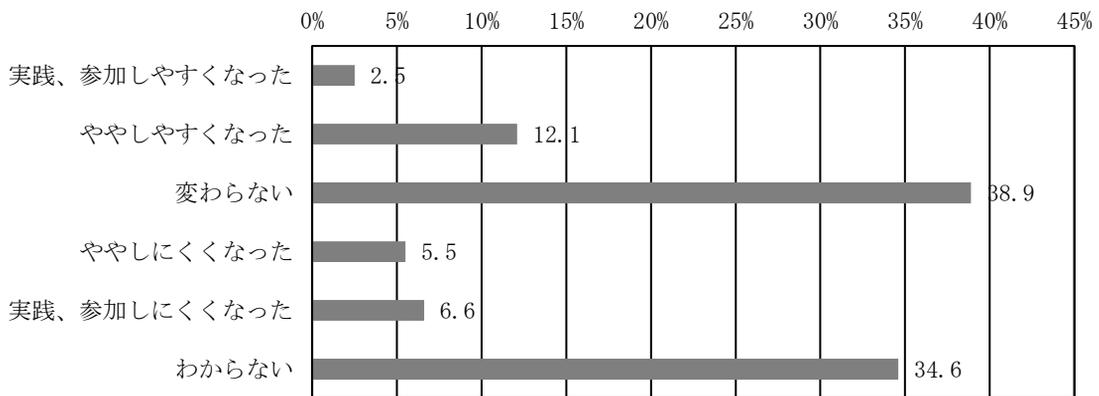
(7) 5年前（2017年頃）と比較した、鑑賞を除く文化芸術活動に係る環境の変化

5年前（2017年頃）と比較して、鑑賞を除く文化芸術活動に参加しやすい環境が整ってきたと感じるかについて、「変わらない」（38.9%）の回答が最も多く、次いで、「わからない」（34.6%）、「ややしやすくなった」（12.1%）、「実践、参加しにくくなった」（6.6%）、「ややしにくくなった」（5.5%）、「実践、参加しやすくなった」（2.5%）となっている（図表 3-39）。

障害の種類別では、「わからない」を除くその他で、「肢体不自由（車椅子必要）」や「肢体不自由（車椅子不要）」、「聴覚障害」、「内部障害」、「知的障害」、「発達障害」、「精神障害」は「変わらない」の割合が高いが、次いで「ややしやすくなった」の回答が多い。

一方で、「視覚障害」や「音声・言語・そしゃく機能障害」は「変わらない」の割合が高いが、次いで「実践、参加しにくくなった」の回答が多かった。（図表3-40）。

図表 3-39 5年前（2017年頃）と比較した、鑑賞を除く文化芸術活動に係る環境の変化



図表 3-40 障害の種類、5年前（2017年頃）と比較した、鑑賞を除く文化芸術活動に係る環境の変化 (%)

障害の種類	n	実践、参加しやすくなった	ややしやすくなった	変わらない	ややしにくくなった	実践、参加しにくくなった	わからない
全体	2000	49	241	777	110	131	692
	100	2.5	12.1	38.9	5.5	6.6	34.6
肢体不自由（車椅子必要）	242	5.4	12.4	38.0	5.0	7.4	31.8
肢体不自由（車椅子不要）	434	2.3	15.9	41.0	3.9	5.5	31.3
視覚障害	131	3.8	11.5	29.8	9.2	12.2	33.6
聴覚障害	195	2.6	12.8	41.0	11.3	6.2	26.2
音声・言語・そしゃく機能障害	92	7.6	8.7	30.4	3.3	10.9	39.1
内部障害	185	2.7	12.4	37.3	4.3	4.9	38.4
知的障害	181	1.1	10.5	47.5	3.9	7.7	29.3
発達障害	250	2.0	10.4	42.0	5.6	6.8	33.2
精神障害	463	3.0	11.4	34.8	4.8	6.5	39.5
その他	141	0.7	10.6	33.3	3.5	5.7	46.1

主 要 統 計 表

第1表 障害の種類、本人及び同居する家族における障害児・者の有無

(%)

障害の種類	n	あなたご自身	配偶者	父親	母親	兄弟	姉妹	お子様 (第1子)	お子様 (第2子以降)	当てはまるものはない
全体	2000	953	491	243	364	103	55	299	200	0
	100	47.7	24.6	12.2	18.2	5.2	2.8	15.0	10.0	0.0
肢体不自由（車椅子必要）	242	24.7	15.6	16.9	22.5	3.8	2.8	7.8	5.9	0.0
肢体不自由（車椅子不要）	434	37.5	20.7	9.8	17.1	2.9	2.0	5.9	4.1	0.0
視覚障害	131	31.3	20.1	10.1	19.0	4.5	3.4	6.7	5.0	0.0
聴覚障害	195	28.8	21.8	14.0	20.0	1.4	2.1	7.4	4.6	0.0
音声・言語・そしゃく機能障害	92	25.4	19.8	14.3	19.0	4.8	1.6	9.5	5.6	0.0
内部障害	185	44.4	17.8	10.0	12.4	3.7	0.8	6.6	4.1	0.0
知的障害	181	12.1	10.0	3.8	8.4	10.5	2.9	29.7	22.6	0.0
発達障害	250	25.7	14.3	4.0	6.9	4.2	1.3	26.3	17.2	0.0
精神障害	463	50.6	14.4	5.5	7.9	5.9	2.2	9.3	4.2	0.0
その他	141	36.1	20.0	10.0	20.0	0.0	1.1	6.1	6.7	0.0

第2表 障害の種類、障害児・者の性別

(%)

障害の種類	n	男性	女性	答えたくない
全体	2000	1108	775	117
	100	55.4	38.8	5.9
肢体不自由（車椅子必要）	242	40.8	42.6	16.5
肢体不自由（車椅子不要）	434	56.0	39.9	4.1
視覚障害	131	55.7	34.4	9.9
聴覚障害	195	47.7	42.1	10.3
音声・言語・そしゃく機能障害	92	53.3	32.6	14.1
内部障害	185	37.1	35.2	27.7
知的障害	181	53.3	37.1	9.6
発達障害	250	48.7	33.0	18.3
精神障害	463	36.0	36.6	27.4
その他	141	35.4	41.6	23.0

第3表 障害の種類、障害児・者の年齢

(%)

障害の種類	n	0	1	2	3	4	5	6	7	平均値(歳)
		～9歳	0～9歳							
全体	2000	59	112	144	191	257	361	301	575	54.5
	100	3.0	5.6	7.2	9.6	12.9	18.1	15.1	28.8	
肢体不自由(車椅子必要)	242	0.4	3.7	3.7	8.3	7.0	12.4	14.5	50.0	65.6
肢体不自由(車椅子不要)	434	0.7	0.9	2.3	3.7	8.8	19.1	21.7	42.9	64.5
視覚障害	131	1.5	4.6	4.6	9.9	8.4	25.2	16.0	29.8	56.9
聴覚障害	195	2.1	2.1	4.1	6.2	9.7	17.9	14.9	43.1	62.9
音声・言語・そしゃく機能障害	92	5.4	3.3	8.7	7.6	5.4	16.3	15.2	38.0	58.4
内部障害	185	1.1	2.2	3.2	3.2	9.7	23.2	20.0	37.3	61.5
知的障害	181	6.6	20.4	24.3	17.7	11.0	4.4	5.0	10.5	34.7
発達障害	250	14.4	20.4	20.8	17.2	11.6	8.4	4.0	3.2	29.2
精神障害	463	0.9	2.6	8.0	14.9	27.0	27.2	12.1	7.3	47.7
その他	141	0.7	2.1	1.4	7.1	6.4	8.5	23.4	50.4	66.2

第4表 障害の種類、障害児・者の障害福祉サービス利用の状況

(%)

障害の種類	n	短期中所	日中活動などのサービス：療養介護、生活介護	施設・居住などのサービス：施設入所支援、共同生活援助	B型、就労定着支援	訓練・就労などのサービス：自立訓練(機能訓練)、自立訓練(生活訓練)、宿泊型自立訓練、就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型	社宅訪問型児童発達支援、医療型障害児入所施設	障害児の通所・入所などのサービス：児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、居宅訪問型児童発達支援、保育所等訪問支援、福祉型障害児入所施設	相談支援、地域相談支援(地域定着支援)、計画相談支援、障害児相談支援	相談支援などのサービス：地域相談支援(地域移行支援)、地域相談支援(地域定着支援)、計画相談支援	その他	障害者福祉サービスを利用している(小計)	障害福祉サービスは利用していない
		全体	2000	303	152	218	124	215	46	828	1172		
	100	15.2	7.6	10.9	6.2	10.8	2.3	41.4	58.6				
肢体不自由(車椅子必要)	242	37.1	16.4	11.6	7.9	12.2	1.2	81.4	18.6				
肢体不自由(車椅子不要)	434	15.1	5.8	6.0	1.5	7.7	1.9	32.9	67.1				
視覚障害	131	14.4	10.6	13.8	3.8	13.1	0.6	46.6	53.4				
聴覚障害	195	14.6	8.8	6.2	6.2	8.4	1.8	37.4	62.6				
音声・言語・そしゃく機能障害	92	27.3	9.4	7.0	7.8	18.8	1.6	60.9	39.1				
内部障害	185	18.5	23.5	36.1	14.3	7.6	0.0	100.0	0.0				
知的障害	181	12.8	11.6	18.2	20.7	16.9	2.1	76.2	23.8				
発達障害	250	7.0	3.7	14.3	15.3	15.6	1.0	48.0	52.0				
精神障害	463	7.8	4.3	13.8	3.3	10.3	2.7	35.9	64.1				
その他	141	14.9	4.7	3.4	0.7	6.1	6.8	33.3	66.7				

注) 複数種の選択を含む

第5表 障害の種類、2018年（コロナ前）に文化芸術を直接鑑賞した割合とそのジャンル

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	その他	鑑賞したことがある（小計）	鑑賞したものはない
全体	2000	372	336	131	51	71	88	85	431	350	144	10	852	1148
	100	18.6	16.8	6.6	2.6	3.6	4.4	4.3	21.6	17.5	7.2	0.5	42.6	57.4
肢体不自由（車椅子必要）	242	14.8	11.2	3.6	1.8	2.6	3.6	2.8	10.2	10.7	3.8	0.5	44.2	55.8
肢体不自由（車椅子不要）	434	10.7	10.9	4.7	1.1	3.1	3.0	2.6	13.7	11.9	4.9	0.3	44.2	55.8
視覚障害	131	13.2	11.4	3.5	4.8	4.4	5.3	3.5	8.3	9.2	4.8	0.9	46.6	53.4
聴覚障害	195	8.7	10.9	6.1	2.9	1.9	3.2	5.1	10.6	10.6	4.8	0.0	44.1	55.9
音声・言語・そしゃく機能障害	92	13.5	9.9	5.8	2.3	3.5	4.7	3.5	11.7	10.5	4.7	0.0	44.6	55.4
内部障害	185	12.9	11.1	3.9	2.4	3.6	3.6	1.8	13.2	11.1	5.1	0.3	44.3	55.7
知的障害	181	9.5	10.5	3.6	1.8	2.2	1.8	1.5	14.5	10.2	4.0	0.0	38.7	61.3
発達障害	250	11.8	9.8	4.0	2.0	2.2	2.4	4.0	16.9	11.1	6.2	0.0	47.2	52.8
精神障害	463	11.2	10.1	4.5	1.9	1.9	2.0	2.4	14.2	9.6	4.5	0.3	40.4	59.6
その他	141	10.6	9.6	2.4	1.0	1.4	1.9	2.4	10.1	12.0	3.8	1.4	36.2	63.8

注) 「鑑賞したものはない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「鑑賞したものはない」以外は、複数回答可

第6表 障害の種類、2020年（コロナ後）に文化芸術を直接鑑賞した割合とそのジャンル（%）

障害の種類	n	音楽（オペラ、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺、城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	その他	鑑賞したことがある（小計）	鑑賞したものはない
全体	2000	139	152	42	27	21	26	39	247	132	31	6	529	1471
	100	7.0	7.6	2.1	1.4	1.1	1.3	2.0	12.4	6.6	1.6	0.3	26.4	73.6
肢体不自由（車椅子必要）	242	7.8	6.8	2.4	2.0	1.0	1.4	2.0	7.1	5.4	2.4	0.3	25.2	74.8
肢体不自由（車椅子不要）	434	4.6	7.5	1.2	1.2	1.2	0.6	1.0	8.9	6.3	0.6	0.4	24.0	76.0
視覚障害	131	8.5	8.0	4.5	2.3	2.3	4.0	3.4	8.0	3.4	3.4	1.1	31.3	68.7
聴覚障害	195	5.3	8.6	4.9	2.5	1.2	1.6	4.5	7.8	6.6	2.9	0.0	32.3	67.7
音声・言語・そしゃく機能障害	92	6.5	5.6	4.0	0.8	2.4	3.2	2.4	8.1	4.8	4.0	0.0	21.7	78.3
内部障害	185	6.6	7.5	2.2	1.8	1.3	0.4	0.9	8.0	4.9	3.1	0.4	23.2	76.8
知的障害	181	4.8	4.8	1.4	1.4	1.0	1.9	0.5	8.1	5.7	1.9	0.0	21.0	79.0
発達障害	250	6.0	6.9	2.7	1.8	1.8	2.7	3.0	16.3	6.6	2.1	0.0	34.0	66.0
精神障害	463	5.5	6.8	2.0	1.1	1.2	1.6	1.8	14.1	6.4	1.4	0.2	29.8	70.2
その他	141	4.7	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	8.1	4.7	0.0	0.7	18.4	81.6

注) 「鑑賞したものはない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「鑑賞したものはない」以外は、複数回答可

第7表 障害の種類、2018年（コロナ前）に文化芸術を直接鑑賞した日数

(%)

障害の種類	n	週に3日以上 (年151日以上)	週に1～2日 (年51日～150日)	月に1～3日 (年12日～50日)	3か月に1～2日 (年4日～11日)	年に1～3日	わからない
全体	852	45	53	123	194	346	91
	100.0	5.3	6.2	14.4	22.8	40.6	10.7
肢体不自由（車椅子必要）	257	14.0	6.5	15.9	15.9	32.7	15.0
肢体不自由（車椅子不要）	489	5.2	3.6	18.2	23.4	41.1	8.3
視覚障害	158	9.8	18.0	14.8	14.8	29.5	13.1
聴覚障害	202	9.2	10.3	14.9	20.7	35.6	9.2
音声・言語・そしゃく機能障害	120	7.3	9.8	24.4	14.6	29.3	14.6
内部障害	230	6.8	6.8	14.8	25.0	37.5	9.1
知的障害	164	4.3	7.1	11.4	20.0	48.6	8.6
発達障害	317	4.2	6.8	11.0	23.7	45.8	8.5
精神障害	463	4.3	5.3	15.0	23.0	41.2	11.2
その他	118	0.0	0.0	5.9	29.4	54.9	9.8

注) 2018年（コロナ前）に文化芸術を直接鑑賞した人（「鑑賞したものはなし」の回答者を除く）

第8表 障害の種類、2020年（コロナ後）に文化芸術を直接鑑賞した日数

(%)

障害の種類	n	週に3日以上 (年151日以上)	週に1～2日 (年51日～150日)	月に1～3日 (年12日～50日)	3か月に1～2日 (年4日～11日)	年に1～3日	わからない
全体	529	35	42	64	83	237	68
	100.0	6.6	7.9	12.1	15.7	44.8	12.9
肢体不自由（車椅子必要）	114	19.7	13.1	13.1	6.6	31.1	16.4
肢体不自由（車椅子不要）	166	4.8	7.7	9.6	21.2	49.0	7.7
視覚障害	86	12.2	14.6	12.2	14.6	29.3	17.1
聴覚障害	112	9.5	12.7	11.1	19.0	36.5	11.1
音声・言語・そしゃく機能障害	52	15.0	15.0	25.0	5.0	25.0	15.0
内部障害	84	11.6	2.3	7.0	18.6	44.2	16.3
知的障害	66	7.9	2.6	18.4	7.9	50.0	13.2
発達障害	166	5.9	4.7	15.3	11.8	49.4	12.9
精神障害	236	5.1	5.8	13.0	15.2	47.8	13.0
その他	33	0.0	0.0	3.8	11.5	73.1	11.5

注) 2020年（コロナ後）に文化芸術を直接鑑賞した人（「鑑賞したものはなし」の回答者を除く）

第9表 障害の種類、2018年（コロナ前）に文化芸術を鑑賞しなかった理由

(%)

障害の種類	n	理由															特に理由はない		
		近くで公演や展覧会などをやっていないから	入場料・交通費など費用がかかり過ぎるから	公演や展覧会などが人気で、チケットの入手が困難だから	文化芸術を鑑賞する時間がなかなかとれないから	夜間に公演や展覧会などが行われないから	魅力ある公演や展覧会などが少ないから	公演や展覧会などの情報が入手できないから	一緒に行く仲間がいないから	テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネットなどにより鑑賞できる（鑑賞した）から	周りに迷惑がかかるから	送迎サポートがないから	エレベーターやスロープの設置、車いす席の確保等、バリアフリー対策が不十分だから	字幕表示等の鑑賞サポートが不十分だから	文化芸術に関心がないから	新型コロナウイルス感染症の影響により、公演や展覧会などが中止になった、又は外出を控えたから		その他	
全体	1148	124	90	12	23	8	68	13	36	54	68	43	26	26	2	145	0	25	697
	100.0	10.8	7.8	1.0	2.0	0.7	5.9	1.1	3.1	4.7	5.9	3.7	2.3	2.3	0.2	12.6	0.0	2.2	60.7
肢体不自由（車椅子必要）	135	9.3	2.1	0.5	2.1	0.0	3.1	1.5	2.6	3.6	6.7	7.7	7.2	6.7	0.5	6.2	0.0	2.1	54.8
肢体不自由（車椅子不要）	242	11.0	5.2	0.0	1.3	0.3	2.6	0.3	2.6	4.5	6.1	3.5	3.2	2.9	0.0	10.3	0.0	2.3	56.2
視覚障害	70	7.1	2.4	0.0	1.2	0.0	3.6	0.0	4.8	3.6	2.4	3.6	1.2	0.0	0.0	8.3	0.0	4.8	68.6
聴覚障害	109	6.8	4.5	0.8	1.5	0.8	6.0	0.0	0.8	6.8	3.8	1.5	1.5	0.8	0.0	12.0	0.0	0.8	63.3
音声・言語・そしゃく機能障害	51	8.7	4.3	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	8.7	7.2	4.3	1.4	0.0	5.8	0.0	2.9	72.5
内部障害	103	8.5	5.4	0.0	3.1	0.0	6.2	1.5	2.3	3.1	1.5	2.3	1.5	0.8	0.0	13.8	0.0	1.5	61.2
知的障害	111	9.1	5.6	0.0	2.1	0.0	4.9	0.7	2.8	2.8	11.2	2.8	0.7	0.0	0.0	9.8	0.0	1.4	59.5
発達障害	132	7.5	9.8	0.6	1.2	0.0	5.8	1.2	1.7	1.7	7.5	2.9	0.6	0.0	0.0	15.0	0.0	0.6	57.6
精神障害	276	8.1	11.2	2.3	2.9	1.8	6.3	1.8	3.7	4.2	2.3	1.8	0.5	0.5	0.3	9.7	0.0	1.6	56.9
その他	90	7.5	3.8	0.9	0.0	0.0	8.5	0.0	0.9	3.8	2.8	0.9	0.0	1.9	0.0	10.4	0.0	4.7	63.3

注）2018年（コロナ前）に文化芸術を直接鑑賞しなかった人（「鑑賞したものはない」の回答者）

第10表 障害の種類、2020年（コロナ後）に文化芸術を鑑賞しなかった理由

(%)

障害の種類	n	理由															特に理由はない		
		近くで公演や展覧会などをやっていないから	入場料・交通費など費用がかかり過ぎるから	公演や展覧会などが人気で、チケットの入手が困難だから	文化芸術を鑑賞する時間がなかなかとれないから	夜間に公演や展覧会などが行われないから	魅力ある公演や展覧会などが少ないから	公演や展覧会などの情報が入手できないから	一緒に行く仲間がいないから	テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネットなどにより鑑賞できる（鑑賞した）から	周りに迷惑がかかるから	送迎サポートがないから	エレベーターやスロープの設置、車いす席の確保等、バリアフリー対策が不十分だから	字幕表示等の鑑賞サポートが不十分だから	文化芸術に関心がないから	新型コロナウイルス感染症の影響により、公演や展覧会などが中止になった、又は外出を控えたから		その他	
全体	1471	175	115	24	39	13	92	20	58	78	102	59	32	30	2	144	307	32	711
	100.0	11.9	7.8	1.6	2.7	0.9	6.3	1.4	3.9	5.3	6.9	4.0	2.2	2.0	0.1	9.8	20.9	2.2	48.3
肢体不自由（車椅子必要）	181	7.5	2.5	1.4	2.5	0.0	1.1	1.4	2.1	3.9	7.8	6.8	6.4	4.6	0.4	3.9	17.4	1.8	44.2
肢体不自由（車椅子不要）	330	11.4	5.1	0.7	0.7	0.2	2.2	0.4	2.9	4.0	5.6	3.6	2.5	2.7	0.0	6.9	16.1	2.0	44.5
視覚障害	90	8.6	4.3	2.2	2.9	0.7	4.3	0.0	5.8	5.0	3.6	5.0	2.2	0.7	0.0	5.8	10.8	3.6	53.3
聴覚障害	132	6.4	4.1	1.2	1.2	0.6	5.8	0.0	1.2	4.7	4.7	1.8	0.6	0.6	0.0	8.8	14.6	0.6	56.1
音声・言語・そしゃく機能障害	72	11.1	4.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	1.0	8.1	7.1	3.0	0.0	0.0	4.0	18.2	3.0	51.4
内部障害	142	8.8	5.7	0.5	2.1	0.0	4.6	1.0	3.1	4.1	3.6	2.1	1.5	0.5	0.0	9.8	21.1	0.5	42.3
知的障害	143	8.5	3.5	0.5	3.0	0.5	6.0	0.5	4.0	3.5	8.5	3.5	1.0	0.5	0.0	7.0	13.6	1.0	48.3
発達障害	165	8.5	9.7	0.4	2.0	0.8	7.7	1.2	1.6	3.6	6.0	2.4	0.4	0.0	0.0	11.3	13.7	0.8	44.8
精神障害	325	7.3	9.3	2.1	3.3	1.7	6.0	1.7	3.9	3.9	3.1	2.1	0.4	0.4	0.2	7.3	12.7	2.3	48.0
その他	115	7.2	3.3	1.3	1.3	0.7	6.5	2.0	2.0	3.9	3.9	1.3	0.7	1.3	0.0	7.2	15.7	3.9	50.4

注）2020年（コロナ後）に文化芸術を直接鑑賞しなかった人（「鑑賞したものはない」の回答者）

第 11 表 障害の種類、直接鑑賞したい文化芸術

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	その他	鑑賞したいものはない
全体	2000	554	428	275	118	169	237	132	578	496	214	10	817
	100	27.7	21.4	13.8	5.9	8.5	11.9	6.6	28.9	24.8	10.7	0.5	40.9
肢体不自由（車椅子必要）	242	16.0	11.9	6.7	3.5	5.2	7.3	2.6	10.8	12.3	4.5	0.2	36.4
肢体不自由（車椅子不要）	434	13.5	12.1	6.9	2.6	4.3	6.0	3.1	13.5	13.3	6.2	0.3	38.0
視覚障害	131	13.9	10.1	8.2	5.6	6.7	6.0	5.2	10.1	7.5	5.2	0.7	42.0
聴覚障害	195	10.6	11.9	7.3	3.9	6.2	4.9	4.2	11.7	11.7	6.0	0.5	41.5
音声・言語・そしゃく機能障害	92	14.0	8.6	5.9	3.2	6.5	8.6	3.8	9.7	12.9	3.2	0.0	47.8
内部障害	185	15.1	9.9	5.7	3.0	5.5	6.7	3.2	13.9	13.6	6.0	0.2	37.3
知的障害	181	14.7	6.7	7.0	1.7	2.7	3.3	3.7	18.3	9.7	4.7	0.0	45.9
発達障害	250	13.8	9.6	7.1	3.4	3.5	5.0	4.2	18.8	12.4	5.7	0.0	37.6
精神障害	463	14.2	10.3	7.4	3.5	3.8	6.0	3.6	15.3	11.4	4.6	0.2	43.0
その他	141	13.7	9.9	5.3	1.1	3.4	5.7	3.1	12.2	14.9	6.1	1.1	43.3

注) 複数種の選択を含む

注) 「鑑賞したいものはない」は、他の項目と重複して回答しない

第 12 表 障害の種類、5年前（2017年頃）と比較した、直接鑑賞に係る環境の変化

(%)

障害の種類	n	直接鑑賞しやすくなった	ややしやすくなった	変わらない	ややしにくくなった	直接鑑賞しにくくなった	わからない
全体	2000	78	234	779	98	168	643
	100	3.9	11.7	39.0	4.9	8.4	32.2
肢体不自由（車椅子必要）	242	6.6	18.6	33.5	6.6	9.1	25.6
肢体不自由（車椅子不要）	434	4.4	13.8	40.3	3.2	8.1	30.2
視覚障害	131	4.6	9.2	36.6	6.1	16.8	26.7
聴覚障害	195	7.1	11.0	51.9	10.4	12.3	7.1
音声・言語・そしゃく機能障害	92	7.6	14.1	28.3	4.3	9.8	35.9
内部障害	185	5.1	5.1	41.7	4.0	6.9	37.1
知的障害	181	3.3	9.9	46.4	3.9	6.6	29.8
発達障害	250	2.8	8.4	43.2	5.6	10.8	29.2
精神障害	463	3.9	11.2	35.9	4.5	9.1	35.4
その他	141	0.7	7.8	33.3	5.0	6.4	46.8

第13表 障害の種類、2018年（コロナ前）に文化芸術を直接鑑賞以外の方法で鑑賞した割合とそのジャンル

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	その他	鑑賞したものはない
全体	2000	529	174	94	51	67	144	62	512	189	85	8	1056
	100	26.5	8.7	4.7	2.6	3.4	7.2	3.1	25.6	9.5	4.3	0.4	52.8
肢体不自由（車椅子必要）	242	20.4	6.9	3.3	2.5	1.9	5.5	2.2	12.9	6.6	4.7	0.3	49.2
肢体不自由（車椅子不要）	434	16.7	6.0	3.7	1.2	2.5	5.6	2.5	17.7	7.2	3.2	0.1	53.0
視覚障害	131	15.0	6.0	5.0	2.5	6.0	5.5	4.5	10.5	4.5	3.5	0.5	55.7
聴覚障害	195	13.7	7.4	4.7	3.3	4.3	5.4	3.7	13.0	6.7	2.3	1.0	52.8
音声・言語・そしゃく機能障害	92	17.2	5.1	5.7	3.2	3.2	5.1	3.2	14.6	7.0	3.8	0.6	53.3
内部障害	185	17.7	6.4	3.5	2.9	2.9	4.8	2.3	18.0	8.0	3.9	0.0	49.7
知的障害	181	17.5	5.0	2.5	1.3	0.8	2.9	1.7	16.3	4.6	2.5	0.0	59.7
発達障害	250	18.3	5.2	3.6	1.5	1.8	4.6	2.6	21.6	5.7	2.6	0.0	50.4
精神障害	463	19.7	5.4	2.6	2.6	1.9	4.1	2.0	17.2	5.7	2.9	0.3	53.8
その他	141	15.8	4.6	2.0	0.0	1.0	4.6	1.0	16.3	9.2	3.1	1.5	56.7

注) 「鑑賞したものはない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「鑑賞したものはない」以外は、複数回答可

第14表 障害の種類、2020年（コロナ後）に文化芸術を直接鑑賞以外の方法で鑑賞した割合とそのジャンル

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	その他	鑑賞したものはない
全体	2000	498	137	84	45	57	128	54	486	169	63	9	1089
	100	24.9	6.9	4.2	2.3	2.9	6.4	2.7	24.3	8.5	3.2	0.5	54.5
肢体不自由（車椅子必要）	242	19.9	6.2	3.2	2.1	2.9	5.6	1.8	11.7	5.3	2.9	0.3	53.7
肢体不自由（車椅子不要）	434	15.9	4.9	3.3	1.1	2.2	5.7	2.0	17.6	7.2	2.4	0.3	54.8
視覚障害	131	14.8	6.3	4.2	2.1	5.3	3.7	4.2	10.6	6.3	3.2	0.5	55.7
聴覚障害	195	14.3	5.5	3.7	3.7	3.3	4.8	4.0	12.9	5.9	2.2	1.1	53.8
音声・言語・そしゃく機能障害	92	18.5	5.9	5.2	0.7	3.0	3.7	1.5	14.8	4.4	2.2	0.7	57.6
内部障害	185	17.7	6.1	3.1	3.1	2.7	4.8	1.7	17.1	7.5	3.4	0.0	51.9
知的障害	181	15.4	3.5	2.6	1.3	0.9	2.6	0.9	16.7	4.0	2.2	0.0	62.4
発達障害	250	18.3	4.8	3.7	1.9	1.9	3.2	3.2	23.1	6.1	1.6	0.0	48.8
精神障害	463	20.7	4.4	2.8	2.1	2.1	4.3	1.8	17.5	5.6	2.2	0.3	53.6
その他	141	14.5	3.8	1.6	0.0	1.1	4.3	1.1	16.1	9.1	2.7	1.6	58.2

注) 「鑑賞したものはない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「鑑賞したものはない」以外は、複数回答可

第15表 障害の種類、2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ①「仕事として報酬を得る、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合 (%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭系など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	67	42	26	24	13	16	24	20	19	12	10	19	2	142	1858	
	100	3.4	2.1	1.3	1.2	0.7	0.8	1.2	1.0	1.0	0.6	0.5	1.0	0.1	7.1	92.9	
肢体不自由（車椅子必要）	242	6.2	3.4	2.1	1.4	1.4	1.4	2.1	1.4	1.7	1.4	1.4	1.7	0.0	10.7	89.3	
肢体不自由（車椅子不要）	434	2.7	1.1	0.7	0.9	0.4	0.7	0.9	0.4	0.2	0.2	0.0	0.7	0.2	6.7	93.3	
視覚障害	131	4.9	3.7	2.5	2.5	1.9	2.5	3.1	1.2	1.9	1.2	1.2	3.1	0.6	13.7	86.3	
聴覚障害	195	6.3	5.4	2.7	1.8	0.9	0.4	1.3	1.3	2.2	1.3	0.4	0.9	0.0	14.4	85.6	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	4.2	4.2	2.5	2.5	0.8	1.7	2.5	3.4	1.7	1.7	1.7	1.7	0.0	7.6	92.4	
内部障害	185	2.0	1.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	0.0	5.9	94.1	
知的障害	181	2.0	1.5	0.5	1.0	1.0	1.5	2.0	1.5	1.0	0.5	0.5	1.5	0.0	5.5	94.5	
発達障害	250	3.2	2.5	1.1	1.4	1.1	1.4	1.8	2.1	0.4	0.4	0.7	1.1	0.0	7.2	92.8	
精神障害	463	2.5	1.7	1.5	1.5	1.1	0.9	1.1	1.3	1.3	1.1	1.1	1.3	0.2	5.4	94.6	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	98.6	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

第16表 障害の種類、2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ②「趣味などの個人的な活動で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	67	65	21	25	16	14	24	31	19	11	11	10	2	187	1813	
	100	3.4	3.3	1.1	1.3	0.8	0.7	1.2	1.6	1.0	0.6	0.6	0.5	0.1	9.3	90.7	
肢体不自由（車椅子必要）	242	4.3	6.5	2.2	1.8	1.4	1.4	1.4	2.2	1.4	1.1	0.7	0.7	0.0	14.9	85.1	
肢体不自由（車椅子不要）	434	3.1	2.0	0.7	0.4	0.7	0.2	0.9	0.9	0.4	0.0	0.2	0.4	0.0	7.1	92.9	
視覚障害	131	5.5	3.0	3.0	2.4	1.8	2.4	3.7	3.7	3.0	1.8	1.8	1.8	0.0	17.6	82.4	
聴覚障害	195	4.3	7.4	2.6	2.2	1.7	0.9	2.6	2.6	2.6	0.9	1.3	1.3	0.0	17.4	82.6	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	1.8	6.4	1.8	1.8	0.9	1.8	1.8	3.7	0.9	0.9	1.8	0.9	0.0	10.9	89.1	
内部障害	185	2.0	2.0	1.0	1.5	3.0	0.5	0.5	2.0	0.5	1.0	0.5	1.0	0.0	7.6	92.4	
知的障害	181	3.0	2.0	0.5	2.5	0.5	1.0	1.5	1.5	1.5	2.0	0.5	1.0	0.0	9.4	90.6	
発達障害	250	3.9	3.2	1.1	2.1	1.4	1.1	1.8	2.1	1.1	0.4	1.1	0.7	0.0	9.2	90.8	
精神障害	463	3.2	2.8	0.8	0.8	0.6	0.8	1.2	1.6	0.6	0.4	0.6	0.2	0.2	7.6	92.4	
その他	141	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	2.8	97.2	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

第17表 障害の種類、2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ③「福祉事業所等で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合（%）

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	46	39	28	24	14	13	12	10	13	13	8	17	1	140	1860	
	100	2.3	2.0	1.4	1.2	0.7	0.7	0.6	0.5	0.7	0.7	0.4	0.9	0.1	7.0	93.0	
肢体不自由（車椅子必要）	242	3.9	2.3	3.9	1.5	1.2	1.5	0.8	0.4	1.2	0.4	0.8	0.4	0.0	12.4	87.6	
肢体不自由（車椅子不要）	434	2.0	1.8	0.9	0.7	0.2	0.7	0.0	0.4	0.2	0.2	0.0	0.9	0.0	5.5	94.5	
視覚障害	131	4.3	4.3	2.5	1.9	1.2	2.5	3.1	1.2	1.9	1.9	1.9	3.1	0.0	13.0	87.0	
聴覚障害	195	3.6	3.1	3.6	3.1	1.8	0.4	1.3	1.3	1.8	1.8	0.4	2.7	0.0	13.3	86.7	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	1.0	4.9	3.9	1.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	9.8	90.2	
内部障害	185	1.5	1.0	1.0	1.5	2.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	0.0	5.9	94.1	
知的障害	181	2.5	4.0	1.5	2.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	2.0	0.0	8.8	91.2	
発達障害	250	2.9	1.8	1.4	1.4	1.1	0.7	1.8	1.1	0.4	1.4	0.7	1.1	0.4	7.6	92.4	
精神障害	463	1.8	2.0	0.6	1.0	0.6	0.6	0.8	0.8	0.8	0.6	0.6	0.4	0.0	4.8	95.2	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	99.3	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

第18表 障害の種類、2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ④「スタッフやボランティアとして参加した」方の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
		全体	2000	53	34	27	31	16	16	25	15	15	17	18	21	0	150
	100	2.7	1.7	1.4	1.6	0.8	0.8	1.3	0.8	0.8	0.9	0.9	1.1	0.0	7.5	92.5	
肢体不自由（車椅子必要）	242	3.1	1.5	1.9	4.2	0.8	0.8	1.1	1.1	0.4	0.8	1.5	0.8	0.0	11.2	88.8	
肢体不自由（車椅子不要）	434	3.3	2.2	0.9	0.7	0.7	0.0	1.3	0.0	0.4	0.9	0.7	0.9	0.0	7.8	92.2	
視覚障害	131	4.1	2.9	4.1	2.3	2.9	2.9	3.5	1.8	1.8	2.9	1.8	2.9	0.0	13.7	86.3	
聴覚障害	195	5.2	2.8	3.6	4.0	1.2	2.8	1.6	2.4	2.4	2.4	2.4	2.0	0.0	14.4	85.6	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	1.0	3.9	1.9	2.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.9	1.9	1.0	0.0	9.8	90.2	
内部障害	185	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.5	2.5	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5	0.0	4.9	95.1	
知的障害	181	2.1	1.5	0.5	1.0	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	0.5	1.0	1.5	0.0	5.0	95.0	
発達障害	250	3.0	1.5	0.7	2.2	1.1	0.4	1.5	1.5	0.4	0.7	0.7	1.1	0.0	8.8	91.2	
精神障害	463	1.8	1.6	1.0	1.0	0.8	0.8	1.0	0.8	1.0	0.6	0.6	1.0	0.0	5.2	94.8	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	99.3	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

第19表 障害の種類、2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ⑤「イベントやワークショップ、体験会などに参加した」方の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	49	40	17	22	21	9	24	17	16	14	11	17	0	158	1842
	100	2.5	2.0	0.9	1.1	1.1	0.5	1.2	0.9	0.8	0.7	0.6	0.9	0.0	7.9	92.1
肢体不自由（車椅子必要）	242	3.8	2.3	1.5	1.5	3.1	0.4	1.5	0.8	1.2	1.9	0.4	0.4	0.0	12.8	87.2
肢体不自由（車椅子不要）	434	2.0	1.1	0.9	0.9	0.7	0.2	0.2	0.7	0.4	0.2	0.4	0.4	0.0	5.8	94.2
視覚障害	131	3.8	5.7	1.9	1.9	1.9	1.9	2.5	3.1	1.3	1.3	1.9	3.1	0.0	15.3	84.7
聴覚障害	195	3.0	3.0	2.2	2.2	3.0	1.3	3.0	0.4	2.6	2.6	2.2	2.6	0.0	14.9	85.1
音声・言語・そしゃく機能障害	92	1.0	4.9	1.9	1.0	2.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	8.7	91.3
内部障害	185	1.5	0.5	1.5	1.5	0.5	0.5	1.5	1.5	0.5	1.0	0.5	0.5	0.0	5.9	94.1
知的障害	181	2.8	2.8	1.4	2.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.9	1.4	1.4	3.2	0.0	7.7	92.3
発達障害	250	2.5	2.2	1.1	2.2	1.4	1.1	2.2	2.2	0.7	0.7	0.7	0.4	0.0	8.0	92.0
精神障害	463	2.5	2.3	0.4	0.6	0.4	0.4	1.0	1.0	0.8	0.2	0.2	0.2	0.0	6.7	93.3
その他	141	1.4	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	96.5

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

第20表 障害の種類、2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ⑥「学校の授業や部活動など」の有無

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺、城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	64	40	31	21	20	14	16	20	23	12	17	17	0	161	1839
	100	3.2	2.0	1.6	1.1	1.0	0.7	0.8	1.0	1.2	0.6	0.9	0.9	0.0	8.0	92.0
肢体不自由（車椅子必要）	242	3.0	1.1	2.3	1.1	0.8	2.7	1.1	1.5	1.1	0.8	1.5	0.8	0.0	10.7	89.3
肢体不自由（車椅子不要）	434	3.1	1.1	1.5	1.5	0.7	0.2	0.2	0.2	0.9	0.2	0.2	0.4	0.0	6.5	93.5
視覚障害	131	3.7	3.1	3.1	1.2	2.5	1.8	2.5	3.1	2.5	1.8	2.5	2.5	0.0	13.0	87.0
聴覚障害	195	3.7	1.8	2.3	2.3	1.8	1.4	1.4	1.4	1.8	0.9	1.8	2.3	0.0	13.8	86.2
音声・言語・そしゃく機能障害	92	1.8	2.8	1.8	0.9	0.9	2.8	2.8	1.8	1.8	1.8	1.8	0.9	0.0	7.6	92.4
内部障害	185	2.5	1.0	0.5	1.5	1.5	0.5	0.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	0.0	5.9	94.1
知的障害	181	5.1	5.1	4.3	1.3	2.6	1.7	1.7	2.6	2.6	2.1	2.1	2.1	0.0	13.3	86.7
発達障害	250	5.1	5.1	3.1	2.0	2.0	1.0	1.7	1.7	2.0	1.0	1.0	0.3	0.0	13.6	86.4
精神障害	463	2.6	2.2	0.8	0.4	0.8	0.4	0.8	0.6	1.2	0.6	0.6	0.4	0.0	5.4	94.6
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	1.4	98.6

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

第21表 障害の種類、2018年（コロナ前）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ⑦「その他の活動」の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
		全体	2000	48	31	21	19	13	8	18	17	18	13	7	20	4	142
	100	2.4	1.6	1.1	1.0	0.7	0.4	0.9	0.9	0.9	0.7	0.4	1.0	0.2	7.1	92.9	
肢体不自由（車椅子必要）	242	2.9	1.2	0.8	0.8	0.0	0.0	2.1	0.4	0.4	0.0	0.0	1.2	0.0	9.5	90.5	
肢体不自由（車椅子不要）	434	3.0	1.7	1.3	1.5	1.1	0.6	0.6	1.3	0.6	0.9	0.9	0.9	0.2	7.6	92.4	
視覚障害	131	2.5	1.9	3.2	3.2	1.3	1.3	3.2	1.9	2.5	1.3	1.3	2.5	0.6	11.5	88.5	
聴覚障害	195	3.9	1.5	1.9	1.5	0.5	1.0	1.0	1.0	2.4	1.0	0.5	1.5	0.5	13.3	86.7	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	5.4	94.6	
内部障害	185	0.5	1.6	0.0	1.1	0.5	0.0	0.0	0.0	1.1	1.1	0.0	0.5	0.0	5.4	94.6	
知的障害	181	1.6	2.1	1.6	1.1	0.0	0.5	0.0	0.5	0.5	0.5	0.0	1.6	0.0	6.1	93.9	
発達障害	250	3.0	3.3	1.1	1.5	1.1	0.4	1.5	1.1	0.4	0.7	0.4	0.4	0.0	8.0	92.0	
精神障害	463	2.7	1.4	1.0	0.6	0.4	0.0	0.8	0.8	0.8	0.6	0.0	0.4	0.0	5.4	94.6	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	97.9	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

第22表 障害の種類、2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ①「仕事として報酬を得る、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
		全体	2000	55	35	18	23	10	13	12	15	11	8	8	14	1	129
	100	2.8	1.8	0.9	1.2	0.5	0.7	0.6	0.8	0.6	0.4	0.4	0.7	0.1	6.4	93.6	
肢体不自由（車椅子必要）	242	5.7	1.8	2.1	2.5	1.1	1.4	1.1	1.4	1.4	1.4	1.8	1.8	0.0	10.3	89.7	
肢体不自由（車椅子不要）	434	2.2	1.1	0.7	1.3	0.4	0.4	0.7	0.2	0.0	0.4	0.0	0.4	0.2	6.0	94.0	
視覚障害	131	3.8	4.4	1.9	2.5	1.9	2.5	1.9	2.5	1.9	1.3	1.3	2.5	0.6	13.0	87.0	
聴覚障害	195	4.2	4.6	1.9	2.3	0.9	0.9	0.9	1.4	1.9	0.9	0.9	1.4	0.0	13.8	86.2	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	3.8	4.7	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	2.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.0	7.6	92.4	
内部障害	185	2.5	0.5	1.5	1.0	2.0	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	0.5	1.0	0.0	5.9	94.1	
知的障害	181	1.5	2.1	0.5	1.5	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0	3.9	96.1	
発達障害	250	3.0	2.6	0.7	1.1	0.4	1.1	1.1	0.7	0.4	0.4	0.4	0.7	0.0	6.4	93.6	
精神障害	463	2.0	2.2	1.0	1.0	0.6	0.6	1.0	1.0	0.8	0.4	0.6	1.0	0.0	5.0	95.0	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	99.3	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

第23表 障害の種類、2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ②「趣味などの個人的な活動で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	47	51	19	23	14	8	18	22	10	8	6	9	2	154	1846	
	100	2.4	2.6	1.0	1.2	0.7	0.4	0.9	1.1	0.5	0.4	0.3	0.5	0.1	7.7	92.3	
肢体不自由（車椅子必要）	242	3.7	4.9	2.6	1.1	2.2	1.1	1.1	0.7	0.4	0.4	0.7	0.7	0.0	11.6	88.4	
肢体不自由（車椅子不要）	434	2.2	2.0	0.9	0.7	0.4	0.2	0.9	0.7	0.2	0.4	0.2	0.2	0.0	6.9	93.1	
視覚障害	131	4.3	3.1	2.5	3.1	1.2	1.9	3.7	3.1	1.9	1.2	1.2	2.5	0.0	13.7	86.3	
聴覚障害	195	4.1	4.6	2.3	3.2	1.8	0.9	0.9	2.7	1.4	0.9	0.9	0.9	0.0	15.4	84.6	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	3.8	3.8	2.8	0.9	0.9	0.9	0.9	3.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.0	9.8	90.2	
内部障害	185	2.0	1.0	0.5	2.0	2.0	0.5	0.5	1.5	0.5	1.0	0.5	1.0	0.0	7.0	93.0	
知的障害	181	1.5	2.6	0.5	1.5	0.5	0.5	1.5	1.5	0.5	0.5	0.5	1.0	0.0	5.5	94.5	
発達障害	250	4.0	2.5	1.1	1.5	0.7	0.7	2.2	1.1	1.1	0.7	0.4	0.4	0.0	8.0	92.0	
精神障害	463	1.9	2.3	0.6	0.6	0.4	0.2	0.6	1.4	0.6	0.4	0.4	0.4	0.2	6.3	93.7	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	99.3	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

第24表 障害の種類、2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ③「福祉事業所等で、作品を創作したり、演者として出演した」方の割合（%）

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	38	32	27	18	12	11	10	12	9	11	14	8	1	122	1878	
	100	1.9	1.6	1.4	0.9	0.6	0.6	0.5	0.6	0.5	0.6	0.7	0.4	0.1	6.1	93.9	
肢体不自由（車椅子必要）	242	3.9	1.2	3.1	1.9	1.2	1.2	0.4	0.8	0.4	0.8	0.4	0.4	0.0	10.3	89.7	
肢体不自由（車椅子不要）	434	1.6	1.3	1.1	0.9	0.4	0.4	0.2	0.4	0.0	0.4	0.2	0.2	0.0	4.8	95.2	
視覚障害	131	3.1	1.9	3.1	2.5	3.1	1.9	1.9	2.5	1.9	1.9	1.9	1.9	0.0	12.2	87.8	
聴覚障害	195	3.6	2.3	4.1	3.2	1.4	0.9	1.4	1.4	1.4	0.9	1.8	0.5	0.0	12.8	87.2	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	1.9	2.9	2.9	2.9	1.0	1.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	7.6	92.4	
内部障害	185	2.0	1.5	0.5	0.5	1.5	0.5	1.0	1.0	1.0	0.5	1.0	0.5	0.0	4.9	95.1	
知的障害	181	1.0	4.2	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	0.0	5.5	94.5	
発達障害	250	2.2	2.2	1.5	0.4	1.1	1.1	1.1	0.7	0.4	0.4	0.7	0.7	0.0	6.4	93.6	
精神障害	463	1.4	2.4	0.4	0.6	0.2	0.2	0.8	0.4	0.8	1.0	1.2	0.6	0.2	4.8	95.2	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

第25表 障害の種類、2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ④「スタッフやボランティアとして参加した」方の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	38	25	17	30	16	13	19	15	20	9	12	7	0	122	1878	
	100	1.9	1.3	0.9	1.5	0.8	0.7	1.0	0.8	1.0	0.5	0.6	0.4	0.0	6.1	93.9	
肢体不自由（車椅子必要）	242	3.5	1.2	1.2	2.3	2.0	1.2	0.8	0.4	0.8	0.4	0.8	0.4	0.0	9.9	90.1	
肢体不自由（車椅子不要）	434	1.8	1.6	0.7	1.1	0.2	0.4	1.1	0.0	0.7	0.2	0.2	0.2	0.0	5.5	94.5	
視覚障害	131	3.5	2.9	1.8	3.5	2.9	1.8	2.9	4.1	3.5	2.3	1.8	2.9	0.0	13.7	86.3	
聴覚障害	195	3.1	2.2	2.7	4.4	1.8	0.9	2.2	1.3	2.2	0.9	2.2	0.9	0.0	12.8	87.2	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	1.9	1.0	1.0	1.9	1.9	1.9	1.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	6.5	93.5	
内部障害	185	1.5	2.0	1.0	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0	4.9	95.1	
知的障害	181	1.5	1.5	0.5	1.0	1.5	0.5	0.5	1.0	1.5	1.0	1.5	0.5	0.0	3.9	96.1	
発達障害	250	2.6	1.1	0.7	2.2	1.5	1.5	1.1	1.1	1.1	0.7	0.7	0.4	0.0	6.8	93.2	
精神障害	463	1.4	1.6	0.8	0.8	0.4	0.6	0.8	0.6	0.8	0.8	0.4	0.2	0.0	4.1	95.9	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	99.3	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

第26表 障害の種類、2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ⑤「イベントやワークショップ、体験会などに参加した」方の割合 (%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	37	23	16	20	25	12	13	17	14	9	7	9	0	126	1874	
	100	1.9	1.2	0.8	1.0	1.3	0.6	0.7	0.9	0.7	0.5	0.4	0.5	0.0	6.3	93.7	
肢体不自由（車椅子必要）	242	3.9	1.5	1.5	1.2	2.3	1.2	1.2	1.2	0.8	0.8	0.8	0.4	0.0	10.7	89.3	
肢体不自由（車椅子不要）	434	1.3	1.3	0.9	0.7	1.1	0.2	0.7	0.7	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	5.1	94.9	
視覚障害	131	3.8	2.5	1.9	3.1	2.5	3.1	1.9	1.3	3.8	1.9	1.9	1.9	0.0	13.7	86.3	
聴覚障害	195	2.7	1.4	1.8	2.7	3.2	1.4	1.4	2.7	1.4	1.4	0.9	1.4	0.0	12.3	87.7	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	1.9	1.0	1.0	1.0	2.9	2.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	6.5	93.5	
内部障害	185	2.0	1.0	1.5	0.5	1.5	0.5	1.5	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	0.0	5.9	94.1	
知的障害	181	1.0	2.5	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0	2.0	0.0	5.0	95.0	
発達障害	250	2.6	1.5	1.1	1.1	1.1	1.1	1.5	0.7	0.4	0.4	0.4	0.7	0.0	6.4	93.6	
精神障害	463	1.5	1.3	0.4	0.6	0.4	0.4	0.4	0.6	0.8	0.2	0.2	0.2	0.0	4.5	95.5	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	99.3	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

第27表 障害の種類、2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ⑥「学校の授業や部活動など」の割合 (%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物）（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財、歴史系の博物館	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	42	23	18	16	12	21	21	14	12	8	9	6	1	130	1870	
	100	2.1	1.2	0.9	0.8	0.6	1.1	1.1	0.7	0.6	0.4	0.5	0.3	0.1	6.5	93.5	
肢体不自由（車椅子必要）	242	3.5	1.6	1.6	0.8	1.2	2.0	1.2	0.8	0.8	0.4	0.4	0.8	0.0	10.3	89.7	
肢体不自由（車椅子不要）	434	1.8	1.1	0.9	0.5	0.5	0.7	1.1	0.2	0.5	0.0	0.2	0.0	0.0	5.3	94.7	
視覚障害	131	3.2	1.9	1.9	2.6	1.3	1.3	2.6	3.8	1.3	1.9	1.9	1.9	0.0	11.5	88.5	
聴覚障害	195	2.8	1.4	1.8	2.3	0.9	2.8	2.8	1.4	1.8	1.4	1.4	0.5	0.0	12.3	87.7	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	1.9	1.0	1.0	1.0	1.9	2.9	3.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	7.6	92.4	
内部障害	185	1.5	1.0	1.5	0.5	1.0	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	1.0	0.5	0.0	4.9	95.1	
知的障害	181	2.9	3.4	2.4	1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.5	0.0	8.8	91.2	
発達障害	250	4.1	3.3	1.8	1.5	0.4	1.8	1.5	1.1	0.4	0.4	0.4	0.7	0.4	10.8	89.2	
精神障害	463	1.8	1.2	0.2	0.6	0.8	0.8	0.8	0.4	0.8	0.6	0.4	0.2	0.0	4.1	95.9	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

第28表 障害の種類、2020年（コロナ後）の1年間の鑑賞以外の文化芸術活動の実施状況 ⑦「その他の活動」の割合

(%)

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	博物館、民族系の博物館、資料館など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	行っている（小計）	特に行っていない
全体	2000	42	19	17	18	11	11	18	16	13	10	7	10	2	124	1876	
	100	2.1	1.0	0.9	0.9	0.6	0.6	0.9	0.8	0.7	0.5	0.4	0.5	0.1	6.2	93.8	
肢体不自由（車椅子必要）	242	3.3	0.4	1.2	1.2	0.4	0.0	0.8	0.8	0.4	1.2	0.0	0.0	0.0	9.1	90.9	
肢体不自由（車椅子不要）	434	2.4	1.7	0.9	1.3	0.7	0.9	0.7	1.3	0.7	0.4	0.7	0.4	0.0	6.7	93.3	
視覚障害	131	3.2	1.9	2.5	1.9	1.3	1.3	3.8	3.2	1.9	1.3	1.3	3.2	0.6	13.0	87.0	
聴覚障害	195	2.5	2.0	2.5	1.0	0.0	1.0	2.0	1.0	1.0	0.0	0.5	0.5	0.0	11.3	88.7	
音声・言語・そしゃく機能障害	92	1.1	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	1.1	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	5.4	94.6	
内部障害	185	1.1	0.5	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	95.7	
知的障害	181	1.1	1.6	1.1	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.5	0.5	0.0	3.9	96.1	
発達障害	250	2.2	1.5	1.5	1.1	1.1	1.5	1.1	1.1	0.7	0.7	0.7	0.4	0.0	6.4	93.6	
精神障害	463	2.3	0.9	0.2	0.6	0.4	0.0	0.4	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	95.7	
その他	141	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	99.3	

注) 「特に行っていない」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特に行っていない」以外は、複数回答可

第29表 障害の種類、2018年（コロナ前）に鑑賞以外の文化芸術活動を行った日数 (%)

障害の種類	n	(週に13日以上) (年151日以上)	(週に51日2日) (年150日)	(月に11日3日) (年12日50日)	(3か月に1日2日) (年4日11日)	年に1日3日	わからない
全体	325 100.0	37 11.4	51 15.7	67 20.6	53 16.3	67 20.6	50 15.4
肢体不自由（車椅子必要）	47	34.0	10.6	21.3	8.5	14.9	10.6
肢体不自由（車椅子不要）	63	12.7	12.7	17.5	17.5	25.4	14.3
視覚障害	29	20.7	24.1	17.2	10.3	17.2	10.3
聴覚障害	45	13.3	17.8	22.2	17.8	20.0	8.9
音声・言語・そしゃく機能障害	15	20.0	13.3	26.7	6.7	13.3	20.0
内部障害	20	20.0	15.0	5.0	15.0	30.0	15.0
知的障害	42	4.8	14.3	26.2	16.7	23.8	14.3
発達障害	54	7.4	18.5	16.7	18.5	27.8	11.1
精神障害	69	5.8	13.0	27.5	17.4	15.9	20.3
その他	11	0.0	9.1	18.2	18.2	27.3	27.3

注) 2018年（コロナ前）に鑑賞以外の文化芸術活動を行った人（「特に行っていない」の回答者を除く）

第30表 障害の種類、2020年（コロナ後）に鑑賞以外の文化芸術活動を行った日数 (%)

障害の種類	n	(週に13日以上) (年151日以上)	(週に51日2日) (年150日)	(月に11日3日) (年12日50日)	(3か月に1日2日) (年4日11日)	年に1日3日	わからない
全体	224 100.0	30 13.4	33 14.7	51 22.8	33 14.7	42 18.8	35 15.6
肢体不自由（車椅子必要）	33	33.3	24.2	9.1	9.1	15.2	9.1
肢体不自由（車椅子不要）	44	15.9	9.1	22.7	13.6	20.5	18.2
視覚障害	25	24.0	12.0	12.0	20.0	16.0	16.0
聴覚障害	33	15.2	15.2	30.3	24.2	12.1	3.0
音声・言語・そしゃく機能障害	11	18.2	9.1	27.3	0.0	9.1	36.4
内部障害	16	12.5	25.0	6.3	25.0	18.8	12.5
知的障害	25	12.0	8.0	32.0	12.0	20.0	16.0
発達障害	38	5.3	10.5	34.2	5.3	28.9	15.8
精神障害	45	8.9	15.6	24.4	15.6	17.8	17.8
その他	3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3

注) 2020年（コロナ後）に鑑賞以外の文化芸術活動を行った人（「特に行っていない」の回答者を除く）

第31表 障害の種類、2018年（コロナ前）に鑑賞以外の文化芸術活動を行わなかった理由（%）

障害の種類	n	他の活動で充実しているから	関心がある文化芸術活動が身近な場所で行われていないから	情報が入手できないから	時間がないから	経済的な余裕がないから	活動のためのスキル・技能を習得するのが困難だから	エレベーターやスロープの設置、車いす席の確保等、バリアフリー対策が不十分だから	エレベーターやスロープの設置、車いす席の確保等、バリアフリー対策が不十分だから	エレベーターやスロープの設置、車いす席の確保等、バリアフリー対策が不十分だから	送迎サポート、手話通訳、音声ガイド、点字による資料提供などの文化芸術活動を行う上でのサポートが不十分だから	一緒に活動する仲間がないから	文化芸術活動に関心がないから	その他	わからない
全体	1675	168	233	97	205	288	121	56	39	53	166	390	55	480	
	100.0	10.0	13.9	5.8	12.2	17.2	7.2	3.3	2.3	3.2	9.9	23.3	3.3	28.7	
肢体不自由（車椅子必要）	318	4.4	11.9	4.4	7.5	9.4	6.9	8.8	6.6	5.3	5.7	10.7	2.5	15.7	
肢体不自由（車椅子不要）	524	7.1	9.7	4.0	9.0	10.7	4.8	3.2	2.3	1.9	8.8	19.1	2.5	17.0	
視覚障害	147	8.2	10.2	6.1	8.8	10.2	3.4	5.4	2.0	3.4	3.4	11.6	6.1	21.1	
聴覚障害	201	7.0	7.0	6.0	8.5	10.9	4.5	2.5	1.5	4.5	6.5	18.9	1.5	20.9	
音声・言語・そしゃく機能障害	102	8.8	7.8	1.0	6.9	5.9	8.8	6.9	2.9	3.9	4.9	12.7	1.0	28.4	
内部障害	226	8.0	11.5	3.1	12.8	12.8	3.5	0.9	0.4	0.9	5.3	17.3	2.7	20.8	
知的障害	194	4.6	8.2	3.6	7.2	9.3	7.2	0.5	0.0	3.1	6.2	21.1	3.6	25.3	
発達障害	274	9.9	8.0	4.0	9.9	13.9	7.3	0.4	0.4	1.5	6.9	17.5	0.7	19.7	
精神障害	566	6.9	8.5	4.1	7.4	17.8	5.8	0.2	0.5	1.2	9.0	14.3	2.7	21.6	
その他	166	4.8	15.1	2.4	5.4	13.3	2.4	1.8	1.2	1.8	4.8	22.9	2.4	21.7	

注) 2018年（コロナ前）に鑑賞以外の文化芸術活動を行わなかった人（「特に行っていない」の回答者）

第32表 障害の種類、鑑賞以外の文化芸術活動への参加・興味の有無（%）

障害の種類	n	音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺、城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）、歴史系の博物館、民族系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）	美術館・博物館・劇場・音楽堂などにおける案内や解説などの支援	子ども・高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術活動の支援	その他	特になし
全体	2000	304	197	124	71	66	96	106	235	209	121	94	88	11	1233
	100	15.2	9.9	6.2	3.6	3.3	4.8	5.3	11.8	10.5	6.1	4.7	4.4	0.6	61.7
肢体不自由（車椅子必要）	242	12.2	8.7	4.9	3.8	3.0	4.3	4.3	5.2	6.0	4.9	3.5	2.4	0.0	55.8
肢体不自由（車椅子不要）	434	10.8	5.2	3.2	1.5	1.9	2.0	3.5	7.3	6.7	3.7	3.2	2.9	0.5	65.0
視覚障害	131	11.9	4.3	7.6	3.3	2.9	4.3	4.8	7.6	5.7	3.3	4.3	5.2	1.4	53.4
聴覚障害	195	8.6	7.3	5.1	3.8	4.8	3.5	4.4	7.9	7.6	4.1	3.8	2.9	0.3	57.9
音声・言語・そしゃく機能障害	92	10.1	6.3	4.4	4.4	3.8	5.1	3.2	5.1	7.0	5.1	4.4	3.2	0.0	65.2
内部障害	185	10.4	5.2	3.8	3.5	2.1	3.1	3.5	7.6	7.6	5.9	2.4	2.1	0.3	66.5
知的障害	181	13.8	7.6	6.5	3.6	1.8	3.3	1.8	9.1	3.6	4.0	2.9	4.3	0.4	56.9
発達障害	250	9.4	7.4	5.3	4.0	2.1	3.8	4.9	11.3	7.7	5.1	4.0	4.0	0.2	57.6
精神障害	463	10.7	8.3	4.1	2.6	2.3	3.5	3.5	8.7	7.7	3.4	3.4	3.0	0.4	61.6
その他	141	6.8	4.5	3.4	0.6	1.7	4.0	2.8	5.6	7.9	1.7	2.8	1.7	0.6	70.2

注) 「特になし」は、他の項目と重複して回答しない

注) 「特になし」以外は、複数回答可

第33表 障害の種類、5年前（2017年頃）と比較した、鑑賞を除く文化芸術活動に係る環境の変化

(%)

障害の種類	n	実践、参加しやすくなった	ややしやすくなった	変わらない	ややしにくくなった	実践、参加しにくくなった	わからない
全体	2000	49	241	777	110	131	692
	100	2.5	12.1	38.9	5.5	6.6	34.6
肢体不自由（車椅子必要）	242	5.4	12.4	38.0	5.0	7.4	31.8
肢体不自由（車椅子不要）	434	2.3	15.9	41.0	3.9	5.5	31.3
視覚障害	131	3.8	11.5	29.8	9.2	12.2	33.6
聴覚障害	195	2.6	12.8	41.0	11.3	6.2	26.2
音声・言語・そしゃく機能障害	92	7.6	8.7	30.4	3.3	10.9	39.1
内部障害	185	2.7	12.4	37.3	4.3	4.9	38.4
知的障害	181	1.1	10.5	47.5	3.9	7.7	29.3
発達障害	250	2.0	10.4	42.0	5.6	6.8	33.2
精神障害	463	3.0	11.4	34.8	4.8	6.5	39.5
その他	141	0.7	10.6	33.3	3.5	5.7	46.1

付 1 障害者の文化芸術の鑑賞活動及び創作活動実態調査業務の概要

1 調査の目的

全国の障害児・者の文化芸術活動（鑑賞及び鑑賞以外）の実施状況やニーズを把握し、令和4年度に改定を予定している「文化芸術推進基本計画」及び「障害者による文化芸術活動の推進に関する基本的な計画」の基礎資料とするとともに、今後の障害児・者の文化芸術活動促進に向けた施策の検討のための基礎情報を得ることを目的とする。

2 調査方法

インターネット調査

3 調査地域

全国

4 調査対象者

インターネット会社が保有するリサーチモニターのうち、下記に該当する者を抽出し、調査対象とした。

- ・7歳以上の障害児・者
- ・障害児・者本人あるいは同居する家族

5 回収結果

実施調査を行い、対象者 2,000 人から有効回収を得た。

6 回答者の年齢構成

年齢	%
7～19 歳	8.55
20～29 歳	7.20
30～39 歳	9.55
40～49 歳	12.85
50～59 歳	18.05
60～69 歳	15.05
70 歳以上	28.75

7 回答者の性別

性別	%
男性	66.2
女性	33.3
答えたくない	0.6

8 回答者の居住地

居住地域	%
北海道地方	5.4
東北地方	7.8
関東地方	37.0
中部地方	16.7
近畿地方	19.7
中国地方	4.4
四国地方	2.6
九州・沖縄地方	7.5

9 調査期間

2022年2月17日(木)から2月21日(月)の5日間

